

第七十四回帝國議會  
衆議院

酪農業調整法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案  
酪農業調整法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月六日(月曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 万逸君

理事池田 清秋君 理事鹽川 正藏君

理事深澤 吉平君 理事藤生安太郎君

坂下仙一郎君 內藤 守正君

河野 一郎君 小笠原八十美君

松尾 孝之君 北 勝太郎君

野溝 勝君

出席政府委員左ノ如シ

北海道廳長官 半井 清君

農林參與官 林 讓治君

農林省畜産局長 岸 良一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)

○田中委員長 是ヨリ開會致シマス、――

引續キ質問ヲ許シマス――河野君

○河野委員 法案ガ大分生産者側ト致シマ

シテハ窮屈ニ考ヘラレル點モアリマスシ、

又地方ソレノ事情カラ考ヘマス、色

色將來ノ爲ニ考慮シテ置カナケレバナラ

ヌ點モアリマスノデ、更ニ吾々ノ經驗ニ依

リマシテ、本質的ニ根本的ニ御尋ヲ致シテ

置キタイト思ヒマスノデ、當局ニ於キマシ

テモ十分御親切ニ御答辯アラシコトヲ御願

致シマス、實ハ土曜日ノ私ノ御尋致シマシ

タ點ニ對シテ、當局ノ御答辯ヲ其ノ後新聞

通信等ノ記事ニ依ツテ見マシテモ、私ガ御

尋ヲシタコトガ分ラナカツタノカ、當局ノ

御答辯ガ分ラナイノカ、記事ニナツテ現ハ

レテ居リマス所ハ、私ノ言ウタコトモマル

デ違フシ、當局ノ答ヘラレタ所トモマルデ

違ツタコトガ現ハレテ居リマスコトハ、何

レニ致シマシテモ、此ノ問答ヲ致シマシタ

雙方ノ何レカニ責任モアリ、尙ホ之ヲ一般

ノ人々ガ諒承シ難イト云フコトダケハ、其

ノ誤ツタ報道等ニ依ツテ見テモ明カデア

ルト思ヒマスノデ、ソレ等ノ點ヲ十分御諒

承ノ上詳細ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

先ツ第一ニ御尋ヲ致シタイノハ、吾々生

産者側ト致シマシテハ、乳價ヲ本法施行後

ニ於テ如何様ニ決定ヲサレルカ、其ノ影響

ハドウ云フコトニナルカト云フコトニ、一

番重點ヲ置クノデアリマス、ソコデ本法施

行後ニ於キマシテ、牛乳ノ取引値段決定ニ當

リマシテハ、本法ニ依リマスレバ、地方長官

カ行政官廳ニ於テ、ソレノ命令ヲ出スコ

トニナツテ居ル、其ノ命令ノ基準ニ付テハ、

法ノ上ニハ別ニ現ハレテ居ラヌガ、適當ナ

委員會等ニ諮問ヲシテ決定スルト云フ御答

辯デアリマシタケレドモ、此ノ値段ハ更ニ

一段ト踏込ンデ考ヘタ場合ニ、ドウ云フコ

トヲ考慮セラレテ決定サレルモノカ、例ヘ

テ申シマスレバ、牛乳「キロ」ナリ一升ナ

リノ生産費ヲ基準ニシテ其ノ値段ハ考慮ス

ベキモノカ、「バタ」其ノ他煉乳等製品ノ販

賣價格ヨリ推算シテ、之ガ決定セラレルモ

ノカ、從來ノ價格ノ決定ハ凡ソ生産費ヲ無

視致シマシテ、大體ニ於テ牛乳ノ需給ノ關

係ガドウナツテ居ルカト云フコトカラノミ、

乳價ノ決定ハ見テ居ツタノデアリマス、自

由取引ノ場合ニ於キマシテハ、是亦已ムヲ

得ヌ現象デアリマスケレドモ、今後法ノ統

制ニ依ツテ、地方長官ノ認可命令ニ依ツテ

決定セラレマス場合ニ於キマシテハ、少ク

トモ本質的ニ此ノ點マデ御考ヲ願ハナケレ

バナラスト思フノデアリマス、ソレニ對ス

ル當局ノ準備用意等ハ如何ナモノデアリマ

スカ、此ノ際御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 乳價ノ決定ヲドウ云フ風ニ

スルカ、從來ノ乳價ハ寧ロ乳ノ生産費ヲ離

レテ、需給關係デ決定サレル、斯ウ云フヤ

ウナ點、ソレカラ今後法律ガ施行サレタ後

ハ、ドウ云フ基準ニ基イテソレヲ決定シテ

行クカ、斯ウ云フ點デアラウト思ヒマス、

此ノ點ハ過日御話申上ゲタノデ、私ノ説明

ガ足ラナカツタノデアラウト思ヒマスガ、

勿論此ノ乳價ヲ決定スルニ當リマシテハ、

一面ニ於テ生産費ヲ十分ニ考慮致シマシテ、

其ノ生産費ガ價ヘルト云フコトヲ考慮ニ置

クノデナケレバ、是ハ獎勵ヲスルト言ツテ

モ獎勵ニナラヌノデアリマス、ソレハ無論

基準ニ置クノデアラウト思ヒマス、唯此ノ

見極メ方ニ付テハ、是ハ單純ナ形ニ於テ乳ノ

生産ガ行ハレテ居ルノデハナクシテ、各地方

地方ニ於ケル農業ノ形態ニ應ジテヤツテ居

ルノデアリマスカラ、其ノ算定ニ付テハ或ハ

議論ガ出ルカト思ヒマスガ、何レニ致シマ

シテモ一方ニ於テ生産費ヲ基準ニシテ行クト云

フコトハ當然デアラウト思ヒマス、又一方

ニ於キマシテハ加工乳ナリ生乳ノ販賣ナリ、

其ノ方面カラ見マシタ消費方面ノ價格、又

之ヲ生産スル所ノ生産費、處理費ト云フヤ

ウナモノヲ考慮ニ加ヘテ、ソシテ此ノ結ビ

合ヒヲ考ヘテ決メテ行カナケレバナラヌノ  
ダト思フノデアリマス、是ハ或ハ市場ノ價  
格カラ逆算スレバ、或ル時ニハ非常ニ高  
價デモ良イ物ナラ宜イト云フヤウナ場合ガ  
生レテ來ルダラウト思ヒマス、サウ云フヤ  
ウナ場合ニナリマスレバ、ソコニ結局仕事全  
體トシテ其ノ利潤ガ非常ニ大キイ——「マー  
デン」ガ大キイト云フコトニナルノデア  
リマスカラ、ソコニ於キマシテ農業生産費  
ノ方ト他ノ方ト睨合セテ公平ナル所ノ割振  
ヲスル餘地ガ生レテ來ルダラウト思フノデ  
アリマス、是等ニ付キマシテハ、過日來申  
上ゲマシタヤウニ、酪農協議會等ニ於キマ  
シテ、兩方ノ代表ニ生産者及ビ加工方面ノ  
代表、更ニ他ノ第三者ヲ加ヘテ、ソシテ公  
正ニ檢討批判ヲシテ決メルノガ宜イノデハ  
ナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ風ニ  
私ハ酪農委員會ガ運用サレマシテ、サウシ  
テ其ノ研究ニ基キマシテ地方長官ガ妥當ナ  
ル決定ヲシテ行ク、ソシテ其ノ取引ヲ認メ  
テ行ケバ宜イダラウ、サウ云フ風ニ致シマ  
スレバ茲ニ業者ハ安心シテ仕事ガ進メテ行  
ケル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 一應御答辯ハ抽象的ニハサウ  
云フコトニナルノハ當然ノコトデアリマス  
ケレドモ、具體的ニ考ヘマシタ際ニ、生産

費ノ決定モ、ソレムノ地方ニ於テ、又ハ  
經營條件ニ於テ違フ、サウシマスト先ヅ生  
産費ノ方面カラ考ヘマシテモ、ドウ云フ風  
ナ條件ヲ取入レテ、生産費ト云フモノハ  
幾ラ——掛ルト云フコトヲ、吾々ガ地方ニ居  
リマシテ、酪農委員トナリ統制委員トナリ  
マシタ場合ニ主張シテ宜イモノカ、生産者  
ノ代表ト致シマシテ、是ダケハ生産費トシ  
テドウシテモ吾々ガ要求ヲシナケレバナラ  
スト云ヒマス場合ニハ、ドウ云フ風ナ條件  
ノモノヲ取入レテ之ヲ以テ公正ナル生産費  
トスル、其ノ數字ニ付テハ一々此處デ御答  
辯ハ無論困難デゴザイマセウケレドモ、大  
體ドウ云フ風ナモノガ當然考慮セラレルカ、  
是ハ畜産局長ハ技術ノ方ノ御出身デ、當然  
ソレ等ニ付テハ十分御考ガアラウト思ヒマ  
スカラ、參考ノ爲ニ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ  
ト思ヒマス、尙ホ現在ノ事情ニ於テ乳製品  
ノ方面カラ逆算シテ參リマシタ場合ニ、乳價  
ハドノ邊マデ買ヒ得ル採算ニナルカ、ドノ位  
マデノ乳價ノ値上リガアツテモ宜シイノカ、  
一方生産費ハ現在ノ事情ニ於テハドノ位一  
體掛ル御見込ナノカ、其ノ點ヲ御尋シテ置  
キマセスト、餘リニ當局ノ考ト吾々ノ考ト  
喰違ツテ居リマシテモドウカト思ヒマスノ  
デ、參考ノ爲ニ此ノ點ヲ一ツ御示シヲ願ヒ

タイト思ヒマス

○岸政府委員 牛乳ノ生産費ヲドウ云フ風  
ナ因子ヲ取入レテ決メテ行クカ、其ノ一應  
ノ考ヲ示セ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、  
此ノ生産費ニ付キマシテハ、勿論來年度以  
降ニ於キマシテ取レテ居ル豫算ヲ以テ、ヨリ  
正確ナモノヲ作ツテ行ク、其ノ際ニハドレ  
マデ取入レルカト云フコトニ付テモ研究ヲ  
シテ、サウシテ資料ヲ御送付申上ゲテヤッ  
テ戴ク、斯ウ云フ積リデ居ルノデアリマス、  
私共ノ方ニ於キマシテ、從來色々經濟調査  
ヲ致シマシタ場合ニ取入レテ居リマスモノ  
ハ、勿論非常ニ澤山ノ項目ニ互ツテ居ルノ  
デアリマス、其ノ内退引ナラヌ一番大キナ  
問題ハ、是ハ飼料費デアリマス、其ノ物ヲ  
入レル、ソレカラ種付料ノ如キモノモ其ノ  
中ニ入レル、或ハ畜舎及ビ使用器具ノ償却、  
或ハ乳牛原價ノ償却、或ハ衛生費デアルト  
ヤウナモノヲ入レテ決メテ行ク、斯ウ考テ  
居リマス、併シドノ位ノ程度ヲ農乳トシテ  
取入レテ宜イカト云フコトハ、モウ少シ檢  
討致シテ正確ニ範圍ヲ決メテ行キタイト思  
ツテ居リマス、一應ノ考トシテハサウ云フ  
ヤウニ考ヘテ居リマス

ソレカラ現在ノ乳製品ノ價格カラ見テド

ノ位ノ價格ガ適當デアルカ、是モ中々難シ  
イ問題デアリマシテ、會社ノ内容ニ互リ、  
其ノ個々ノ狀態ガ違ヒマスカラ、今後ニ於  
ケル牛乳ノ生産費ト相俟ツテ新シイ調査ヲ  
致シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル次  
第デアリマス、多少サウ云フ方面カラ調ベ  
マシタ資料ガアルノデアリマスガ、是ハ材  
料ガ少シハ古ウゴザイマスカラ、申上ゲテ  
却テ誤解ヲ招キハシナイカト思ヒマスカ  
ラ、其ノ點ハ一ツ御許シヲ願ヒタイト思ヒ  
マス

○河野委員 モウ少シ進ンデ、吾々ガ概念  
的ニ考ヘラレルコトニ付テ、御聽カセヲ願  
ヒタイト思ヒマスコトハ、今御話ノヤウニ  
生産費ヲ決定スル場合ニハ色々ナ點ヲ考慮  
スルト云フコト、爾カナケレバナラスコト  
ハ勿論デアリマシテ、之ニ付キマシテモ、  
私茲デ答メ立テラスル譯デハリマセヌケ  
レドモ、生産費ト一方ノ製品ノ方面トノ兩  
方面カラ見合セテ、茲ニ適當ナル乳價ヲ決  
定スルト云フコトガ常識的ニ妥當デアツテ  
ソレヲ決定スルニ當リマシテハ其ノ原料ト  
云フモノガナケレバナラヌ、如何ナル場合  
ニモ統制價格ヲ決定致シマス場合ニハ、其  
ノ基準トナルベキモノガ妥當ナリヤ否ヤト  
云フコトガ、吾々ノ頭ニ認識セラレナケレ

バ、是ハ決定出來ルモノデハナイト云フコ  
トヲ十分御承知願ハナケレバナラヌト思  
フ、ノミナラズ豫算モアルカラ、次ノ年度  
ト云フヤウナコトデアリマスガ、是ハ如何  
ナル要素ヲ取入レルカト云フコトニ問題ガ  
アル、ソレニ付テ吾々ノ方面ニモ議論ガア  
ル、ソレヲ當局ガ豫算ガアルカラ、ソレハ

後カラ適當ニ決メルト云フコトデハ、吾々  
トシテハ諒承シ難イノデアリマス、併シ是  
ハ明年ノ議會マデニ適當ニ御決メヲ願ヒタ  
イ、吾々モ適當ノ機會ニ當局ニ具申スルコ  
トニ致シマシテ、一應諒ト致シマスガ、茲  
デ吾々ガ一應承ツテ置キタイト思ヒマスノ  
ハ、一日ノ飼料ガ幾ラ掛ル場合ニハ乳價ハ  
ドノ位ガ宜シイカト云フコトハ、多年畜産  
行政ニ御關係ノ専門家ノ方々ニハ、サウ云  
フ常識ガアルト思フ、飼料ガ一體幾ラノ場  
合ニハ、ドノ位乳價ガシテ居ラナケレバ乳  
牛ノ經營ハ引合ハヌト云フコトハ、是ハ養  
蠶デ申シマスナラバ、桑ガ幾ラノ場合ニ繭  
價ガ幾ラ、繭ノ値段ガ幾ラノ場合ニ生絲ノ  
値段ガ幾ラト云フヤウナモノガ、常識的  
ニ——ソレハ無論純理的ニ公正ナモノトハ申  
サレスカモ知レマセヌガ、概念的ニ、常識的  
ニサウ云フモノガアルダラウト思フ、ソレ  
ヲ從來ハドノ程度ニ考ヘテ居ツタカ、愈、生

産費ノ検査ヲシテ見ルト、最近ハ斯ウ云フ  
風ニ考ヘナケレバナラヌト云フコト等ニ付  
テモ、當局ニ於テ十分ナル用意ガオアリノ  
コトト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツハ、是ハ私議歩シ兼ネ  
ル點デアリマス、ト申シマスノハ、製造ス  
ル煉乳ナリ製酪品ノ現在ノ賣價カラ逆算シ  
テ、牛乳ハドノ邊マデ買上ゲ得ルカト云フ  
コトハ、只今生絲ノ例ヲ取リマシタヤウニ、  
當然ナケレバナラヌコトデアリマス、ソレ  
ハ無論工場ニ依ツテ違フデアリマセウ、併  
シ農家ノ方ニ於キマシテモ最モ上手ニ經營  
スル農家ノ生産費ヲ理想ニシテ、ソレマデ  
吾々ハ生産ノ向上ヲ、指導スルノデアリマ  
ス、隨テ相成ルベクハ、ソコニ近付クヤウ  
ニ生産費ヲ低減シテ行クヤウニ努メナケレ  
バナラヌノデアリマス、又逆ニ我國ノ酪農  
業ノ發達ヲ企圖致シマスルニハ、最低ノ製  
酪品ノ生産費ヲ理想ニシテ、ソコニ持ツテ  
行クヤウニ考ヘナケレバナラヌ、ソレニハ  
少々ノ犠牲ガアツテモ仕方ガナイ、放漫デ  
アルトカ、乃至ハ不生産的ナ計畫ニ依ルトカ  
云フモノノ犠牲ノアルコトハ已ムヲ得ヌト  
思フ、サウ云フモノヲ考慮ニ入レル必要ハ  
ナイト思フ、ト致シマシタ場合ニ、一體「バ  
ター」一封度造ルニハ牛乳何斗要ル、而シテ

「バター」一封度ノ値段ガ幾ラノ場合ニ牛乳ノ  
値段ハ何處マデ買ヘルト云フ目安ガナケレ  
バナラヌト思フ、之ヲ私ガ言フ所以ノモ  
ノハ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、製酪業  
組合ガ出來ル、其ノ製酪業組合ニ於テ大體  
是等ノ工賃ヲ決メルダラウト思フ、「乳製品  
ノ製造、販賣及出荷ニ關スル統制」ト云フコ  
トヲ此ノ製酪業組合デアルノデアリマスカ  
ラ、其ノ場合一體ドノ位ノ工賃ヲ吾々農家  
トシテモ考ヘナケレバナラヌカ、是ハ共存  
共榮デ行カナケレバ製酪業ノ發達ハ期セラ  
レナイト云フ點カラシテモ、吾々生産者側  
トシテハドウシテモ強ク考ヘナケレバナラ  
ヌ、賣レナイ原料ヲ造ツテモ仕方ガナイ、  
原料方面ニ於テモ考ヘナケレバナラヌ、現  
在ノ如ク、生産擴充ノ時代ニ於テ、總テノ  
生産品ノ不足ナル場合ニ於キマシテハ、大  
シタ問題デハアリマセヌケレドモ、一朝現  
在ノ情勢ト逆行スルヤウナ時代ガ參リマシ  
タ場合、吾々酪農關係者トシテ、是等ノ點  
ヲ今カラ用意シテ、伸ビル時ニハ先ヅ以テ  
縮マル時ノ用意ヲシテ置カナケレバナラヌ  
筈デアル、隨テソレニ對スル當局ノ明確ナ  
ル御答辯ヲ此ノ際承ツテ置キタイト思ヒマ  
ス

大體今ノ乳製品ノ價格ト牛乳ノ値段ニ於テ、  
今乳製品ガ是ダケシテ居ルナラバ、牛乳ハ  
是ダケシナケレバナラナイデヤナイカト云  
フヤウナコトガ言ヘルデアラウト云フ御話  
デゴザイマスガ、固ヨリ御話ノヤウナ「バ  
ター」「コンデンス・ミルク」「チーズ」等ノ乳  
量其ノモノカラ申シマスレバ、其ノ乳量ニ  
對シマシテ其ノ要ル牛乳ガ、大體幾ラニナル  
デアラウト云フ割當ハ考ヘラレルノデアリ  
マス、併シ是ハ先程申上ゲマシタヤウニ地  
方的ノ事情ニ依ツテ色々ト變ツテ居リマス  
ノデ、其ノ數字カラ生産費ガ此ノ位ナラバ  
仕事ガ間ニ合フノダト云フコトモ言ヒ兼ネ  
ルト思フノデアリマス、茲ニ十三年ニ極ク  
一地方デ調ベタ例ガアリマスガ、例ヘバ「バ  
ター」ノヤウナモノデアリマス、此ノ當  
時ニ於テ調ベマシタ所ノ「バター」ノ値段九  
十五錢ニ對シテ原料乳ガ八十二錢要ツテ居  
ル、サウスルト假ニ七升掛アルト致シマス  
レバ、十一錢カ十二錢位ニナルノデアリマ  
ス、サウ云フヤウナ狀態デアリマス、是ハ  
無論此ノ調ベタ地方ガ何處デアリマスカ、  
一寸分リ兼ネマスガ、其ノ數字カラ見マス  
ト、現在ノ乳價ヨリ安イ譯デアリマス、併  
シ是ハ恐ラク他ノ副製品ヲ入レテ計算ヲ考  
ヘテ居リハシナイカト思ヒマス、斯ウ云フ

ヤウナ實例ガアリマスガ、之ヲ以テ全般的ニドウト云フコトハ今ノ資料デ申上ゲルト、却テ危險デハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ乳價ノ決メ方ニ付テハ、工場ノ生産費ヲ考慮シテ共存共榮ニ考ヘテ行クベキモノルデアルト云フ御示シハ、私共其ノ積リデ此ノ法案モ考ヘテ居ル次第ゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハサウ云フ趣旨ヲ十分ニ出スヤウニ私共モ骨折ツテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ意味ニ於キマシテ將來ニ於テ工場方面ノ生産費ノ内容檢討ニ付テ、從來ヨリモ一層正確ナルモノヲ得ルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 一ツ別ノ方面カラ承ツテ見マスガ、當局ガ此ノ法案ニ依ツテ理想トセラレマス製酪品ノ輸出乃至國內ニ於ケル増産ノ目標ヲ實現スル爲ニハ、一體製酪品ノ賣價ヲドノ位ノ目標ニシテ居ラレルカ、ソレカラ逆算シテ參ツテ牛乳一升カ「キロ」カ、其ノ値段ハドノ位ノ所デ増産ノ目標ヲ立テテ居ルノデアルカ、凡ソ増産ヲシヨウト言ヒ、海外輸出ノ増進ヲシヨウト言ヒ、何レモ一ツノ目安ヲ持ツテオヤリニナツテ居ルコトト思フ、例ヘバ海外市場ニ出スニハ此ノ値段ヨリハ斯ウナンダカラ、ソレニ付テ

ハ國內ノ値段ヲ此ノ程度ニシテ後ハ獎勵金デアルカ乃至ハ之ヲ向フ爲ニ茲ニ酪農組合ニ於テ販賣統制ノ方法ニ依ツテ斯ウ云フ目安デアルトカ、サウ致シマシタ場合ニソレカラ逆ニ參ツテ、牛乳ハ一斗當リドノ位ノ値段ニシテ買上ゲテ乳製品ヲ造ラウ、幾ラノ値段ニシタ場合ニ尙且ツ農家ノ收支ハ斯ウ云フコトニナツテ、之ヲ獎勵シテモ農家ハ斯ウ云フ計算ニナルト云フ所ガ凡ソナケレバ、一ツノ政策ノ樹立ハ私ハ不可能ダト思フ、ソレニ依ラズシテ立テラレタ政策ト云フモノハ凡ソ放漫デアリ、凡ソ杜撰デアリ、斯ノ如キ基礎ノ上ニ立ツタモノハ吾等トシテハ一顧ノ價值ナキモノトサヘ思フノデアリマス、隨テ當局ニ於テハソレ等ニ對スル十分ナル御用意ガアルコトト信ズル者デアリマス、吾々生産者側ト致シマシテハ、統制ハ希望スル所デアルケレドモ、統制ニ依ツテ受ケル所ノ壓力ヲ非常ニ憂慮スル者デアリマス、而モ法文ノ内容ニ依リマズレバ、行政官廳ノ許可認可ト云フヤウナ點ガ非常ニ多イ等カラ考ヘマシテモ、是等ノ點ニ付テ十分御尋ヲシテ置キタイ

序デニ伺ツテ置キマスケレドモ、第三條ノ前段ノ「行政官廳牛乳ノ取引上ノ弊害ヲ」云々ト云フコトノ命令權ハ、此ノ施行命令ニ

關スル規定デ參リマス、其ノ命令ニ規定サレテ居リマスル部分ト第四條ノ末段ニ規定セラレテ居リマスル部分——要スルニ生産者、賣ル方ニ對スル第三條ノ規定ト、買フ方ニ對スル第四條ノ規定トガ此ノ要綱ニ依リマスルト違ツテ居ル、第三條ノ方ニ依リマスルト「法第三條前段ノ命令ハ地方長官又ハ農林大臣ガ牛乳ノ販賣條件、出荷條件等ノ牛乳ノ販賣ノ統制ニ關スル事項ニ付之ヲ爲スモノトスルコト」第四條ノ後段ニ規定シテアリマスル方ハ「法第四條第二項ノ命令ハ同條第一項ノ取引ニ關シ不當ナル約款ヲ禁止シ又ハ當事者ノ依ルベキ牛乳ノ品位其ノ他ノ基準ヲ定ムルコト」ト云フコトデ、賣ル方ニ對スル規定ト買フ方ニ對スル規定ガ違ツテ居ル、賣ル方、所謂農家、生産者ニ對シテハ販賣條件、出荷條件等ノ統制ニ對シテ命令スル、買フ方ノ業者ニ對シテハ不當ナル約款ヲ禁止シ又ハ云々ト斯ウナツテ居ル、此ノ點ハ一體ドウ云フ譯デ斯ウ云フ風ニ違ツタ命令權ヲ御持チニナルノカ、此ノ點モ併セテ御尋シテ置キマス

○岸政府委員 此ノ法案ヲ實施シテ行ク一方ニ於テ乳及ビ乳製品ノ増産ヲ企圖シテ行キタイ、隨テ其ノ値段ハドノ位ノ目標ニ置イテ進ンデ行クカ、斯ウ云フ風ナ第一ノ御質問デアツタト思ヒマス、此ノ法案ト一方ニ於キマシテハ豫算ニ於キマシテ牛乳、乳製品ノ増産ヲ計畫シ、其ノ輸出ノ計畫ヲ持ツテ居ルコトハ御説ノ通りデアリマス、此ノ價格ヲドウスルカト云フコトハ、勿論先程カラ御話ノアリマシタヤウニ、外ニ輸出スルト云フコトニ於テ弾力性ノアルガ爲ニハ生産及ビ加工ノ工程ニ於テ出來ルダケ生産費ヲ下ゲテ——是ハ無論無理ノ下ゲ方ト云フコトヲ意味シテ居ルノデアリマセヌ、或ハ飼養法ノ合理化ヲ圖リ經營法ノ合理化ヲ圖ルト云フコトニ於テ生産費ヲ下ゲテ行ク、サウシテ其ノ仕事ガ達成サレルヤウニシテ行クト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアルノデアリマス、此ノ法ノ實施ニ依ツテ其ノコトハ一部達セラレテ行クト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ意味カラ申シマスレバ、輸出ニ致シマシテモ、又國內ノ消費ニ致シテモ、成ベク價格ノ安イト云フコトハ、是ハ希望サレル所デアルト思フノデアリマス、私共此ノ計畫ニ當リマシテハ一應現在ノ狀態ニ於テ輸出ヲ爲シ、又生産品ノ販賣ヲスル、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス、是ハ過去ノ統計ヲ見マスルト、割合ニ乳製品及ビ乳ノ値段ハ他ノ物價ニ較ベルトヒドイ値上リヲシテ居リマセヌ、割合ニ此ノ點

ハ非常ナ努力ガ此ノ方面ニ拂ハレテ居ルカラダラウト私ハ思フノデアリマスガ、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、無論弾力性ノアルヤウニスルコトハ先程申上ゲマシタヤウナ必要デアリマスガ、同時ニ一應ハ現在ノ程度ノ下ニ於テ仕事ヲ實施シテ順次之ヲ改善シテ行ク、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマス、輸出ハ現在ノ狀況カラ見マスト其ノ市場ノ關係ニ於テハ相當伸ビル所ノ餘地ヲ持ツテ居リマス、併シナガラ是等ニ對シテハ暫クハ加工業者ニ於テモ殆ド生産費ノ裸カ位デ努力ヲシナケレバ困難デアルト思ツテ居ル次第デアリマス

次ニ法三條ノ前段ノ關係ト法四條ノ後段ノ關係ニ付テ御質問ガアリマシタガ、ソレニ對シテ御答致シマス、三條前段ニアリマス所ノ命令ハ牛乳ノ生産ヲシテ居リマスル團體ニ於キマシテモ、從來或ハ團體決メラレマシタ所ノ團體員ガ團體ヘ持つテ來テ、サウシテ物ヲ賣出シテ行クコトニ付キマシテ決メラレマシタ所ノ販賣ノ條件トカ或ハ出荷ノ條件等ヲ無視シテ、或ハ他ニ之ヲ賣ツタリ又ソレノ品位ヲ決定シテ置イタモノヲ實行シナカツタリスルコトガアルノデアリマスカラ、ソレ等ヲ此ノ際一致シテ良質ノ確實ナ所ノ牛乳ヲ出シテ行クヤウニ、又ソレニ依ツ

テ組合員間ノ利害關係ガ阻碍サレナイヤウニ講ズルコトガ此ノ酪農業ヲ安定サセルニ必要ガアルト思ツテ、其ノ點ニ付テ命令ヲスルト云フコトデアリマス、ソレカラ四條ノ方ノ此ノ命令ニ書ク事項ニアリマス所ノコトハ、是ハ販賣ヲサレル人、或ハ加工サレル人等ガ非常ナル生産ニ不利ナル所ノ事項ヲ中ニ入レマストカ、或ハ價格ノ點ニ於テ不利益ナル條項ヲ入レテ居ル、或ハ或ル決メラレタル所ノ品位ニ依ツテ取引ヲシナケレバナラスモノニ對シテ、其ノ事ニ依ラズシテ行クトカ、色々妥當デナイ點ガアルダラウト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テソレヲ匡スコトノ出來得ルヤウニ決メタ譯デアリマス

○河野委員　ドウモ私ノ満足スル御答デナイコトヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、モウ少シ具體的ニ御話ヲ願ヒマセスト、問題ガ經濟問題デアリマスカラ、抽象論ノ御答辯デハドウニデモ解釋ガ出來ルノデアリマス、例ヘバ牛乳デ申セバ吾々ハ三厘、五厘ヲ争フ、「キロ」ニ付テ三厘高イトカ五厘安イトカガ非常ニ大問題デアル、隨テ大局的ニ、達觀的ニ議論スル場合ニハ大シタモノデハナイヤウニ思ハレ、法律ノ審議ニ當ツテモサウ考ヘラレマズガ、非常ニ生産者トシテ

ハ困ル問題デアリマス、ソコデ御尋スルコトモ勢ヒ諄クナリマスケレドモ、ソレ等ノ點ハ十分御諒承ヲ願ハナケレバナリマセヌ、ソレハ私が最初カラ申上ゲマシヤウニ、製酪業ノ組合ヲ作ツテ、ソコデ製品ノ製造、販賣、出荷等ノ統制ヲヤル、此ノ方面ガ非常ニ鞏固ニナツテ參リマスレバ、勢ヒソレカラ牛乳ノ購買價格ト云フ方ニ逆算サレテ來ル、乳酪組合ニ於テ乳製品ノ製造、販賣、出荷ト云フヤウナコト、其ノ他必要ナル統制ヲヤラレマスル結果ハ、勢ヒ此ノ統制力ガ及ンデ、乳價ノ決定ニ強イ力ヲ持つテ壓力トナツテ現ハレテ來ル、其ノ壓力トナツテ現ハレテ來タモノヲ、吾々生産者ノ側カラ之ヲ突破致シマスニハ、ドウシテモ立論ノ根據ト云フモノハ具體的ニ世ノ中ニ現ハレルモノ——輸出價格ガ一體幾ラデアルカ、市中ノ乳製品ノ販賣値段ハ幾ラデハナイカ、サウスレバオ前ノ所ノ工程ニ於テ幾ラデアレバ宜イデヤナイカ、統制經濟ニ於テ利潤ノ分配ハ公平ニシヨウト云フ見地カラ、協調ノ精神ヲ以テ立論致シマス場合ニハ、當局ノ指導精神ニモ、製造工程ニ於テ一體ドノ位ノ費用ヲ要スルモノカト云フ基準理想ノ値段ガナケレバナラス、先程申シマシタヤウニ、生絲ガ制限サレテカラ繭ハ六圓五十

錢マデハ買ヘルトカ、夏繭ナラバ五圓何十錢マデシカ買ヘナイト云フヤウナコトガ凡ナケレバナラスト思フ、脂肪何「パーセント」ノモノハ幾ラト云フコトガ當然ナケレバナラスト私ハ思フ、茲ニ一定ノ基準ヲ發見スルコトガ吾々ハ必要ダト思ヒマス、只今御話ノヤウニ、生産費ノ方面カラ計算致シマスコトハソレ／＼ノ條件ニ於テ非常ニ難カシイ、地理的ニモ地方的ニモ難カシイ、果シテ之ヲ出スコトガ妥當カドウカト云フコトニモ議論ガアルト私ハ思フ、併シ逆ニ乳製品ノ販賣價格カラ——酪農業ノ組合ヲ作ツテオヤリニナル以上ハ、此ノ組合ガ相當ノ利潤ハ認メルト致シマシテモ、力ガ強クナツタカラ、其ノ力ニ任セテ生産者側ニ壓力ヲ加ヘテ來ルコトハ斷ジテ吾々ハ承服出來ナイ點デアリマス、ソコデ認メ得ル製造過程ニ於ケル經費ガ一體ドノ位必要デアルカト云フ目安ガ當局ニハナケレバナラスト思フ、ソレカラ推シテ乳價ハ「キロ」八錢五厘トカ、九錢トカ、九錢五厘マデハ今ノ「バター」ノ値段、煉乳ノ値段ナラバ行キ得ルト云フモノガ出テ來ルモノト私ハ思フ、ソコデ「キロ」八錢五厘ナラバ、農家トシテモ飼料ガ幾ラマデノ場合ナラバ牛乳ノ採算ガ引合ツテ來ルト云フヤウ

ニ、總て生産ニ基礎ヲ置イテ、飼料ハドノ邊マデノ値ナラ宜イガ、苟クモドノ邊以上ニ上ツタナラバ、斷乎トシテ抑ヘル所ノ強壓ナル政策ヲ執ラナケレバナラス、又製造ニ對シテハ或ル一定ノ補助金ヲシナケレバナラス、今日海外輸出ハ困難ダト云フヤウナモノ、總テノ政策ノ基準ト云フモノハ此ノ計算ノ基礎カラ出テ來ナケレバナラスト思フ、例ヘバ乳製品、煉乳一封度ニ對シテ其ノ何「パーセント」ガ牛乳ノ値段デアリ、何「パーセント」ガ製造工程ニ要スル費用デアル、牛乳ノ其ノ何「パーセント」ノ中ノ何「パーセント」位ハ飼料トシテ之ヲ考ヘナケレバナラスカラ、其ノ際ニ飼料ガ幾ラニナツタラ云々、卵ノ値段ヲ御決メニナルニモ同様デアルト思フ、此ノ目安ト云フコトヲ吾々ハ御聽キ致シマセヌト、將來斯ウ云フ統制命令——法律ニ依ツテ酪農組合ガ出來テ、全國ノ製酪業者ガ一體ニナツタト云フ際ニ、農家トシテハ非常ニ此ノ壓力ヲ受ケルコトニナルト思フ、ソコデ諄イヤウデアリマスガ、御尋ヲシテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點御諒承ノ上更ニ具體的ナ數字ニ依ル御答辯ヲ願ヒタイ

尙ホ後段ニ御答ニナリマシタ三條ト四條トノ關係ハ私ノ誤解カモ知レマセヌガ、

斯ウ云フヤウニ御尋ヲシテ見タイ、實際統制ヲ致シマス場合ニ、農家ガ其ノ値デハ賣ルソハイヤダ、此ノ法律施行後ニ於テ何縣何々地方ハ何處ノ工場ト取引ヲシロト云フコトノ大體ノ方向ガ定メラレルデアラウト思フ、ソレニ基イテ政府モ工場ヲ單一化スルトカ、集約化スルトカ云フコトヲシテ行クダラウト思フ、其ノ際ニ縣ニ於テ此ノ値段デ取引ヲスルコトガ妥當ダト決メタ場合ニ、一體ソレヲ一方ノ生産者ノ組合ニ對シテハ其ノ値デ賣ツテヤレト云フコトヲ命令ナサルノデアリマスガ、ナサラスノデアリマスガ、若シ其ノ組合ガ其處ニ賣ルノハイヤダト云フナラバドウスルカ、又逆ニ一方ガ其ノ値デ買フノハイヤダト云フ場合ニハドウナルカ、具體的ニ御尋致シマスガ、是等ノ場合ニドウナリマスガ

○岸政府委員 前段ノ現在ノ乳製品ノ販賣ノ方面カラ乳價ガドノ位ガ適當デアラウカ決メラレルダラウ、斯ウ云フ御問デアリマスガ、是ハ先程申シマシタヤウニ、中々難カシイノデアリマシテ、「バター」ノヤウナ簡單ノ物デモ地方的ニ大分違フノデアリマス、輸出ハ大體ニ於テ先程申上ゲマシタヤウニ、殆ド利潤ナク、其ノ取引ニ努力ヲシテ居リマス、デアリマスカラ、其ノ方ノ値

段デ計算スレバ非常ニ安イモノニナラナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、此ノ製酪業組合ガ出來テ、ソレガ決ツテ來レバ、其ノ壓迫ヲ受ケテ生産者ガ非常ニ困ル斯ウ云フ御考デアリマスガ、昨日申上ゲマシタヤウニ、此ノ製酪業組合ガ仕事ノ合理化ヲシテ、サウシテ其ノ間ニ於ケル無駄ノ費用ヲ省キ、生産費モ下ルヤウニシテ、其ノ全體ノ利潤ト云フモノガ牛乳ノ生産者ニモ潤ハウト云フヤウナコトヲ考ニ置イテノ仕事デアリマシテ、私共サウ云フ意味ニ於テ指導モシ、協力モシテ行ク、斯ウ云フ積リデ居ルノデアリマス、其ノ御懸念ハ勿論ナサラナイデモ結構デナイカト思ツテ居リマス、尙ホ此ノ問題ニ付キマシテハ無論ドノ位ナ輸出ヲヤリ、ドノ位ナ物ヲ内地ニ賣リ、ドノ位ノ乳ヲソレニ使フカト云フヤウナコトハ、自然酪農中央協議會ニ掛ケテヤツテ行クコトデアルト思フノデアリマス、其ノ點ハ各方面ノ御檢討ヲ願ハレルコトダト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ價格等ノ關係ニ付キマシテモ此ノ際ニモ十分檢討ガ出來ルコトデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ三條ノ生産者ニ關スル關係ニ付キマシテ、取決メラレテモドウシテモ賣ル

ノガイヤダト言ヘバ仕方ガナイデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマス、勿論ドウシテモイヤダト云フコトデアレバ、ハ強制スルト云フコトハ中々困難ダト思ヒマスガ、大體ガ今デアリマシタ所ノ請負其ノ他ニ依ツテ各地トモ苦シメラレテ居ツテ、大體ニ於テサウ云フヤウナ經驗ハ各牛乳生産者モ農業方面ニ於テハ相當知ツテ居ルコトダラウト思フノデアリマス、今ノ値段決定ト云フモノガ昨日來御話申上ゲタヤウニ地方ノ協議會ニ於テモ十分ニ其ノ點ハ檢討スル、ソレカラ大體ガ初メニ生産者ノ團體ト其ノ供給ヲ受ケル側トノ當事者ニ於テ十分ニ其ノ條件ニ從ヒマシテ檢討ヲスル、即チ全體ノ理解總和ノ下ニ仕事ヲ進メテ行クト云フ考デ居リマスノデ、是ハ私ハ必ズサウ云フヤウナコトガナク、一致點ガ見出シ得ルコトデアルト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ爲ニハ勿論私共ハサウ云フヤウナ考ガ行渡ルヤウニ十分努力モシ又關係ノ者ニ十分其ノ理解ヲ得ルヤウニ努力シタイ、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマス

○河野委員 ドウモ能ク分ラヌノデスガ、此ノ法律ニ依レバ大體今後ノ牛乳ノ取引ト云フモノハ勝手ニハ出來ナイト云フコトニ縛ル所ニ目標ガアルノデハナイカト私ハ思

フノデアリマスガ、サウ云フ目標デハナイ  
ノデスカドウデスカ、兎ニ角ドノ條文ノ何  
處トハナシニ組合デ統制ヲシ其ノ統制ニ從  
ハナイ所ニハ統制ニ關スル決定ニ從フベキ  
コトヲ命ズルコトヲ得ト云フコトニナツテ  
居リマスカラ、組合ノ統制ニハ個人トシテ  
ハ從ハナケレバナラヌト云フコトニナルデ  
セウ、又其ノ組合ハ組合デ行政官廳カラ命  
令ヲ受ケルト云フコトニナルノデスカラ、  
今御答辯ノヤウナコトデハナシニ、ドウシ  
テモ其ノ決定シタ値段デ賣ラナケレバナラ  
ヌコトニナルノデハナイノデスカ、私ハナ  
ルコトヲ希望スルノデス、ナルコトヲ希望  
スル意思ガ強イガ故ニ、其ノ決定スベキ價  
格ト云フモノハ吾々生産者トシテハ何處マ  
デモ公正妥當ナル價格デナケレバイカヌト  
云フコトヲ私ハ主張スルノデアリマス、此  
ノ點ヲ間違ハレテハ困ル、統制ノナイ方ガ  
宜イトハ私ハ思ツテ居ラス、今日酪農ノ發  
達ノ爲ニハ今ノヤウナ醜惡ナル取引ハ斷ジ  
テ一日モ早く葬ラナケレバナラヌト思フ、  
是ハ其ノ通りデアルガ、サラバト云フテ  
生産者ノ方面カラ固ク組織付ケラレテ來タ  
統制ニアラズシテ、上カラ組織ヲ拵ヘテ來  
テ其ノ組織ニ下ヲ引摺ルヤウナ形ニ法律ガ  
見エルカラ私ハソコニ疑義ヲ持ツテ居ル、

之ヲ昨日來言ウテ居ル、デアルカラサウデ  
ナイカト云フ點ヲ個々ニ付テ私ハ御尋スル  
ノデアツテ、其ノ觀念ヲ間違ヘズニ御答辯  
ヲ願ヒタイ、ト同時ニ例ヘバ乳價ノ點ニ付  
キマシテモ今ココデ現在ノ乳價ハ幾ラカ、  
是ハ調べガナイ、妥當ナル値段ヲ出シニク  
イト云フノハ、ソレハ結構デアリマス、結  
構デアルケレドモ、凡ソ「パーセンテージ」  
ニ付テモ、「バター」ノ場合ナラ「バター」  
ノ「パーセンテージ」デ其ノ中ニ牛乳ノ量  
ガ幾ラ位掛ルノガ妥當ダ、何ガ幾ラト云フ  
コトガナケレバナラヌト思フ、ソレヲ御尋  
シテ居ルノデアリマス、ドウゾ御答辯ヲ願  
ヒマス  
○岸政府委員 先程私が申上ゲマシタノハ  
少シ言葉ガ足りナイノデアツタト思フノデ  
アリマスガ、勿論河野サンノ仰シヤルヤウ  
ナ意味デ考ヘテ居リマス、唯ソレガ若シ假  
ニ野河サンノ憂ヘラレルヤウナ不當ナ値段  
デアル、ソレナコトナラバ俺ハイヤダト言  
ウテ止メテシマフナラバ是ハドウニモ出來  
ナイダラウト思フ、其ノ點ヲ言ツテ居ルノ  
デス、隨テサウ云フヤウナ點ハ勿論ナイヤ  
ウナ條件ニ於テ物ガ動く、又動くヤウニ持  
ツテ行クト云フコトヲ考ヘテ居ル、斯ウ申  
上ゲテ居ルノデアリマス、是ハ上カラ持ツ

テ來タト云フヤウニ御感ジニナルト一寸私  
共ト考ヘ違フノデアリマスケレドモ、要ス  
ルニ下ノ取引ヲシテ居ル所ノ團體ノ皆ノ話  
合デモノガ決ツテ行クノデアリマスカラ、  
其ノ話合ニ從フコトニシテ行カウ、是ダケ  
デヤルノダト云フコトヲ決メタラソレニ從  
ハシテ行カウ、斯ウ云フ考デアリマス、其  
ノ團體トサウシテソレト取引スル所ノ關係  
ハ一番初メハ取引ノ契約デアリマスカラ、  
取引者同志デ行ハレルダラウト思フ、ソレ  
ガ公平ニイカスカ一致ヲ見ナイ時ニ地方長  
官ガ決メルト、斯ウ云フヤウナ段取デ進  
デ行ク、斯ウ云フ考デアリマス、ソレカラ  
一應現在ノ狀態ニ於テ原料ガ値段ノドノ位  
ヲ占メテ居ルカト云フコトニ付テハ、是ハ  
非常ニ大難把ナ數デアリマスガ、煉乳ニ於  
キマシテハ原料ノ乳ガ大體値段ノ四割、ソ  
レカラ他ノ原料其ノ他ガアリマス、ソレガ  
四割、工賃經營費ガ二割位ナ見當ニナツテ  
居リマス、ソレカラ「バター」ニ付テハ原料  
乳ガ八割、工賃經營費ガ二割ト云フヤウナ  
見當ニナツテ居リマス  
○河野委員 今ノ後ノ方ノ數字ハ間違ガ起  
ルトイケマセヌカラ明瞭ニ願ツテ置キタイ  
ノハ、是ハ現在ノ何處ノ會社ガドウ云フモ  
ノカ知ラヌガ、其ノ事情ガ斯ウナツテ居ル

ト思ヒマスケレドモ、是ガ妥當公正デア  
ルカナイカハ別ダラウト思フ、サウ云フ點ヲ  
明瞭ニシテ置カナイト、是ガ大體常識ニナ  
ツテ、其ノ程度ガ乳價ノ算定ニ於テ「バ  
ター」ガ幾ラデ出來タカラ乳價ハ幾ラシカ買  
ヘナイト云フコトニナルト困リマスノデ、  
其處ヲ十分御研究ヲ願ツテ明ニシテ置イテ  
戴キタイト思フ、私ノ聽カントスルノハ當  
局ノ理想デアリマス、大體工賃ノ二割ハド  
ノ程度マデ下ゲラレルカ、日本デ一番安ク  
出來テ居ルノハ何處デ、ドノ程度マデ行ツ  
テ居ルカト云フコトヲハツキリ肚ニ置イテ  
戴キタイ、又甘味其ノ他ノモノノ四割ハ是  
ガ果シテ妥當カ公正カト云フコトニ付テ  
モ、一體輸出ノ乳製品ヲ造ル場合ニハドウ  
云フコトニナルト云フコトモ明瞭ニ御檢計  
ヲ願ヒタイ、吾々生産者ト致シマシテ強ク  
主張シナケレバナラヌ點ハ製酪組合ノ方ヲ  
色々御話シデアリマスケレドモ、唯吾々ガ  
是ニ露骨ニ極端ニ申上ゲルト斯ウ云フコト  
デス、此處ハ他ノ委員ノ方ニモ一ツ御諒解  
ヲ願ヒタイト思ヒマスノハ、御承知ノ通り  
北海道ノ如クニ非常ニ能ク統制ノ取レタ繼  
ツタ製酪地帯ト、惡イ方ハ何處々々ト御話  
スルコトハ一寸差控ヘマスケレドモ、例ヘ  
テ言ヘバ静岡縣ガ、是コソ業者ノ不統制不

正ナル競争ト云フヤウナモノノ影響ヲ受ケマシテ、今日アノ亂雜ナ又牛乳地帯トシテ非常ニ歎カハシイ状態ニ陥ツテ居ル地方、是等ヲ引括メテ此ノ統制法ニ依ツテ考ヘタ場合ニ、ソレノ影響ノ仕方等ガ地方ニ依ツテ非常ニ違フト思フ、ソコニ於テソレゾレノ地方々々ニ於ケル本法ニ對スル概念ガ非常ニ違ツテ居ル、是ハ私共ノ所ヘ參ツテ居ル手紙ヲ見マシテモ、地方ノソレノ人カラ參ツテ居リマスル手紙ガ、マルデ違ツタ希望意見ヲ書イテ來テ居ルト云フコトヲ當局ハ御認識ガナケレバナルマイと思フ、當局ガ抑、本法立案ノ當初ニ於テ製酪業者ノ意見ヲ聽クニ急デアツテ、生産者方面ノ意見ヲ聽カレルコトガ割合ニ私ハ少クナカツタカト思フ、サウ云フ所ニ各地方ノ畜産組合方面カラ非常ニ區々意見ガ參ツテ居ル、此ノ事ハ十分御諒承ヲ願ハナケレバナリマセスト同時ニ、今後ニ於テモ當局トシテハ十分御考ヲ願ハナケレバナリマイト思フ、今申上ゲマシタヤウニ三條ト四條ノ關係ニ於テモ、賣ル方ト買フ方ノ規定ガ違ツテ居ルコトハ間違ヒナイ、色々局長ハ御答辯デアリマスケレドモ、生産者ノ方面ニ於テハイヤダト言ヘバ仕方ガナイ、ソレハ其ノ通りカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ

角飼ツテ居ル牛カラ出テ來ル乳ヲ、イヤダカラ道路ニ捨テテシマフト云フヤウナ馬鹿ナコトハアリ得ヌ、尤モ一例ヲ申上ゲマスレバ、私が畜産組合長ヲヤツテ居リマス或ル地方ニ於テ、サウ云フ滅茶ナ統制ニハ服サナイ、意地デモ道路ニ牛乳ヲ流スト云フノデ、或ル警察署長ニ頼ンデ、サウ云フ不穩ナ行動ヲシタ場合ニハドウシテ貰フト云フ所マデ尖鋭化シタ實例ガアルノデアリマス、隨テ是等ニ付テハ十分當局トシテハ御考ヲ願ハナケレバナリマセヌ、是ハ何時デモ一杯食ハス方ハ業者デアツテ、食ハサレル方ガ百姓デアリマスルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、所ガ百姓ニ關スル命令規定ノ方ガ非常ニ複雑デアリ強イ、二段三段ニ是ガ統制ヲサレテ居ル、所ガ業者ノ方ニ付テハ酪農業組合以外ノ一體ドノ點ニ於テドウ云フコトニナツテ居ルカ、甚ダ取締ノ法ニ於テモ緩慢ノヤウニ見エル、第四條ノ規定ヲ主トシテ居ラレルコト思ヒマスケレドモ、之ヲ見マシタ所ガ、生産者ノ側ニ關スル考ヘ方トハ寧ろ懸絶ガアルヤウニ私ハ思フ、重ネテ此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、何處マデモ賣ル方ト買フ方デアリマスカラ、同様ナ監督規定ガ私ハ宜シイト思フ、寧ろ強イテ言ヘバ、買

フ方ニ對シテ強ク臨マレルノデナケレバ、到底多數ノ生産者ガ對等ノ條件デ賣買ノ交渉ガ出來ルトハ考ヘラレヌ、更ニ又當局ノ考ヘ方ハ、今デサヘ生産者ノ方ガ兎角不利益ニナツテ居リマスモノヲ、一方ノ方ヲ工場ノ單一化デアルトカ、經營ノ合理化デアルトカ云フコトヲ圖ラレマスレバ、ソレ等ノ影響ヲ受ケテ却テ益、生産者側ハ是等ノ壓力壓迫ヲ受ケルコトニナリハセヌカト云フ懸念ヲ持ツノデアリマス、其ノ際ニ地方長官トシテハ如何ナル監督ヲシ如何ナル取締ヲスルカト云フコトニ付テノ規定ノ如キハ、只今御話ノヤウニ四條ノ後段ヲ考ヘテ居ル所ノ勅令ノ要綱ノ四條ノ三ニ書イテアルコトダケシカ私ハ考ヘラレヌ、是デハドウシテモ少シ私が懸念ヲスルヤウナ懸念ガ一般大衆ニアルコトハ當然デハナイカト思フノデアリマスガ、當局ノ御考ヘ方ハ如何デアリマスカ

○岸政府委員 河野サンノ御懸念ナサツテ居ル點ハ無論吾々モ十分懸念ヲシテ、サウシテ此ノ法律ニ規定シテ居ル譯デアリマス、私共ハ一方ニ於テ生産者團體ヲ強化スルト同時ニ、他方ニ於テ製酪業者ヲ整備シ、其ノ間ノ取引關係ニ於テ四條ニアルヤウナ點ヲ十分ニハツキリサセテ置クト云フコトデアレバ、茲ニ於テ從來認メラレテ居リマシタ取引上ノ生産者ノ不利ヲ蒙ルト言ツタヤウナ場合ノ弊害ガ取除カレルト信ジテ居ルノデアリマス、勿論生産者ニ對シマシテハ、斯ウ云フヤウナ點以外ニ或ハ獎勵ノ方面、或ハ指導ノ方面ニ於テモ出來ルダケノ方法ヲ講ズル考デアリマシテ、統制ノ豫算ノ中ニモ生産ノ方面ノ指導ヲスルベク技術員ノ配置ヲヤツテ行ク考デアリマス、其ノ點私共ハ仕事ガ十分ニ御懸念ノナイヤウニヤリ得ルモノデアアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ドウゾ宜シク

○河野委員 局長ノ考方ハドウモ私ハ贊成ガ出來ナイ點ガアルノデアリマス、今ノ御話デモ、局長ノ考ヘテ居ラレルコトト法律ノ内容ト云フモノハ一致シナイ場合ガアル、例ヘバ施行後ニアタノ御考ニナラナイ方ニ行ク場合モアルノデ、極端ニ言ヘバ、アナタノ今御答辯ニナツタコトガ、局長ガ代ルト、前ノ局長ハサウ云フコトヲ考ヘテ居ツタカモ知レヌガ、法律其ノモノカラ見レバ此ノ程度デ宜シイノダト云フヤウナ運用ノ違ヒモアル、甚ダシキニ至ツテハ、先日モ私が別ノ委員會デ申上ゲタヤウニ、政府委員ガ答辯シタコトサヘ、答辯シタ通りニヤラナイ場合モアル、デアルカラ吾々トシテ

ハ、法律ノ内容ニ付テ十分ナル検討ヲシナケレバナラス、飼料ニ付テモ御答辯ガアリマシタガ、飼料ノ配給會社デハコンナニ飼料ヲ高クスル積リハナカツタ、モツト巧クヤル積リデアツタ、所ガ事志ト違ツテ全國何處ヘ行ツテモ飼料ノ値段ガ高クテ困ル、飼料ハアナタガ御考ノヤウニ相當ノ數量ヲ持ツテ來テ居ル、相當ノ數量ヲ持ツテ來テ相當苦勞ヲシテ居ラレテモ、經濟問題ト云フモノハ法律ノ運用ノ目的ト別ノ方面ニ走ツテ、事志ト違フ場合ガアル、例ヘテ申シマスレバ、先程御答辯デアリマシタケレドモ、此ノ製酪業組合ニシマシテモ、組合ト云フモノハ此ノ法律ニモ營利ヲ目的トシテ事業ヲヤレナイト云フコトガ書イテアリマシヤウニ、此ノ製酪業組合ニ付テハ十分取締ツテ行ク、斯ウ云フ風ニ規定スルコトハ諒トスルノデアリマスケレドモ、何處マデ行ツテモ製酪業組合ノ要素デアリマス所ノ組合員ダケハ——尤モ北海道ノ團體ハ別デアリマスガ、他ノ要素デアリマス所ノ業者ニハ何處マデモ營利ヲ目的トシタ人ガ集マツテ居ル、極端ナ言葉ヲ以テ當ルナラバ、營利ヲ目的トセザル製酪業組合ノ假面ヲ被ツテ暴利ヲ貪ルコトヲ得ルノデス、私ノ懸念スル點ハ此ノ點デアリマス、好イヤウナ

方面ダケ製酪業組合ヲ使ツテ、サウシテ此ノ楯ニ依ツテ裏ニ於テ生産者ニ壓力ヲ加ヘルコトモ出來ル、現在ノ狀態ニ於テハ餘リニバラ／＼過ギテ、餘リニ減茶々々過ギテ、茲ニ不安定ノ爲ニ我ガ畜産業ノ進展ヲ阻止シテ居ルコトハ事實デアリマスケレドモ、サラバト云フテ是ガ餘リニ統制セラレテ、其ノ統制ノ弊害ノ現ハレテ來ルコトヲ吾々ハ遺憾ニ思フ、ト云フ場合ハアリ得ルト思フノデアリマスカラ、苟モ取引ノ基準デアリマストカ、是等ノ目安デアリマストカ云フモノハ、何處マデモ公正妥當ニシテ置カナケレバナラス、唯局長ガ、俺ガ居ル以上ハ、俺ノ目ノ黒イ内ハ、斯ウ仰シヤルガ、マサカ畜産局長デ何年モ居ラレル譯デナイ、又ハ巧ニ畜産局長位ハ胡麻化シテ、巧ク一杯食ハシテヤリ得ル奴ハ澤山世間ニハアル、シテ見レバ吾々トスレバ、ドウシテモ此ノ法律ノ上ニ於テ考ヘ方ガ不十分デハナイカト云フ點ニ付テハ御考ヲ願ハナケレバナラヌ點ガアルノデアリマス、デアリマスカラ其ノ點ハ岸サンモ十分御考ヘ直シテ願ハナケレバナラスト思フ、甚ダ率直ニ申上ゲテ失禮デアリマスガ、ドウモ岸サンハ滿洲デ長イ間御役人ヲシテ居ラレテ、思ヒ切ツテズバ／＼ヤツテ退ケラレタ經驗ガオアリデ

アリマスカラ、正シイ事ナラ宜シイノダト云フノデ、無暗ニ自分一人ノ正シイ氣持デオヤリニナルカモ知レマセヌガ、其ノアナタノ氣持ヲ冒瀆シテ、其ノ正シイ純眞ナ心持ヲ逆用シテヤツテ居ル者ガ世間ニハ相當アル、ソレニマザ／＼一杯喰ハサレテ居ルト云フ例モアルト思フ、デアリマスカラ是等ノ點ニ付テハ細心ヲ注意ヲ拂フ必要ガアルト思フ、上手ニ騙ス人間ガ相當居ルノデス、其ノ點ヲ吾々ハ憂慮スル故ニ諄ク御尋スルノデアリマスガ、ドウ考ヘテモ生産者ガ賣ル場合ト買フ場合ニ付テノ規定ガ、不十分ダト思フ、寧ロソコニ參考トシテ次ノ機會ニ御提出願ヘバ結構デアリマスガ、北海道ノ取引事情ハドウナツテ居ルカ、又最近實施致シマシタ神奈川縣ノ取締方法、又ハ統制事情ハドウナツテ居ルカト云フコトモ參考トシテ御提出ヲ願ツテ、是等ト本法トノ關係ガ一體ドウナツテ居リマスカ、吾々ハ神奈川縣ニ於テ相當強力ナル統制命令ヲヤルベク準備シテヤツテサヘ中々巧ク行カナイ、是カラ考ヘテ見レバ、此ノ條文ノ如キモノヲ以テシテ、而モ其ノ命令ハ吾々ノ知ラナイ所ノ考ヘナイヤウナ所ノ命令、茲ニ與ヘテ居ラナイヤウナ命令ヲ其ノ他／＼ニ括メテ御ヤリニナレバ別デアリマス、是ハ役人

ノ手トシテヤリ得ル、其ノ他必要ナル云々ト云フ字句ヲ附ケテ、其ノ他ノ中ニ入ツテ居ルノダト云フコトヲヤレバ別デアリマスガ、吾々ニ示サレタ程度ノ問題デハ中々サウハ考ヘ切レナイ、デアリマスカラ是等ニ付テハ更ニ大臣ノ御見エニナリマシタ際ニ私ハ御尋スルコトニ致シタイト思フ、次ニ御尋致シタイノハ生産者ニ於テヤツテ居リマス團體ガ法人デナイ場合ガアル、ソレ等ハ今後ドウ云フコトニナリマスカ、ドウ云フ御考デアリマスカ、承ツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員　ドウモ私ノ口下手ノ爲十分河野サント意思ガ疏通シマセヌデ殘念デアリマスガ、御注意ノ數々ハ十分考ヘテヤツテ行ク積リデアリマス、又當局ガ迷ツテモサウ云フコトガ變ル譯ノモノデハナイト思ヒマス、尙ホ法人化シテ居ラナイ團體ニ付キマシテドウスルカト云フコトデアリマスガ、是等ニ付キマシテハ從來ハ別段手ヲ加ヘテ居リマセヌガ、相當ノ乳量ニ進ンデ行キマスルト、此ノ法律ト關係ガ出來テ參リマスノデ、此ノ仕事ヲスル上ニ於テハヤハリ命令事項ノ中ニアリマスヤウニ三種ノ中ノ何レカラ擇ンデ進ンデ貫ヒタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、其ノ團體ノ統制、

或ハ團體ノ一元化ト云フヤウナ問題ハ、一方ニ於テ大キナ問題ガアツテ研究サレテ居リマス、是等ノ點ハソレ等ノ決定ヲ俟ツテ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマスガ、現在デハ此ノ何レカ三ツノ形ニ於テ行クヤウニ考ヘテ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○河野委員 三ツノ形ト云フコトデスガ、法人ニ依ラザルモノデ相當強力ナ例ヘバ甚ダ一例ヲ自分ノ縣ニ取ツテ失禮デアリマシガ、神奈川縣デヤツテ居リマス酪農協議會、又更ニ私ノ郡デヤツテ居リマス中郡酪農組合聯合會、是等ハ取引數量モ日産九十石位ノ取引數量ヲ持ツテ居リマス、併シ之ヲ畜産組合デヤルコトハ不適當デアリマスノデ、酪農家ダケヲ網羅シタ酪農組合ヲ各部洛ニ作り、其ノ聯合會ヲ郡ニ作ツテ、其ノ聯合會ニ於テヤツテ居リマス、サウ云フヤウナモノハ一體今後施行ノ上ニ於テドウ云フコトニナリマスカ、是ハ他ノ地方ニモ相當アルト思フノデアリマスカラ一ツ御示ヲ願ヒマス

○岸政府委員 神奈川縣ニ於ケル縣一圓ノ團體、或ハ中郡ニ於ケル今ノ任意組合ノ團體ニ付テドウ云フヤウニナツテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、其ノ點ハ此ノ三ツノ

法人ヲ中心ニシテ考ヘテ參リマスレバ、其ノ法人ノ中ニ於テ、其ノ地方ニ於テ一番都合ノ良イ形ヲ取ツテヤツテ戴ケバ結構ト思ヒマス、例ヘバ中郡ノ問題デアリマスレバ、産業組合系統化スルト云フコトガ最モ宜イト云フコトデアレバ、サウ云フ風ニ指導シテ戴キマス、サウシテ勿論此ノ點ニ付キマシテハ、牛ノ飼育團體ト畜産組合ガ十分精神的「バック」ヲシナケレバ出來ヌト思ヒマス、サウ云フ風ニ導イテ戴ケバ結構ト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ兎ニ角現在ヤツテ居ル所ノ形ヲ認メテ、サウシテソレニ統制力ヲ與ヘル、斯ウ云フコトヲ目標トスルノデアリマス、サウ云フ風ニ御諒承下サイマシテ宜シト思ヒマス

○河野委員 既ニ相當ノ程度マデ發達致シテ居リマス地方ニ於キマシテハ、ソレノ機關、ソレノ團體ヲ作り易イノデアリマスガ、恐ラク本法制定後ニ於ケル目標ハ、牛ノ生産擴充ト云フ意味ニ相當聯關シテ居ルコトト思ヒマスノデ、新ニ乳牛ノ地帯トシ、是ガ獎勵地區ト致シマス場合ニ於テハ、既存ノ産業組合ノ地區ヲ以テ致シマシテハ非常ニ數量ガ少イ、相當纏ツタ地區ヲ以テ一ツノ團體トシテ獎勵ヲ致シタイ、サラバト云ツテ畜産組合デヤルニハ其ノ地方ガ例ヘバ馬ノ非

常ニ盛ンナ所デアアル爲ニ乳牛云々ト云フコトガヤリニクイ、同時ニ又是ガ金錢ニ直接觸レル問題デアリマスノデ、地方ノ者ト致シマシテハ人的其ノ他ノ關係カラ致シマシテ扱ヒニクイ場合ガ相當多イト思フ、サウ云フ場合ニ今申サレルヤウナコトニ因ハレルコトハ一體ドウカト思フ、例ヘバ私ノ郡ノ例ヲ申上ゲテ御答辯ヲ得タノデアリマシガ、私ノ郡ニ於キマシテモ、既ニ産業組合ノ組織ニ依ツテ中郡、愛甲郡ノ二郡ニ跨ル産業組合ガアル、是ハ乳量ニ於テハ日産十石位ノコトニナツテ居リマス、所ガ其ノ同一地區内ニ於テ、産業組合ニ入ラズシテ森永ノ關係トカ、森山ノ關係トカ、明治ノ關係トカ云フモノガ居ル、サウシマス、今中郡一圓ノ産業組合ヲ作ル場合ニハ、此ノ産業組合ト牴觸シテ産業組合ノ方ハ旨ク行カナイ、出來ニクイ、別ニ新ニ郡單位ノ産業組合ヲ作ルト云フコトハ、是ハ中々當局ノ方ニ於テモ難色ガアル、サウ致シマス、畜産組合デヤルニハ、成ベク畜産組合ノ方ハ斯ウ云フ經濟問題ニハ觸レヌ方ガ宜シイ、殊ニ牛乳ノ處理場ヲ作ルト云フコトニナルト、中々難カシイト云フヤウナ關係等ガアリマシテ、茲ニ最モ考ヘ方ヲ簡單ニシテオヤリニナリマセヌト、運用後ニ於テ法

人ガ云々ト云フコトニナリマス、乳牛ヲ獎勵サレル上ニ於テ、取締ノ上ニ於テ支障ガアリハセヌカ、今日ノ經濟更生指定村ニ乳牛ヲ飼ハシテ、産業組合ノ方ニ於テ云々ト云フヤウナコトデヤツテ行キマシテモ、中々サウ云フコトハ行キニクイ、ヤハリ會社ガ中心デ乳牛ヲ飼ハセ、ソレガ中心デ發達シテ行キ、其處ニ本當ノ乳牛地帯ヲ拵ヘルト云フ行キ方ノ方ガ早イカモ知レヌ、要スルニ資本家ト云フモノヲ無碍ニ排撃スルコトハドウカト思フ、公正ナル指導ノ下ニ立ツ産業ナラバ、誰ガヤツテ呉レテモ宜シイ、必ズシモ産業組合系統ガ産業組合ノ低利資金デヤラナケレバナラヌモノデモナケレバ、經濟更生指定村ノ關係デ行カナケレバナラヌモノデモナカラウト思フ、是等ガ兩々相俟ツテ各方面カラノ力ガ合シテ茲ニ一ツノ完全ナ乳牛地帯ヲ作ルコトニナツテ來ルノデアツテ、此ノ三ツニ依ル所ノ法人云々ト云フヤウナ窮屈ナ考ヘ方デナシニ行キ方ハアルマイカドウデアラウカ、又ソレガイカヌノナラバ、郡一圓ノ産業組合、二郡ニ跨ル産業組合ノ設立ヲ認可スルト云フ場合ノ産業組合關係ハ御諒濟ミデアリマスカドウデアリマスガ、ソレ等ニ付テノ御答辯ヲ伺ツテ置キタイ

○岸政府委員 今ノ御尋ノ二郡ニ跨ル産業

組合、或ハ一郡ノ産業組合ト云フコトニ付テハ、マダ別段ノ諒解ヲ得テ居ルノデハアリマセヌ、唯雞卵ノ問題ニ付キマシテハ、サウ云フヤウナ形態モ認メテ、サウシテ經濟的發達ヲ圖ルヤウニスル、此ノ點ハ雞卵ノ場合ハ行ケルヤウニ思フ、地方的ニ見マ

スレバ、御話ノヤウニ畜産組合デヤツタ所モ、産業組合モ其ノ裏表ニナツテ導イテ

行クコトガ多イ、産業組合ニナツテ行ク傾

向ハ非常ニ多イト思フ、ソレハ性質上サウ云フコトニナルガラウト思ヒマス、ソレカ

ラ特例トシテ山口方面ニ於テハ三郡、四郡ヲ一ツニシテ、サウシテ産業組合ヲ認メテ

實際ノ仕事ヲ運用シテ居ル所ガアリマスガ、其ノ點ハ何トカ具體的ノ方針ヲ決メテ

諒解ガ得ラレルナラバ、其ノ地方ニ適用出

來ルヤウニ一ツ處置シタイト思ヒマス、斯

ウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、産業組合トハ更ニ打合セヲシマシテ決メタイト思ツ

テ居リマス

○河野委員 其ノ點ハ是非一ツ當局ノ方ニ於テモ完全ニ御打合セ置キヲ願ヒタイト思ヒマス、私達モ成べくハ組合組織ニシテ、經濟行為ハ産業組合ニ依ツテヤルコトノ方ガ妥當ニ考ヘマスノデ、是非サウ云フ手順

ニ御進メ置キヲ願ヒタイ、次ニ御尋シタイ

ノハ此ノ法ヲ施行サレマシタ後ニ於テ生産者ガ新ニ組合ノ經營ニ於テ製酪事業ヲ行ハ

ントスルトキニハ、之ヲ認メラレルカドウカ、一體斯ウ云フ行キ方ハ獎勵サレルカド

ウカト云フコトニ付テノ當局ノ方針ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 一寸解シ兼ねマシタガ、生産者ガ加工スル場合デアリマスカ

○河野委員 サウデス

○岸政府委員 是ハ此ノ統制ガアルカラ無

效トシテ居リマスモノハ極ク寡少ナモノデアリマスケレドモ、或ル程度以上ノモノハ

無論此ノ法律ニ依ツテ地方長官ガ認可シテ行クノデアリマス、ソレ等ニ當リマシテ勿

論産乳ノ量ニ依リマシテ、直チニ大キナ事業ヲ起スヤウナコトニハ出來ナイガラウト

思フノデアリマス、隨ヒマシテサウ云フヤウナ團體ガ事業ヲ起スヤウナ際ニハ、是ハ

認メテ行ク、斯ウ考ヘテ居リマス

無論是ガ大キナリマスレバ、更ニ別ナ部面カラ檢討ヲシテ行ク必要ガアルト思ヒマス、ソレハ從來ノ製乳業ノ發達ノ經過カラ見テモ、サウ云フ風ニ考ヘテ然ルベキモノデハナカラウカト思ヒマス

○河野委員 製酪業組合ヲ作ルコトハ、法

人トシテ全國ヲ通ジ一個トスルト云フコト

ニナツテ居ル、組合ノ關係カラ致シマスルト、從來ノ取引シテ居リマスル製造會社、

今申上ゲマシタ生産者ノ組合ガ、産業組合法ニ依ツテ相當ノ資金モ得、組織モ得テ、

サウシテ是ト取引ヲ致シマスル場合ニ、ドウシテモ生産者ノ團體トシテハ牛乳ノ處理

場ヲ作ルト同時ニ、或ル程度ノ製酪ノ事業ヲ行フベキ工場其ノ他ヲ持つ必要ガアル、

例ヘバ北海道ノ製酪組合ノヤウニ行クコトガ吾々ハ理想ダト思フ、所ガサウスルコト

ハ何トシテモ業者ノ方ハ絶對ニ希望セザル所デアリマス、ソコデ茲ニドウシテモ目標

ガ達ツテ參リマシテ、生産者ガ新ニ製酪事業ヲ行ハウト云フヤウナ計畫ヲ致シマス場

合ニ、此ノ製酪業組合若シクハ其ノ組合員ガ非常ニ強ク反對スルノデハナイカ、其ノ

反對ガ反映シテ地方長官ガ之ヲ認可シナイデヤナイカト云フヤウナコトガ、吾々考ヘ

ラレルノデアリマスケレドモ、ソレ等ノ場合ニ於テハ當局ハサウ云フ希望ガアツタ場

合ニハ、サウ云フノハ許ス、今御話ノヤウニ乳量ニモ依ツタモノデアルト云フ御話デアリマスガ、勿論相當ノ乳量ヲ持タナケレ

バ、生産者自身ガ協カラ持つテ來テヤルヤウナ場合ニ於テハ、勿論是ハイカヌニ致シ

マシテモ、其ノ地區内ニ於テ生産サレル所

ノ牛乳ヲ以テ一方ニ工場ヲ持ち、一方ニ處理場ヲ持つト云フコトハ當然將來ニ於テ吾

吾トシテ考ヘナケレバナラスコトダ、是ガ即チ製造業者ト正面衝突スルノデヤナカラ

ウカト思フ、ソレ等ガ本法ニ於テ製酪業組合ヲ作ツテ鞏固ニナツタモノニ依ツテ壓力ヲ受ケハセヌカト云フ懸念ヲ持つテ居ルノ

デアリマスガ如何デアリマスカ

○岸政府委員 生産者ニ依ツテ新設シヨウトスル所ノ製乳事業、是ノ進展ニ害ガアリ

ハシナイカト云フ御問ノヤウニ思ヒマシタ、此ノ製酪業ノ方ノ設立ノ認可ハ主務大臣ガ

之ヲヤルト云フコトニシテ居ルノデアリマス、ソレ等ノモノヲ許可スル場合ニ於キマ

シテハ、十分ニ從來ノ生産者トノ關係、其ノ地方ニ於ケル業者トノ關係ヲ考慮シテヤ

リマスカラ、生産者獨自ニ於テ十分ニ事業ガ出來ルト云フ場合ニ於テハ、十分ニヤリ得ルコトト思ツテ居リマス

○河野委員 サウスルト原則トシテハ生産者獨自デヤラウト云フ希望ガアツタ場合ニハ、之ヲヤラセルト云フコトニ諒承シテ置

イテ宜シウゴザイマスカ、更ニ申上ゲレバ、生産者ガ相當ノ乳量ヲ持ち、生産者ガ組合

ニ於テ之ヲヤリタイト云フ希望ノアツタ場

合ニハ之ヲ認メルト云フヤウニ諒承シテ宜シイカ乃至ハ今御話ノヤウニ十分地方ノ實情ヲ考慮シテト云フコトニナルト、既存ノ工場ガアルカラ云々ト云フコトニナツテ、ソレガ製酪組合ニ引掛ツテ來テ中々ソレ等ニ依ツテ旨ク行カナクナルト云フヤウナ氣持ガスルノデアリマスガ、唯破壊ガ目的ニアラズシテ、自己ノ生産シタ乳價ヲ引上ゲルノガ目的デ、ドウシテモ適當ナ處理場ヲ造リ工場ヲ造ルコトガ北海道ノ製酪業ノ組合ノ現状ニ鑑ミテ、内地ニ於テモ順次發展ノ過程トシテ斯ウ云フ問題ガ起ツテ來ルト

吾々豫想スルノデアリマス、サウ云フ際ニハ認メルコトガ原則デアツテ、特殊ノ場合ニ之ヲ認メナイノダト云フコトニ諒承シテ宜イカドウデアリマスカ

○岸政府委員 勿論此ノ法デ御覽ノ通りニ、製酪業組合ハ生産者ノ團體モ加入スル、製造業者モ加入スル、サウシテオ互ニ協力シテヤツテ行カウト云フ所ニアルノデアリマス、今御話ノ生産者ニ於テノ事業經營ト云フコトモ、別段其ノ見地カラ見テ經營者ヲ生産者ダカライカスト云フノデハナイノデアリマシテ、生産者デアラウト何デアラウト、ソレハ構ハナイ、唯此ノ法ノ全體ノ考ヘ方トシテ、此ノ事業ヲ許スノニ酪農一致

ノ關係カラシテ、此處ニ是ダケノ仕事ガ起シ得ルト云フ點ヲ考ヘテ許スノデアリマス、ソレハ無論サウ云フ點ニ於テ支障ガナケレバ是ハ許スベキモノデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員 御話ノ間違ヘカドウカ知リマセヌガ、製酪業組合ニハ生産者ノ代表モ入ルノデアリマスカドウデアリマスカ

○岸政府委員 加工スル部面ニ於テ生産者ノ組合モ入ツテ居ル譯デアリマス、例ヘテ見レバ北海道製酪業組合ノ如キデアリマス

○河野委員 ソレハ加工スル代表デアツテ、生産ト加工ト一致シタ北海道ニ於テノミアリ得ルコトデアツテ、他ノ方面ニ於テハサウ云フコトハアリ得ナイ、北海道ノ如ク非常ニ進歩シタ場所ト他ノ遅レタ場所トヲ、同ジ問題トシテ考ヘナケレバナラス所ニ吾等ノ非常ナル苦痛ガアル、北海道ノ如ク非常ニ統制モアリ非常ニ進シタ場所ノ生産者竝ニ業者ノ方ノ關係ト、他ノ方面ノ生産者トハ、其ノ事情ニ於テ非常ニ異ナルモノガアルノデ、茲ニ吾々ノ伺ハントスル所ヲ、北海道ノ事情ニ依ツテ答辯サレルト、内地ノ生産者トシテハ非常ニ統制ノ弱イ點ガアリマスノデ、北海道ノ如ク強力ナル統制ヲ持

ツテ居ル地方ハ、此ノ法律ガアラウトナカラウト問題デハナイ、吾々ノヤウナ遅レタ地方ニ於テハ製酪業組合カラ後ノ方ガ、寧ロ吾々カラ考ヘレバ之ニ依ツテ何トカサレルノデハナイカト云フ氣ガスル、此ノ點吾々ト當局ト認識ノ違フ點デアリマス

其ノ點ノ概念ヲ先程カラ度々私ハ言ウテ居ル、遅レタ地方ヲ目標トシテ之ヲ如何ニ指導誘掖スルカト云フコトガ法律ノ親切ナル所以デアリ、又發達セシムル所以デアルト思フ、ソコデ一番初カラ言フヤウニ、製酪業組合トシテハ輸出増進ト云フコトガ本法ノ主タル部分ノヤウニ考ヘル、ソレニ必要ナル附屬物ノヤウニシテ牛乳ノ賣買ト云フコトガクツ付イテ來テ、隨テ決メラレル値段ハ輸出ガ基準ニナツテ牛乳ノ買上値段ガソレニ適當ナル値段デ買上ゲラレルノデヤナカラウカト云フ懸念ガアル、其ノ點ハ十分御考慮ハナケレバナラス、諄イヤウデアリマスケレドモ、先程申上ゲマシタヤウニ、本法ヲ立案セラレマスル當初カラ、北海道ノ方面トハ十分御相談ガアツタカモ知レヌガ、吾々ハ不敏ニシテ全國ニ於テ千葉、神奈川、静岡ト謂ハルル神奈川縣ニ居リナガラ、何等御意見ヲ申上ゲル機會モ得ナカツタシ、御聽キ質シモ出來ナカツタコトハ

甚ダ吾々遺憾ニ考ヘル次第デアリマス、デアリマスカラ、其ノ他ノ後進地方、茲ニ資料トシテ頂戴シマシタ他ノ府縣ニ於テハ全く見當ガ付カナイヤウナ事情ニアリマスルノデ、是等ニ對シテハ餘程當局モサウ云フ認識デ御考ヲ願ハナケレバナラスノデアリマシテ、先程來段々申上ゲマスヤウニ、製酪業組合デアツテモ此ノ乳價ノ買上値段ニ付テハ此ノ製酪業組合ガ相當ニ物ヲ拵ヘテ賣ラヌカト云フノデ、即チ其ノ影響ハ生産者ニ全面的ニ及ンデ來ルノデアリマスカラ、製酪業組合ト申シマシテモ組合ノ運營ノ如何ハ、直チニ是ガ一體不可分デアル生産者ニ及ンデ來ル、此ノ點ニ付テモ吾々ハ此ノ法案ノ認識ト認識ヲ異ニスル、製酪業組合ニ生産者ノ代表ガ入ツテ居ルト言ハレマシテモ、内地ノ生産者代表ハ入り得ヌ、寧ロ北海道ト雖モ生産者代表デアルカモ知レヌガ、即製酪業者トシテノ代表ノ意味デ入ル限リ、製酪業ノ仕事タルヤ生産者ト一體不可分ノモノデアル、此ノ運營ノ善惡利害ト云フモノハ、即チ直チニ生産ノ過程ニアルモノニ影響ガ來ル、例ヘバ養蠶ニ於テモ蠶ノ蠶絲業ガ一體トナツテ茲ニ養蠶ノ振興ト云フ問題ヲ論ズルコトガ、如何ナル場合ニ

於テモ當然デアリマス、斯ノ如ク製酪業組合ト云ウテ製酪業者一本ダケデヤツテ居ル場合ハ私ハナカラウト思フ、其ノ要素ニナルベキモノノ條件ヲ取入レナイデヤルコトハ私ハ不適當ト思フ、之ニ付テノ御考如何デアリマスカ

○岸政府委員 製酪業組合ニ加入スルモノニ於キマシテ、北海道ノ例ダケヲ舉ゲタト云フコトデゴザイマスガ、加工事業ニ付テハ内地ニ於テモ其ノ團體ガ加工スルト云フ點ニ於テ製酪業組合ノ一員トシテ御互ニ協力スル、斯ウ云フ考デアリマスカラ、内地ノ方面カラモ色々各地方ニヤラレテ居ル人が出ラレル、例ヘテ言ヘバ東京府下ノ例デ申シマスレバ——ソレハ御手許ニ差上ゲマシタ團體ノ調ノ中ニモアリマスガ、内地ニ於テモソレハハヤハリ之ニ加ハツテ居ルト云フ考ヘ方デアリマス

○河野委員 生産者團體トシテ例ヘバ北海道畜産聯盟ノヤウナモノガ内地デモサウ云フヤウナ形式デ入り得ル場合ガアリマセウカ、御示シヲ願ヒマス

○岸政府委員 ソレハ例ヘテ見レバ東京府下ニアリマス所ノ大島、三宅島ノ組合ナド相當ナ組合ガアリマスガ、是等ノモノハ此處ニ入ルカモ知レヌガ、或ハ一ツノ團體ト

シテ纏ツテ入ルカモ知レヌ、何レニシテモサウ云フモノガ此ノ團體ニ加ハツテ行ケルコトガ出來ルト思ヒマス、隨ヒマシテ御懸念ノヤウナ點ハサウ云フヤウナ點デオ互ニ話合ツテ行クト云フコトデアリマスレバ、其ノ間ニ自然生産方面ノ氣持モ反映シテ行ケルノデハナイカト斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員 オ互ニ話合フニモ話合フ機會ガナイノデス、例ヘバ内地デ言ヘバ大島、三宅島ト云フヤウナコトデアリマスケレドモ、大島、三宅島ニシマシタ所デドウ云フコトニナルカ知レマセスケレドモ、恐ラク生産者ノゾレガ代表ト考ヘラレルコトガ出來ルカドウカト云フコトハ甚ダ懸念ニ堪ヘナイ、例ヘバ重要ナル縣ノ代表デアルトカ何トカ云フモノガ入ルノナラバ兎モ角、サウ云フモノガ考ヘラレナイ以上ハソレヲ以テ生産者代表トスルコトハ出來ナイ、何處マデモ製酪事業トシテノ代表デアツテ、直接農乳關係ノ代表ト云フコトニハ吾々トシテハ考ヘラレナイノデアリマスガ如何デアリマスカ

○岸政府委員 製酪業組合ニ加入スル點ニ於キマシテハ、勿論河野サン御話ノヤウニ加工業者デアリマスガ、併シソレハ過日申上ゲマシタヤウニ、今ノ生産者ノ代表ト云

フヤウナ點カラ言ツテ、大キナ意味デノ話合是ハ中央協議會ガアリマス、其ノ際ニ代表ヲ選ンデ戴イテ御話スルト云フコトニナリマスルカラ、其ノ方ニ於テ生産者ノ利害ガ反映シテ來ル譯デアリマス、加工業者ノ——製酪業組合ニ於テ加工業者デアルト云フコトデ加ツタ部面ハ無論河野サンノ御話ノ通りデアリマスガ、結局サウ云フ因子ガ加ツテ居ルコトニ依ツテ大體生産方面ノ氣持ガ映ルダラウト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ル譯デアリマス

○河野委員 一ツ御示シヲ願ヒタイノハ、中央ノ酪農協議會、地方ノ酪農協議會ノ組織竝ニ其ノ構成ニ付テノ參考資料ヲ次回マデニ一ツ御提出願ヒタイト思ヒマス、ソレハドウ云フ風ナ規準ニ依ツテドウ云フモノヲ審議スル、ドウ云フ方法デヤルト云フコトヲ御提示願ヒタイ、ドウモ政府デハ官民合同ノ委員會、業者代表ノ委員會ヲ作ツテ諮問スルト仰シヤルケレドモ、ソレハ名前ダケデアツテ、サウ云フモノニ懸ケルノハ大體決ツタモノデ、年ニ一度カ二度開イテヤラレルモノト云フヤウニシカ吾々トシテハ考ヘラレヌノデアリマスガ、今回ノ委員會ハドウ云フコトニナルカ、一ツ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、段々御尋ガ長クナリマ

シテ甚ダ恐縮デアリマスガ、私ハ先日モ申上ゲマシタヤウニ、飼料ノ點ニ付テ今日非常ニ各方面カラ非難ガアル、ソレデ何レハ大臣ガ御出席ノ上デ尙ホ御尋ヲシタイト思ヒマスガ、今一點承ツテ置キマス、今飼料配給會社デ輸入ヲヤツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ資料ニモアリマス通りニ、是ハ一體ドウ云フ經過デ輸入ヲシテ、ドウ云フ風ナ經過デ出シテ、其ノ中間ノ值額ハ幾ラデ、ソレカラソレハドウ云フ風ナ經過ヲ經テ農家ニ渡ルカト云フコトノ極ク大體ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 輸入ノ資料ニ付テハ御手許ニ差上ゲテ居リマスルヤウニ、飼料配給會社ニ於テハ二万八千噸位輸入シテ居リマス、是等ハ主トシテ上海及ビ青島、濟南方面ノ物デアリマシテ、滿洲物モ少シ加ツテ居ルノデアリマス、是等ノ輸入ニ當リマシテハ、過日豫算分科會デ御話申上ゲマシタヤウニ、飼料配給會社ニ爲替ヲ許シマシテ、サウシテ上海及ビ青島、濟南方面ノ買付ヲヤラシテ居ル譯デアリマス、勿論飼料配給會社ガ直接行ツテ居ル譯デハアリマセヌ、勿論此ノ輸入ニ從事シテ居リマシタ各社ニ依頼シマシテヤツテ居ル次第デアリマス、此ノ入レタ物ハ、從來ノ輸入ノ關係ガ

アリマスノデ、全購聯及ビ保税工場ニ所要  
量ヲ與ヘルト同時ニ、大部分ノモノヲ黠業  
者ヲ通シテ配給スルコトニシテ居リマス、  
此ノ點ニ付キマシテハ飼料配給會社ニ於キ  
マシテ黠業者ト色々話合ヒヲシテ、輸入黠  
ノ配給ノ組合ヲ從來ノ業者デ作ツテ、ソシ  
テソレガ大體此方ノ農林省ノ飼料ノ政策ニ  
則ツテ、成べく中間ノ利鞘ノ少イヤウニス  
ルト云フ方針デ、或ル一定ノ手数料ヲ取ツ  
テ之ヲ配給スルコトニナツテ居ルノデアリ  
マス、隨テ農家ニ入リマスノハ一部全購聯  
ヲ通シテ行クモノモアリ、養雞飼料ノ如キ  
ハ一部保税工場ニ於テ他ノ飼料ニ加ヘラレ  
テ配給サレルモノガアル、他ノ大部分ト云  
フモノハ今ノ飼料商ノ關係カラ移ツテ行ク  
譯デアリマス、其ノ輸入致シマシタモノニ  
付キマシテハ、產地ニ依ツテ過日モ御話申  
上ゲマシタヤウニ非常ニ差ガアルノデアリ  
マスガ、ソレヲ大體品質ニ依リマシテ格差  
ヲ付ケマシテ、サウシテ輸入シタモノヲ百  
斤五圓二十錢カラ五圓四十五錢位ノ程度デ  
之ヲ引渡スコトニナツテ居ルノデアリマス、  
此ノモノニ對シマシテ水揚ガ其ノ他ノ經費  
トカ或ハ問屋商及ビ小賣商ノ手数料トシテ  
約五十錢程度ノモノヲ取ツテ、サウシテ生  
産者ニ行クト云フ形ニナツテ居ルノデアリ

マス、色々ノ關係デ先程申上ゲマシタヤウ  
ニ、配給シテ居ルモノハ現在ニ於テハ最高  
五圓七八十錢ノ所デ賣ツテ居ルト考ヘテ居  
リマス、是ハ内地黠ヨリ幾分安イ形ニナツ  
テ居リマス

○河野委員 私ノ地方デハ其ノ輸入黠ガ六  
圓十五錢カラ二十五錢位デ取引サレテ居  
ル、一體今ノ御話デモ中間口錢ノ五十錢ト  
云フコトガ妥當ナ口錢デセウカ、其ノ飼料  
配給會社ハ上海、大連、天津、青島、是等  
ノ方面デ買付ケタ、二万何千兩ノ買付値段  
ノ總額ハ一體幾ラデアルカ、是ガ百斤當リ  
一體幾ラニナルノデスカ

○岸政府委員 御手許ニ本日配付致シマシ  
タ資料ノ中ニゴザイマス輸入配給數量ト云  
フノハ、二万八千九百五十九兩、輸入配給  
ノ價格ガ二百五十七万六千六百二十二圓、  
斯ウ云フコトニナツテ居リマス、此ノ間ニ  
於テ色々ノ經費ヲ見マシテ、一寸此ノ總額  
ハ計算ヲシテ見ナイト分リマセヌガ二百十  
万圓カ二十一萬圓ノ程度ダラウト思ヒマ  
ス、其ノ他ハ平衡資金トシテ積ミマシテ、  
一部ハ滿洲國ニヤルト云フコトニナツテ居  
リマス、計算ハアトデ申上ゲマス

○河野委員 今ノ御話デハ相場ハ後カラ話  
スト云フコトデアリマスガ、黠ガ高イカラ

外國カラ入レルノデスカ、今ノ畜産家ニ取  
ツテハ非常ニ輸入シテ居ル黠ガ高イ、而モ  
軍馬方面ニ非常ニ黠ガ使用サレマスノデ、  
農家ト致シマシテハ非常ニ是等ニ付テ困ツ  
テ居ル、其ノ事ガ豆粕方面ノ需要ニマデ及  
ンデ居ル、其ノ豆粕モ非常ニ高クナツテ居  
ルト云フノデ、アチラコチラ八方塞ガリノ  
状態ニアリマス、一體今ノ價格平衡資金デ  
抑ヘテ行クト云フコトハドウ云フ譯デアリ  
マスカ、黠ガ安過ギルカラ價格平衡資金ヲ  
取ツタノデスカ、一體内地ノ農家ガ高クテ  
困ル、モツト下ゲテ貰ハナケレバ困ルト言  
ツテ居リマス、然ルニ折角安イ滿支方面ノ  
黠ニ對シテソレニ幾ラ御掛ケニナツテ居ル  
ノデアルカ、今御發表ニナルデアリマセウ  
ガ、私ノ計算デハ相當高イ金額ニナル、一  
體平衡資金トハドウ云フ性質ノモノカ、内  
地ノ畜産家ニ致シマスレバ、今日成べく乳  
ノ生産費ヲ下ゲテ、サウシテ酪農製品ノ輸  
出ヲ圖ラナケレバナラナイト云フ際ニ、飼  
料ハ幾ラデモ安イ方が宜イト云フ際ニ、飼  
料ニ對シテサウ云フ風ナ金ヲ課ケラレルト  
云フコトハ、ドウシテモ吾々ハ受取レナイ、  
統制シテ飼料配給會社ニ輸入サセテラドウ  
カ、此ノ値段デ内地デ安イナラバ、産業組合  
等ノ營利ヲ目的ニシナイ團體ニ全部分ケテ

シマツタラ宜イ、サウシタラ内地ハ黠ノ市  
價ノ暴落ニナルダラウト思フ、然ルニ平衡  
資金トハドウ云フ意味ノモノカ私ハ知ラナイ  
ケレドモ、一方配給會社デ之ニ對シテ黠カ  
ラ平衡資金ヲ取ル、而モ其ノ取ツタ資金デ  
内地デ高イ黠ヲ安ク買ツテ配給會社ガ分ケ  
テヤル平衡資金ナラバ一應受取レルガ、平  
衡資金ハヨモヤソシナモノデハアルマイ、  
所ガ私ハ飼料配給會社ガ内地ノ黠ヲ買上ゲ  
ラレタト云フコトヲ聞カナイ、而モ飼料配  
給會社ガ賣リ出ス場合ノ中間商人ノ利得ト  
云フモノハ、他ノ一般ノ中間商人ノ利得ニ  
比ベテ、果シテ妥當デアリマスカ、公正デ  
アリマスカ、其ノ點ハ如何ナル基準ニ依ツ  
テ其ノ値段ヲ算出ナサツタノデスカ、其ノ  
算出ノ基礎等ニ付テ、御説明願ヒタイと思  
フ

○岸政府委員 飼料ノ取扱ヲシテ居ル中ニ  
於キマシテ、先日來色々御批判ヲ蒙ツタヤ  
ウニ、各地ノ飼料ニソレノ季節的ニ依存  
シテ行クト云フコトハ、ドウシテモ其ノ相  
場ガ亂調子ニナルト云フコトハ已ムヲ得ナ  
イノデアリマス、私共トシテハ折角斯ウ云  
フ配給會社ガ出來テ居ルナラバ、平均化シ  
テ、サウシテ消費者ハ安ンジテ其ノ供給ヲ  
受ケテ行クト云フ風ニシタイ、ソレハ生

シマツタラ宜イ、サウシタラ内地ハ黠ノ市  
價ノ暴落ニナルダラウト思フ、然ルニ平衡  
資金トハドウ云フ意味ノモノカ私ハ知ラナイ  
ケレドモ、一方配給會社デ之ニ對シテ黠カ  
ラ平衡資金ヲ取ル、而モ其ノ取ツタ資金デ  
内地デ高イ黠ヲ安ク買ツテ配給會社ガ分ケ  
テヤル平衡資金ナラバ一應受取レルガ、平  
衡資金ハヨモヤソシナモノデハアルマイ、  
所ガ私ハ飼料配給會社ガ内地ノ黠ヲ買上ゲ  
ラレタト云フコトヲ聞カナイ、而モ飼料配  
給會社ガ賣リ出ス場合ノ中間商人ノ利得ト  
云フモノハ、他ノ一般ノ中間商人ノ利得ニ  
比ベテ、果シテ妥當デアリマスカ、公正デ  
アリマスカ、其ノ點ハ如何ナル基準ニ依ツ  
テ其ノ値段ヲ算出ナサツタノデスカ、其ノ  
算出ノ基礎等ニ付テ、御説明願ヒタイと思  
フ

産ノ出廻期ニ於テ値ノ安イ時、或ハ爲替關  
係ニ於テ値ヲ安ク得ラレタト云フヤウナ時  
ニ、ソレガ其ノ儘配給過程ニ入リマスルナ  
ラバ、一方ニ其ノ利得ガ搾取サレテシマフ  
ト云フ状態ヲ現出セズシテ、其ノ或ル差額  
ヲ積立ツテ置キマシテ、サウシテ高イ時ニ、  
即チ端境期ニ於ケル状態、或ハ數量上已ム  
ヲ得ズ高クテモ買ハナケレバナラヌト云フ  
時ニ之ヲ埋合セテ行キタイト云フ時ニ、平  
均値ヲ出スヤウニシタイ、斯ウ云フ考デ平  
衡資金ヲ積立ツテ居ルノデアリマス、越ニ  
付キマシテモ今ノ河野サンノ御話ノヤウナ  
御考ヘ方モ御尤デアルト思フ、私共モ此ノ際  
サウ云フヤウナ方法ヲ執ルノモ一ツデハナ  
イカト云フ風ニ考ヘテ居ツタノデアリマス  
ガ、此ノ點配給會社ニ於テモ各方面ト色々  
研究サレテ、サウシテ其ノ結論ニ於テ、現  
在ハ幸ニ各方面ノ助力ヲ得マシテ今マデ滯  
貨シテ居リマシタ所ノ中支物及ビ北支物ガ  
格安ニ得ラレタノデアリマスカラ、此ノ滯  
貨一掃ト共ニ、必ズ價格ハ元ニ戻ツテ來ル、  
ノミナラズ外ニ假需要モ起キテ來ルガラウ  
ト思ハレル筋モアルノデアリマスカラ、サ  
ウ云フヤウナ點カラ見マシテ之ヲ全部一度  
ニ放出シテシマツテ、一時値ヲ崩シテシマ  
フコトガ出來タトシテモ、果シテソレガ持

續スルコトガ出來ルカドウカ、若シソレガ  
出來ナイトスルナラバ、是ハ後ニ於テ非常  
ナル値上リヲ見ルト云ツタヤウナコトモ考  
ヘラレナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ナ考デ  
之ヲ先ヅ此ノ位ナ程度デアルナラバ十分ニ  
數量ヲ供給シ、幾分ナリトモ市價ノ牽制  
ヲヤツテ、サウシテ將來ニ於テモ同ジヤウ  
ナ程度ニ於テ配給ガ出來テ行クノデハナイ  
カ、斯ウ云フヤウナ兼合カラアノ値段ヲ決  
メテ參ツタノデアリマス、隨ヒマシテ私モ  
ソレヲ大體妥當ト認メタ譯デアリマス、大  
體ニ於テ越供給ニ付キマシテハ、中々是カラ  
先モ努力ガ要ルガラウト思ツテ居ルノデア  
リマス、ノミナラズ先程御話申シマシタヤ  
ウニ、コチヲノ購買ニ依ツテ相當ノ滯貨ガ  
全部一掃サレルト同時ニ、他ノ方面カラモ  
購入スル者ガ出テ來ルト云フ状態デアリマ  
スカラ、將來ノ相場ニ付テモ相當努力ヲシ  
ナケレバナラヌト云フコトハ考ヘテ居リマ  
ス、大體御答申上ゲマス

○河野委員 今ノ御説明デ私ハ満足致シマ  
セヌ、ソレハ一體外地ノ越ガ内地ノ越ヨリ  
モ高イ場合モアルノデスカ、過去ノ經驗ニ  
於テ飼料配給會社ガ輸入セントスル飼料ノ  
越ノ方ガ内地ノ越ヨリモ高イ場合ガアリマ  
スカ

○岸政府委員 從來ノ値段ハ御配付シマシ  
タ資料ニ依ツテ御承知ノヤウニ、外地ニ在  
リマシテハ安イ値段ヲ示シテ居リマス、勿  
論内地ノ今ノ値段ヨリモ原産地ニ於テソレ  
ヲ飛越エルト云フヤウナコトハドウカト思  
ヒマスルガ、相當ノ値上リヲ見ル場合モ生  
ジテ來ルガラウト思ツテ居リマス、ソレハ  
從來大量ノ購入ガ行ハレマスト、玉蜀黍等  
ニ於テモ一躍原地ノ値ガ飛上ルト云フ例ガ  
多々アルノデアリマス、サウ云フ點ハナイ  
ト云フコトハ言ヘナイト思ヒマス、併シ概  
シテ言ヒマスレバ現在ノ内地ノ越ヨリ安イ  
ト云フコトハ明カデアリマス

○河野委員 畜産局長ノ御考ヘ直シヲ願ハ  
ナケレバナラヌコトハ、一體價格平衡資金  
ト云フモノハ、其ノ價格ヲ指導スルコトニ  
依ツテ、内地ノ越ノ價格ガ左右サレル場合  
ニ、又内地ノ越ノ價格ノ決定ノ責任ヲ持ツ場  
合ニ、價格平衡資金ヲ持ツテ行ク、之ニ依  
ツテ暴騰暴落ヲ防グ爲ニ出動スルト云フ場  
合ニ於テノミ、價格平衡資金ヲ持ツ責任モ  
アリ、其ノ必要モアル、如何飼料配給會社  
ガ今御話ノヤウニ滿洲支那ノ越ヲ持ツテ來  
ルト致シマシテモ、内地ノ越ノ過去ノ經驗  
カラ行キマシテ、之ヲ中々左右スルコトハ  
出來ヌ、又飼料配給會社ガソコマデヤリ得

ルコトハ殆ド不可能デアルト思フ、而モ今  
御尋スルヤウニ、内地ノ越ヨリモ外地ノ越  
ノ方ガ安イ、シテ見レバ如何ナル點カラ考  
ヘマシテモ、價格平衡資金ト云フモノハ一  
體ドウ云フ意味合デ取ツテ御置ニナルノカ  
分ラナイ、併シ越カラ得タ資金ヲ他ノ物ニ  
使ハレルナラバ別デスガ越ノ爲メノ平衡資  
金ハ越ニノミ私ハ使フベキモノデアルト思  
フ、然ルニ越カラ得タ價格平衡資金ヲ他ノ  
物ニ使フナラバ、是ハ相互計算デ、何モ少  
シモ價格平衡資金デハナイ、同ジ營利會社  
ガ一ツノ所デ儲ケテ、一ツノ所デ損ヲシテ  
モ賣ルト云フダケノコトデアツテ、是ハ所  
謂當局ノ言フ公正ナル價格平衡資金デハナ  
イト思フ、又是ハ酪農家ト致シマシテハ絶  
對ニ今ノ押詰メラレタ事情ニ在ツテハ困ル  
ト思フ、鶏ノ餌ガ高ケレバ、政府ハ何等カノ  
方法ニ依ツテ鶏ノ餌ノ安クナルヤウニ善處  
シテ貰ヒタイ、ソレヲ牛ノ餌カラ鶏ノ餌ニ  
埋合セヌルヤウナコトガ少シデモアルナ  
ラバ、斷ジテ有畜農家トシテハ承服出來ナ  
イ點デアル、此ノ點ハ考ヘ方ヲ違ハヌヤウ  
ニシテ戴カナケレバナラヌ、若シモ飼料配  
給會社ガ間違ツテサウ云フコトヲ致シテ居  
リマスナラバ、ソレハ斷ジテ吾々ノ意思ト  
ハ違フ、何處マデモ越ガ安イ、而モ亦牛乳

ノ引合ヒガ良過ギル、一方難ノ方ガ惡過ギルト云フヤウナ、誰ガ見テモサウ云フヤウナ場合デアアルナラバ兎モ角ト致シマシテ、今日ノ内地ノ變ハ異常ナル暴騰デアリマス、其ノ暴騰ニ調子ヲ合セルヤウニ、外國ノ安イモノヲ持ツテ來テ、其ノ間デ中間搾取カ價格平衡資金カ知ラヌガ、名前ハ何デモ宜シイ、要スルニ頭ヲハネタコトハ事實デアリマス、其ノ頭ヲハネタモノデ外ノ仕事ヲスルト云フヤウナコトガ萬一アレバ、思ハザルモ甚シイ、斷ジテ吾々ハ承服シ得ザルモノデアリマス、而モ只今御示シノヤウナ

間屋小賣ノ口錢ニ至ツテハ、是ハ商工省方面ニモ十分御尋シテ見ル積リデアリマスルガ、問屋ニソシナ口錢ヲ出シテ居ル統制價格ガアルカ、統制賣買ニ於テ問屋ノ口錢ガ、一割モソレ以上ニモ付クヤウナモノガアルカドウカ、大凡農村ニ配給セラレル必需品ニ於テ、コンナニ問屋小賣ノ口錢ヲ取ルモノガアルカドウカ、是ハ當局ニ於テ十分御檢討ヲ願ヒマシテ、御考直シヲ願ハナケレバ、吾々承服スル譯ニ參リマセヌ、サウ云フ風ナ事ガアルカラ、業者カラ斷ジテ吾々ハ排撃シナケレバナラスト云フヤウナ聲ガ起ルコトヲ認メナケレバナラスト、産業組合ニ最モ薄イ口錢デヤラセレバ宜シイト思フ、

念ノ爲ニ承ツテ置キマスケレドモ、配給會社ガ全購聯ニ配給致シマス値段、乃至單位組合ガ農家ニ配給致シマス値段ノ値開キハ、一體幾ラニナツテ居リマスカ、御知セヲ願ヒマス

○岸政府委員

色々御説ヲ御示シ願ヒマシタガ、麴ノ手数料ニ付キマシテハ、勿論是ガ最上デアルト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマス、從來ノ仕來リヲ色々飼料會社ニ依ツテ檢討ヲシテ、成ベク勉強ノ出來ル所デ決メタモノヲ、一應認メテ居ルノデアリマス、之ニ付テハ十分檢討致シマシテ、御話ノヤウニ成ルベク安價ニ今後モ行クヤウニヤリタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

ソレカラ全購聯其ノ他ノ配給ガドウナツテ居ルカト云フコトデアリマスカ、會社カラヤリマスカ所ノ受渡値段ニ付テハ勿論同一デアリマシテ、ソレニ代ツテ配給サレル所ノモノニ付テハ、此ノ業者ニ認メテ居ルノヨリモ十錢位低イ程度ダラウト思ツテ居リマス

○河野委員

十分檢討シテ御決メニナツタト仰シヤイマスケレドモ、一體常識デモ分ルト思フ、ナゼナラバ國策會社ソシナモノヲ一體認メテ居ルノガアルカドウカ、一

例ヲ硫安ニ取ツクラドウデアリマスカ、硫安ト麴ト云フモノハ先ヅ二俵ト一俵カ、極端ニ言ツテ三俵ト一俵ト見マシテモ大凡分ツテ居ル、硫安二俵ト麴一俵ト見テモ、其ノ中間口錢ヲ計算スレバ直グ出テ來ル、過

磷酸ニシテモ今度認メタ過磷酸ノ中間口錢ノ手数料ハ幾ラニ見テ居ルカ、大凡國策會社デ統制シテヤル場合ニハ程度ガアル、而モ一人ノ業者ガ非常ニ多クノモノヲ扱フト云フ場合ニハ、最モ薄口錢デ宜シイ、又産業組合ニ於テモサウダラウト思フ、次ノ機會マデニ明確ニ御調査下サイマシテ、買付値段、飼料配給會社ノ賣渡値段、之ヲ業者ガ、組合デ幾ラ口錢取ツテ、問屋ガ口錢ヲ幾ラ取ツテ、小賣商ガ幾ラ口錢ヲ取ツテ、ソレトノ引渡値段ガドウ位ニナツテ居ルカ、産業組合ニ於テハ一體ドウ云フコトニナツテ居ルカト云フコトノ詳細ヲ、一ツ資料トシテ御提出ヲ願ヒタイ、吾々ガ地方ニ於テ、神奈川縣下ナドニ於テ買フ場合ニハ、滿洲麴、支那麴、上海麴ガ、今六圓二十五錢カラ六圓三十錢シテ居リマス、餘リニモ開キガ多過ギル、尙ホ色々申上ゲタイコトガアルノデアリマスケレドモ、大分時間モ頂戴致シマシタ、他ノ委員諸君ニモ非常ニ御迷惑ヲ掛ケマシタノデ、他ノ委員諸君ノ

質問ノ終リマシタ後デ、改メテ質問ヲサシテ載クコトニ致シマシテ、之ヲ以テ暫ク中止ヲ致シマスケレドモ、之ヲ要スルニ、私ハ數時間ヲ費シテ質問致シマシタ結果ト致シマシテ、本法ハドウシテモ製酪業組合ノ設立並ニ是ガ運営ニ急デアツテ、農民大衆ノ方面ニ薄イ、而モ其ノ考ヘ方ガ、北海道ノヤウナ非常ニ進歩シタ酪農取引行政ト云フモノガ基準ニナツテ居ツテ、是カラ新ニ

起ラントスル地方ノ指導開發ニ付テ、此ノ法律ハ果シテ妥當ナリヤ否ヤト云フコトニ付テ非常ナ疑問ヲ持ツ、尙ホ本法施行後ニ於テ農家ト業者トノ間ニ起ル所ノ紛爭、紛糾ニ付テ、地方長官ニ其ノ捌キヲ一任シテアル點ノ如キハ、最モ缺點デアルト思フ、是等ハ大凡此處ニ重點ガアリマス以上ハ、法ニ依ツテ委員會ヲ結成シ、其ノ委員會ノ決定ニ依ツテ地方長官之ヲ決スト云フコトニナツテ居ルガ、行政官廳之ヲ命令スト云フコトニナツテ然ルベキデアル、所ガソレ等ノ規定ガ何等入ツテ居ラス、而モ全國的ニ之ヲ指導誘掖スル點等ニ至ツテ全く吾々ノ想像ト違フ點ガアルト云フコトヲ、甚ダ遺憾ニ考ヘマスカ、是等ニ付テハ適當ノ機會ニ、農林大臣ニ十分所見ヲ質シテ見タイト思ヒマス、本日ハ此ノ程度デ質問

ヲ止メマス、甚ダ失禮致シマシタ

○野溝委員 當局ニ一寸御願シテ置キタイノデスガ、昨年ノ牛乳ノ變敗高、數量ノ資料ヲ御出シ願ヒマス

○松尾委員 私モ一寸資料ヲ御願シタイノ

デスガ、先達河野君カラノ乳牛ニ關スル資料ヲ御要求ニナリマシタガ、ソレト同ジヤウナ意味デ、食牛ニ關スル御調査ヲ御願シタイ、ソレカラ全國ガ分ラナケレバ、東京府管内ダケデ宜シイノデスガ、食牛トシテ潰ス牛ノ中デ、乳牛ヲドノ位潰シテ居ルカト云フ數字ヲ、參考ニ出シテ戴キタイト思ヒマス

○田中委員長 是ニテ休憩致シマス、午後二時カラ開會致シマス

午後零時五十分休憩

午後二時三十分開議

○田中委員長 午前ニ引續イテ開會致シマス——坂下君

○坂下委員 私ハ大臣ニ對シテ農村ニ對スル認識ヲ伺ツタ後ニ、本法案ノ質疑ニ入ル豫定デアリマシタガ、大臣ニ對スル質問ハ後廻シニ致シマシテ、本法案ニ對スル簡單ナ質疑ヲ致シタイト存ジマス、同僚ノ質問ニ依ツテ、殘サレタ質問事項ハ極メテ狭イ範圍ニナリマシタノデ、私ハ變ツタ方面デ當局ノ

御意見ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

ガ、此ノ酪農業調整法案ヲ見マス、其ノ趣旨目的ハ至極結構ナコトダト思ヒマス、製酪業者ノ不當ナ競争、或ハ製酪業者ト酪農業者トノ利害ノ相剋ト云フヤウナ方面ヲ調整スルコトニ依ツテ、斯業ノ圓滿ナル發展ヲ遂ゲタイ、斯ウ云フノデアリマスカラ、其ノ目的トスル所ニ何等異議ヲ挾ムベキ餘地ハナイノデアリマスガ、併シ斯ウシタ調整法トカ統制法トカ云フモノガ、趣旨目的ハ立派デアツデモ、效果のデアツデモ、實際ニ行ツテ見テ、ドウモ效果ノ擧ラナイ結果ニ陷ツタ例ガ幾ラモアル、最前河野君カラ御話ニナリマシタヤウニ、昨年出來マシタ飼料會社ノ問題ニ致シマシテモ、アノ當時當局ノ御説明ニナツタ趣旨目的の方法等ハ結構ダト思ヒマスケレドモ、實際ニ會社ガ出來テ今日飼料ノ配給ヲヤツテ居リマスル業績ヲ見マスルト、大分其ノ當時ノ考ヘ方ト私共ハ考ヘ方ヲ違ヘナクチャナラヌヤウナ現状デアアルコトヲ甚ダ遺憾トスル、國策會社ト言ハレル飼料會社ガ出來マシテ、養雞業者ハ飼料ノ圓滿ナル配給ヲ受ケラレナイ、飼料ハ非常ニ高クテ到底採算ガ採レナイト云フヤウナコトデ、養雞業者ハ現在悲鳴ヲ擧ゲテ居ル、ドウ云フ點ニ養雞業者ノ

共鳴出來ナイ所ガアルカト申シマス、最

前河野君ノ言ハレタヤウニ、ドウモ國策會社デアアル飼料會社カラ業者ニ配給スルノニモ利鎖ガ大キ過ギル、儲ケ過ギルト云フ非難ガアリ、又配給會社カラ配給ヲ受ケタ商人、産業組合是等モ意外ニ儲ケ過ギル、結局泣カサレル者ハ養雞業者ダケダ、生産家ダケダ、斯ウ云フコトノ非難デアリマス、此ノ點ニ付テハ最前モ河野君カラ縱カラモ横カラモ質疑ガアリマシタノデ省略致シマスガ、要スルニ低廉ニシテ豊富ナル飼料ノ配給ヲシテ貰フ意味デ國策會社ガ出來タニ拘ラズ、ソレト正反對ニ國策會社ガ儲ケル、國策會社ノ株主デアアル所ノ配給商人ガ不當ナ儲ケヲスル、ソレ等ニ做ツテ産業組合モヤハリ大キイ儲ケヲヤリ過ギル、泣カサレル者ハ生産業者ダ、養雞業者ダケダ、斯ウ云フ結論ニ現在ハナツテ居ルカラ非難ガ多いノデアリマス、此ノ法案ガ實施サレル時ニモサウ云フ非難ヲ受ケルヤウナコトニナリハシナイカト云フコトヲ私共ハ結局ハ心配スル者デアリマス、極端ニ言ハバ製酪業者ヲ保護スル爲ノ法律デハナイカトマデ私ハ考ヘル、製酪業者ハ一ツノ地方大名トナツテ酪農業者ハソレニ附屬スル臣ノヤウナモノデアアル、一地方ヲ限ツテ一ツノ製酪業者ガ出

來テソレニ付屬スル酪農業者ガ出來ル、サ

ウシテ他ヘハ賣ルコトガ出來ナイ、又他ノ製酪業者ヲソコヘ持ツテ來ル譯ニモ行カナイト云フコトガ大體法ノ建前デアルト思フ、サウシテ製酪業者ノ側カラモ代表者ガ出、酪農業者ノ方カラモ委員ガ出テ、ソレニ第三者デアアル官廳ノ技術者若クハ他ノ方ガ入ツテ、三者カラ成立ツテ委員會ニ依ツテ公正ナル値段ヲ決メテ取引ヲサセルト云フコトデアアルカラ、建前トシテハ立派ナヤウニ見エマスガ、ソコニ一ツノ疑ヲ私共ハ持つ、ソレハドウ云フコトデアアルカト申シマス、大體製酪業者ト云フ方面ハ資本家デアリ商賣人デアアル、酪農業者ノ方ハ利ニ疎イ農民デアアル、ソレカラ第三者デアアル官廳カラ入リマス委員ハ、ソレハ公平デアアルベキデアリマスガ、公平ダト申シマシテモ、製酪業ト云フ業務ニ通ジ、又酪農ト云フ方面ニモ十分精通シテ居リマシテ、奥ノ底マデ計算ガ出來、算盤ガ持テルノデナケレバ、自ラ公平ダト考ヘテモ、其ノ言フコト、決濟スルコトガ、必ズシモ公平ダトハ言ヘヌト思フ、サウ云フ意味合ニ於テ結局ハ資本家デアアル製酪業者ノ爲ニ、生産者デアアル酪農業者ハ犠牲ニサレル、結局製酪業者即チ資本家ハ、地方ヲ限ツタ一ツノ大名トナツテ、サウシテ

酪農業者ヲ搾取スルト云フヤウナ結果ニナルヤウニ私共思フノデスガ、此ノ點ヲ當局ニ能ク御説明ガ願ヒタイト思ヒマス、果シテ公正ナル値段ガ出シ得ルカドウカ、結局酪農業者ガ搾取サレルヤウニナル疑ハナイカト云フコトヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

○岸政府委員 坂下サンノ御質問ノ點ハ、統制ヲサレタ爲ニ、生産者ガ乳價ノ決定其ノ他ニ付テ、製酪業者ノ爲ニ犠牲ニナル憂ハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、私共ハサウ云フコトガナク、長ク酪農事業ガ繁榮シテ行クコトヲ願ツテ居リマスルガ故ニ、斯ウ云フ風ナ統制ヲヤルノデアリマシテ、乳價ノ決定ノ方法ニ付キマシテハ、先程御話ヲ申上ゲマシタヤウナ方法デアリマスルガ、其ノ決定ニ當リマシテハ、若シ從來ノヤウナ生産者ノ方ニ何等ノ強イ團結ガナク、放置サレテ居ツタスルナラバ、是ハ殆ド一方的ニ製造業者ノ爲ニ追ハレテシマフト云フコトガアリ得ルカモ知レマセヌ、又サウ云フ場合デアレバ、假令委員會ヲ作ツテモ、中々難カシイト思フノデアリマシタ、一方ニ於キマシテ生産業者ノ組織ヲ鞏固ニシテ、其ノ事業ガ繁榮出來ルヤウナ方法ヲ執ツテ行クノデアリマス、又一方ニ於

テ生産費ノ調査等ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ嚴密ニヤツテ行ク方法ヲ執ラウトシテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ點ハ從來ヨリモ保護サレタ形ニ於テ、乳價ノ決定ガ出來ルノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、懸念ヲ致シマスレバ幾ラモ懸念ガ生マレテ參リマスガ、私共ハ以上ノヤウナ方法ニ依ツテ、公正妥當ニ行クノデハナイカト思ツテ居リマス

ソレカラ是ハ關係シテ御話ノアリマシタ飼料會社ノ問題ニ付キマシテハ、只今仰セラルルヤウナ見解ガアルト思ツテ居ルノデアリマスルガ、是ハ何分ニモ輸入スル所ノ飼料ノ原價ノ關係ガアツテ、色々苦慮シテ居ルノデアリマス、會社ノ業者ニ對スル配給ノ手数料ノ如キハ、之ヲ一分ニ限定シテ居リマシテ、是ハ嚴重ニ守ラセル、會社ノ株主ニ對スル配當ハ六分ニ限定シテ居リマス、隨ヒマシテサウ云フ方面ニ飼料會社ガ儲ケテヤツテ行クト云フコトハ、アリ得ナイ譯デアリマス、若シヤルトスレバ經營經費テ付テヨリ節約ラシテ、ソレガ生産者ニ還元サレルヤウニスル、即チ飼料ノ値ヲ安クスルト云フ風ニシナケレバナラヌト思ツテ居リマス、サウ云フ風ナ意味ニ於キマシテ、私共ノ方モ會社ノ運營ニ付キマシテハ、常

ニ會計ノ監督ヲシテ居リマスノデ、間違ナク行ツテ居ルト思フノデアリマス、會社カラ配給サレテ保稅工場業者カラ——是ハ產組ヲ含ミマスガ、生産者ニ配給サレル過程ニ付キマシテハ、尙ホ研究スル餘地ガアルト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ、過般來業者ノオ方ニ對シ、飼料配給會社等カラモ話ヲシ、又吾々ノ方カラモ寄り／＼意見ヲ申上ゲマシテ、成ベク其ノ間ニ於テ手数料ヲ少クシテ配給スルヤウニ、特ニ最近要求サレテ居リマス所ノ混合飼料ニ付キマシテハ、大體加工費ヲ加ヘタ程度ノモノデ配給サスルヤウニト云フコトヲ、向フデ申合セラシテ居リマスシ、私ノ方デモサウ云フ風ニヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ希望シテ居リマス、漸次其ノ點モ改善サレテ行クト思フノデアリマス、是ハドウシテモ根本ニ於キマシテハ產地ノ價格ノ安クナルト云フコトニ付テ、十分ノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマス

○坂下委員 飼料ノ問題ニ付キマシテハ、精々御努力ヲ願フト云フコトニ致シテ置キマシテ、其ノ次ノコトニ付テ御尋シタイノデアリマス、只今ノ御答辯ノ中ニ、懸念スレバキリモナシ、疑ヘバ際限モナイト云フヤウナ意味ノ御言葉ガアツタヤウデアリマ

スガ、私ハ過去ニ於ケルソレ／＼ノ、斯ウシタヤウナ類似シタモノニ付テ考ヘテ見マスルト、ドウシテモ疑ハザルヲ得ナイ、懸念セザルヲ得ナイ事ヲ見セツケラレテ居ル又商賣人ト云フカ、資本家ト申シマスカ、ドウモ其ノ方面ノ人達バ、利益ニ掛ケテハ非常ニ惻巧デス、逆モ農民ナドノ比較デナイ、デアリマスカラ私ハ酪農業者ノ代表者ト製酪業者ノ代表者ト太刀打ちヲサシテ見タ所ガ、是ハ到底太刀打ちノ出來ルモノデナイト思フノデアリマス、元來農民ハ働イテモ働イテモ赤字ガ出テモ格別不平モ言ハナイヤウナ、極ク醇朴ナ生活ヲシ、サウ云フコトデアリ來ツテ居ル慣習ガ付イテ居ル、一方商人トカ工業者トカ云フ方面ノ人達ハ損ヲシテ或ハ元値デ賣ルト云フヤウナコトヲ言ツテ居テ、損ヲシタリ元値デ賣ツタリシテ商賣ガ成立ツ譯ガナクテモ、其ノ間ニ貯蓄モ出來レバ倉モ立ツ、ソレダケ私ハ農民ト商賣人トデハ利益ニカケテノ頭ガ違フト思フ、片一方ハ儲カルトカ儲カラストカ言ハナイデ居ツテ借金ヲ拵ヘル、知ラス中ニ借金ガ出來テ、ソコヘ病人ノ一人モ出來レバ祖先傳來ノ田地ヲ賣ル、サウシテ小作ニ墮落スル、斯ウ云フ生活ヲシテ居ル百姓ト、元値デ賣ツテモ、損ヲシテ賣ツテモ損

ガ建ツ商人ト、對等ニ代表者ヲ立テテ公正ナ値段ヲ出サウトシテモ、是ハ到底出來ルベキ問題デハナイト思フ、必ズ農民ガコミヤラレテ、結局最後ハ搾取サレト云フ形ニナルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カダト私ハ思フ、最前河野君トノ質問應答ノ中ニ、生産費ト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、生産費ノ計算モ中々難カシイ、複雑デアリマセウガ、専門ノ方ガ慎重ニ御調査ヲナサレバ生産費ハ分ツテ來マセウ、併シ生産費ガ分ツテ、ソコデ生産費ニ依ツテ乳價ヲ決メルト云フコトニナツテハ、是ハ間違ヒダト思フ、生産費ガ一方デ決ツテ、一方デ製品ノ市價ガ分ツテ、ソレカラ製品ニスルマデノ費用ガ詳細ニ計算出來テ、市價ヨリ加工費ヲ引イタモノ、サウシテ一方生産費ガ分ツタナラバ、其ノ残ツタモノカラ生産費ヲ引クト、ソコニ加工業者ト生産家トノドチラカニ附屬スベキ剩餘ガ出來ル、之ヲドウ處分スルカト云フコトガ、所謂公正ナ値段ダト思フ信念ノ爲ニモウ一遍申上ゲマスト、製造シタ物ノ市價ガ——金額ニ例ヲ引イテ見マスト十圓ニ賣レル、其ノ十圓ノ品物ヲ拵ヘルマデニ加工費ガ三圓掛ツテ居ル、サウスルト残りガ七圓デアリマス、一方酪農業者ノ方ノ生産費ガ其ノ中ニ四圓アルトス

ルト、其ノ中間ニ差額ガ三圓出ル、此ノ三圓ヲ幾ラツツ生産家ト加工業者ト分ケルカト云フコトヲ決メテ、ソコガ公正ナ値段ノ決マル所ダト私ハ思フノデス、製造業者ノ方モ加工費ヲ計算シテ見タ所ガ、加工費ダケデ満足スル者ハ一人モナカラウト思フ、農家ニシテモ生産費ヲ計算シテ見テ、生産費ダケアレバ宜シイノダト云ツテ、牛乳ヲ製造業者ノ方ニ甘シジテ賣ル人ハナカラウト思フ、其ノ中間ニ幾ツタ利益ヲドンナ程度デ加工業者ト生産業者トニ分配スルカト云フ所ニ難點ガアルト思フ、此ノ分配ノ仕方ガ公正ニ行ケバ、初メテ公正ナ値段ガ決マルノダ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ決メ方ガ一番公正ナ値段ダト思フ、ケレドモソコニ難カシイ所ガアツテ、生産費ノ方ハ複雑ダト云ヘバ複雑デアルガ、單純ダト云ヘバ單純デス、牛ヲ一匹買ツテ、ソレニ餌ヲドレダケ呉レテ、費用ガ幾ラ掛ル、サウシテ勢力ガ幾ラ掛ル、ソレカラ牛ノ價值ガ殖エテ行クカ、減ツテ行クカ、サウ云フ計算、ソレカラ既合ノ價却ト云フヤウナ極ク單純ナモノデアリマスカラ、細カイトコトヲ言ヘバ複雑ダトモ言ヒ得ルガ、簡單ニスレバ極ク簡單ニ計算ガ出來ルノデアリマス、ケレドモ加工費ヲ計算

スルト云フ點ニナリマスト、ソレハ相當複雑ナモノガアルト思フ、又最前カラ申上ゲテ居ルヤウニ、損ヲシテ居ルト言ツテ居ル間ニ藏ガ建ツヤウナ商賣人ガヤツテ居ルノデアルカラ、ドウシテモ本當ノコトヲ言ハスト思フ、前ニ肥料ノ製造業者ノ統制法ヲ施行シマシテ、其ノ後其ノ生産費ニ付テ色色調ベタコトガアリマスガ、一年經ツテモ二年經ツテモ、硫安ノ製造會社ノ檢閲者ガ工場ヲ見タリ帳簿ヲ調ベテ色々ヤルケレドモ、硫安ノ生産費ガ幾ラ掛ルカト云フコトハハツキリ分ラナイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレマシタガ、此ノ製酪業者ノ方モ結論ハヤハリサウデハナイカト思フ、今度ノ法案ニモ帳簿ヲ見セロト言ヘバ帳簿ヲ見セナケレバナラナイ、工場モ臨檢出來ルト云フコトハ規定シテアリマスガ、果シテ帳簿ヲ見タリ工場ヲ臨檢シタダケデ正確ニ生産費ガ幾ラ掛ルト云フコトガ分ルカドウカ、私ハ非常ニ問題ダト思フ、殊ニ農林當局ガソレヲ御調ナルコトデアルト思ヒマスガ、委員會ナドデ公正ナル値段ヲ決メル時ニハ、酪農家ノ生産費ヲ御調ニナツテ此ノ位掛ルト云フコトヲ決メル、ソレカラ加工費ノ調査モ農林當局ガナサルニ決ツテ居ルガ、其ノ農林當局ノ調デ、果シテ正確ナル加工費ヲ見出

シ得ルカドウカ、私ハ到底信ジ得ナイノデアリマス、疑ヘバ限リハナイト申シマスガ、大體嘘ヲ吐クコトガ商賣デアル、嘘ヲ言ツテ人ヲ騙シテ金ヲ儲ケルノガ商賣人ノ營業術デアル、ダカラ農林當局ノ方ガ帳簿ヲ見ニ行ツテモ、工場ヲ臨檢シテモ、正確ナル加工費ハ恐ラク分ラヌダラウト思フ、稅務署アタリガ専門ニ税金ヲ徴ル爲ニ幾人モ立合ツテ、毎日ノヤウニ帳簿ヲ調ベタリ工場ヲ臨檢シタリシテ調べマスケレドモ中々分ラナイ、偶々分ツタ時ニハ必ズ脱稅トシテ澤山ノ税金ヲ取立テルノデアリマス、澤山ノ税金ヲ取立テ或ハ脱稅ヲ發見シヨウトシテ専門的ニ調べテモ中々旨ク行カヌ、其ノ業者ノ所ヘ農林省ノ役人ガ行ツテ工場ヲ臨檢シタリ帳簿ヲ調ベテ見テモ、私ノ恐ラク加工費ノ計算ハ公正ニ出來ヌダラウト思フ、此ノ點ガ私ノ此ノ問題ニ付憂慮ニ堪ヘナイ所デアリマス、ソレガハツキリ分ラナケレバ公正ナル値段ハ決マリマセヌ、公正ダト思ツテ決メタモノガ決シテ公正デナイ値段ニナリ、其ノ間違ツタコトガ多クハ製酪業者ノ得ニナツテ、製酪業者ノ損ニナルコトハ決ツテ居ル、一方ハ單純デアリ正直デアアル、デアアルカラ一方ノ酪農業者ノ方ノ生産費ハ餘リ違ヒナイ程度デ分ルガ、製酪業者ノ

方ノハ複雑デアツテ、唯サヘ難カシイ所ニ、成ベク利益ヲ取ルヤウニ生レ付イタ人間デスカラ、嘘ノ萬ハヲ重ネマス、斯ウ云フ譯デアラカラドウモ正確デナイ、恐ラクココデ宜カラウト思ツテモ、役人ハ正直デス、百姓モ正直デス、斯ウ云フ正直ナ人達ノ代表ガ決メテモ、利ニ敏イ人ガ儲ケルニ決ツテ居ル、ダカラ是ハ恐ラク結論トシテハ、私が初メカラ憂ヘテ居リマスヤウニ、製酪業者ガ大名ノヤウナ地位ヲ占メテ、酪農業者ハソレニ附屬スル家來トカ農民ノヤウデ、結局搾取セラレテ終ルト云フ結果ニナリハセヌカ、ソレトモ景氣ガ好クテ製品ガ高ク賣レバ、存分製酪業者ガ儲ケタオ餘リヲ頂戴シテモ、酪農業者ガ生産費以外ニ利得スルコトガ出來マスノデ、ソレナラバ酪農業者モ没落ハシマスマイケレドモ、若シモ市價ガ下ツテ製酪業者ガ算盤ガ持テヌト云フヤウナ時ニナレバ、先ヅ第一番ニ酪農業者ガ其ノ影響ヲ受ケルト云フ結果ニナルノデアリマス、好イ時ダケハ黙ツテ居ツテ、惡クナレバ直グ其ノ惡イダケヲ酪農業者ヘ其ノ犠牲ヲ轉嫁スル、斯ウ云フ結果ニナルコトヲ私ハ惧レル、ダカラ公正ノ値段ヲ出シマスニモ、斯ウ云フ計算ノ仕方デハ結論トシテ製酪業者ニ混ミヤラレル譯ニナ

ツテ、公正ノ値段ハ出テ來ナイカラ、他ノ方法ニ依ラナケレバナラスト私ハ考ヘテ居リマス、然ラバドウ云フ方法ニ依ツテ公正ナ値段ヲ出スカト申シマス、是ハ先刻モ申上ゲマシヤウニ、一方ニ加工費ヲ取り、片方ニ生産費ヲ取ツタ真中ニ殘サレタ利益ヲドウ云フ風ニ分配シテ行クカト云フコトガ結局公正ナ値段ヲ出ス問題ニナルノデアリマスガ、ソレガ加工業者、製酪業者ノ方ハ複雑デアツテ、且ツ眞面目ナコトヲ言ハナイトスレバ、正確ナ計算ガ出來ナイカラ、此ノ方法ヲ止メテ他ノ方法ニ依ルトスルト、私ハ斯ウ云フ方法ガ宜イト思フ、ソレニ對シテ當局ノ意見ヲ聽キタイガ、ドウ云フ方法ニスルカト申シマス、此ノ案ニアル如ク、製酪業者ノ代表者、ソレカラ第三者デアル縣ノ役人、酪農業者ノ代表者、此ノ三者ガ相寄ツテ委員會ヲ作ツテ、其ノ委員會デ決メルト云フ組織ニ於テハ異議ハアリマセヌガ、今一ツ酪農業者ヲ保護スル爲ニ製酪會社——マア法人ガ多イノデスカラ會社ト申シマス、個人ノモアリマスガ、個人デモ同シコトデス、製酪會社ノ中ヘ酪農業者ノ代表者ヲ取締役格ニシテ入レサセラル、資本金ハ出サナクテモ、取締役ノ待遇ヲシテ、サウシテ其ノ會社ノ内容ニ立入ラ

セル役員會、監査役會等ニ於テ意見ヲ述ベルコトガ出來、帳簿ノ検査ヲスルコトモ出來ルト云フ權利ヲ與ヘル必要ガアル、斯ウ思ヒマス、加工費ハ嘘ヲ言ツテモ何ヲヤツテモソレハ構ヒハセヌ、今ノ役員ノ待遇ヲシテ吳レルコトニナレバ、決算ノ上カラ調べテ行クカラ、サウ嘘モ萬ハモナカラウト思フ、サウ云フヤウナ所謂嘘ヲ言ハセヌト云フ一ツノ機關ヲ作ル爲ニ、酪農業者ノ代表者ヲ其ノ會社ノ取締役ノ待遇ヲシテ、役員會、監査役會等ニ立會ハセル、サウシテ會社ノ中ヲ明ルクスル、秘密ノナイヤウニスルト云フコト、是ガ先ヅ一ツ必要ガアルト思ヒマス、其ノ次ハ是ハ當局ノ御意見ヲ聽カナクテハナラヌノデスガ、今ノ時代ニ於テ營利會社ノ利益配當ハドコラガ一體適當ナモノデアるか、是ハ假リニ私共ノ考ヘ方カラ言ハセルト、七朱カ八朱ガ營利會社ノ利益配當ノ公正ナ所ダ、斯ウ考ヘルト、ソコデ相互ノ申合セニ於テ七朱トカ八朱トカ利益ノ正當ナ所ニ標準ヲ決メナケレバイカヌ、之ヲ決メナケレバ、ドウヤツテ行ツテモ公正ナ値段ト云フモノハ出ヤシマセヌ、先刻カラ申上ゲテ居ルヤウニ、今マデ當局ノ考ヘテ居ルヤウナ筆法カラ致シマシテモ、會社ナリ個人ナリ製酪業者ガ資本金ニ對シテ幾ラ

ノ利益ヲ得レバ宜イカ、ドコラノ利益ガ正當デアラカラ豫メ基準ヲ置カナケレバ公正ナ値段ハ出マセヌ、營利會社ノ方デハ一割五分利益ガ欲シイノダ、斯ナ商賣ヲシテ一割五分位ノ利益配當ガ出來ナケレバトモ仕方ガナイト主張スルトシマス、加工費ト利益配當ノ一割五分ト云フモノヲ一緒ニシテ、ソレデ幾ラニナルト云フコトヲ計算シテ見ナケレバナラス、是ガ若シ七朱ガ正當デアルトスレバズツ酪農業者ノ方ガ利益ニナツテ來ル、利益ハ七朱アレバ宜イト云フコトニスレバ大變製酪業者ノ方カラ酪農業者ノ方ヘ利益ガ廻ツテ來ル、ソレヲ會社ガ一割二分或ハ一割五分ヲ取りタイト言ヘバ、ヤハリ牛乳ヲ安ク買ハナケレバナラヌト云フコトニナツテ來ルノデスカラ、何レニシテモ製酪業者ノ資本ニ對スル利益ガ七朱ガ正當デアるか、八朱ガ正當デアるか、一割ガ正當デアるか之ヲ十分研究シナケレバ公正ナ値段ヲ決メルニ困難ダト思ヒマス、ソコデ七朱ナリ八朱ナリガ公正ナ利益デアルト考ヘルナラバ、酪農業者ノ代表者ガ取締役ト同一ノ待遇ヲ受ケテ監査役會若クハ取締役會ニ立會ツテ、帳簿ヲ見タリ意見ヲ述べタリシテ、其ノ會社ノ配當ヲソコデ七朱カ八朱ガ正當デアルト云フコトモ、

其ノ資格ヲ與ヘテ貰フナラバ相談ガ出來ル譯デアル、是ハ勿論監督官廳ハチャント方針ヲ決メテ此ノ營業ハ七朱ガ適當ノモノデアル、或ハ六朱ガ適當デアル、或ハ八朱ガ適當デアル、是ハ監督官廳ガ肚ヲ決メテ掛ラナケレバ公正ナ値段ハ出マセヌ、ソコデ私ハ斯ウ思フノデス、斯ウ云フコトサヘ出來レバ加工品ナドト云フモノハ餘リ精密ニ計算セヌデモ、噓ヲ言ハレテモ會社ノ計算ノ上カラ出テ來マスカラ差支ナイ、ソレカラ酪農業者ノ方デモ生産費ガ幾ラ掛ルトカ掛ラストカ云フヤウナコトヲ言ハナクトモ餘程緩和サレテ來ル、ソコデ七朱ノ配當ヲスルコトガ今ノ時代ニ適當ナル配當ダト決マルナラバ、製酪業者ノ某會社ノ成績ハ一割五分儲カツタ、サウ致シマスト正當ナ配當ガ七朱ダト云フコトニナルト、アト残りガ八朱ガアル、此ノ八朱ノ餘剩ヲ會社ガ半分、酪農業者ヘ半分配當スル、詰リ配當制限ヲシテ其ノ制限外ノ利益ヲ製酪業者ト酪農業者トデ分ケツコスルト云フコトニナレバ、ソレコソ共存共榮ダト思フ、値段ハソレニ依ツテ初メテ公正ノ値段ガ出テ來ルノダト思フ、例ヘバ現在ノ狀態カラ申シマスト、牛乳一升二十錢ト値段ガ決マツテ、甲ノ製菓會社ヘ持つテ行ク、製菓會社ニシテモ煉乳會社ニシテ

モ、其ノ會社ガ二十錢ノ牛乳ヲ買集メテ、其處デ加工シテ、賣ツテ、決算ヲシテ見タ結果一割五分ノ利益ガアツタトスレバ、七朱ガ正當ナモノトスルナラバ、七朱ノ利益ハ天引ニ取ツテ置イテ、後ノ残りヲ製造業者ト酪農業者ヘ分ケル、斯ウ云フコトニ行ケバ共存共榮ダト思フ、サウ云フ方法ニ依ルカ、中ヘ入ツテ——入ツタドロデハナイ、取締役ト同様ナ待遇ヲ受ケタ者ガ相談ニ與ツタリ、帳簿モ見テ、サウシテ十分研究シテ加工費ヲ計算シ、一方ハ生産費ヲ計算シテ其ノ中間ヲ公正ナ値段トシテ決メルコトガ宜イカ、ドツチノ方法ガ宜イカト云フコトハ相當研究スル價值ノアル問題ダト思フ、今ノ所ノ提案者ノ當局トシテハ今直チニ考ヘテ見マシテドチラガ宜イト御考ニナルカ、今マデ御考ニナツテ居ツタヤウナコトデ果シテ加工費等ノ計算ガ出來ルト御考ニナツテ居ルカ、先ヅ之ヲ今一度伺ツテ見テ然ル上ニ尙ホ重ネテ御尋シタイト存ジマス

○**岸政府委員** 坂下サンノ御尋ノ點ハ、公正ナル所ノ乳價ノ決定ト云フモノハ、一方ニ於テ牛乳ノ生産費、一方ニ於テハ工場ニ於ケル所ノ加工費其ノ他經營費等ヲ併セ睨ンデ、ソコニ生レテ來ル利潤ヲ適當ニ分配スルコトニアリト、斯ウ云フ御話ナノデアリマスガ、私共ノ考ヘ方モ昨日來御話申上ガテ居リマス通りニ、一應其ノ利子ヲ取ツテ基礎材料ヲ得タイ、斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ加工費ノ見當、經營費ノ見當ト云フコトモ是ハ相當ニ私共モ困難デアルトハ思ツテ居リマス、ガ御話ノ後段ノ方面ノヤリ方ニ付テ公正ナル所ノ乳價ヲ出スト致シマシテモ、ヤハリ是ハ内容ニ入ツテ十分ニ調べナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスノデ、私共トシテハ此ノ工場生産費等ニ付テ單ニ吾々ノ手バカリト云フ譯デナク、色々ナル方面カラ檢討ヲ加ヘテ、妥當ナ所ヲ得タイト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シ今御示ニナリマシタ酪農組合ノ代表者ヲ會社ニ立入ラシメルトカ、其ノ營利會社ノ利益ノ制限ヲヤルトカ云フコトニ付キマシテハ十分研究ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス、酪農業者ヲ會社ニ立入ラセルト云フコトニ付テハ、中々簡單ニ行カナイトハ思ツテ居リマス、是等ノ製酪業組合ガ成立致シマシテ、各業者ニ於テ自肅自戒サレ、サウシテ現在ノ時局ヲ認識サレテ進マルナラバ、恐ラク是等ノ點ニ付キマシテモ一方私共ノ調査ト相俟ツテ、大體妥當ナル資料モ提出シテ貰ヘルガラウト考ヘルノデアリマス、組

合ノ方ニ於テサウ云フ風ナ運用ガ出來ヤシナイカトモ考ヘテ居リマス、又今營利會社ノ利益配當ト云フモノハ大體六分乃至八分ノ程度ニナツテ居リマス、營利會社ノ利益配當ノ制限ト云フコトハ、是ハ色々他ノ方面ニ於テモ叫バレテ居ル問題デ、此處デ彼此レ申上グルコトモ出來マセヌガ、此ノ程度デアルトスレバ配當モサウ大キナモノデアルトモ考ヘラレナイノデアリマス、唯配當ダケヲ制限ヲシマシテモ、其ノ經營ノ内容ニ於テ色々不合理ナ所ガアリマスレバ、配當サルベキ所ノ利益モ亦隱サレテ行クト云フ點モアリマスノデ、斯ウ云フ點ハヤハリ内容ニ互ツテソレ／＼堪能ナル者ガ帳簿等ヲ検査シ、サウシテ其ノ内容ヲ檢討シテノ客觀的ノ研究ヲシテ行カケレバナラヌト考ヘテ居リマス、何レニシテモ其ノコトニ付テハ十分研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○**坂下委員** 今ノ御答デ満足スル譯ニモ參リマセヌガ、十分研究シテ見ルト云フコトニ信賴シテ御研究ヲ願フコトト致シマスガ、唯斯ウ云フ場合ハドウナルカ、今ノ御話デ農林當局バカリデナク、各方面ノ手ヲ煩シテ加工費ノ精密ナル調査ヲスレバ、一方ニ自肅自戒ヲスレバ正當ナル加工費ガ出テ來

ルドラウト云フ御話デアリマスガ、其ノ通  
リト致シマシテ加工費ハ大體誤ノナイモノ  
ガ出テ來、生産費モ大體誤ノナイモノガ分  
ツテ來タ、斯ウ云フ場合ニ於テ一方ニ酪農  
業者ノ生産費ト、製酪業者ノ加工費ト雙方  
合セマシテモ、市價ニナラナイ眞中ニ殘ル  
利益ハ扱措イテ、市況ガ惡クテ生産費モ出  
テ來ナイ、加工費モ出テ來ナイト云フ時ノ  
處置、之ヲドウスルカ、生産費モ加工費モ  
ハツキリ分ルト假定シテ——私ハ加工費ハ  
複雜デ分ラヌト思ヒマスガ、假リニ分ツタ  
ト致シマシテ、ソコデ加工費ガ假リニ五圓  
掛ル、酪農業者ノ生産費ガ三圓掛ルト假定  
致シマス、サウスルト生産費ト加工費ニ依  
ツテ八圓ト云フモノガ出テ來マス、市場相  
場ガ安クテ是ガ七圓ニシカ賣レナイト云ツ  
タ時ニハ、是ハ委員會ハドウ云フ風ニ値ヲ  
決メルカラ伺ツテ置キタイ

○岸政府委員 何レモ「マイナス」ニナツタ  
場合ニドウ云フ風ニ裁定スルカ、中々難カ  
シイ問題ダと思フノデス、生産費ヲ何レモ  
割ツテ、サウシテ仕事ヲスルト云フコトハ  
是ハ餘程ノ場合デアラウト思フノデアリマ  
ス、大體ハ私共ノ目安ハ其ノ仕事ヲヤツテ  
行クト云フカラニハ、乳牛ヲ飼ツテ牛乳ヲ  
生産シテ引合フ、即チ生産費ハ最低ノ限度

ニシテ進ンデ行ク、サウスレバ農家ニ於テ  
ハ或ハ自家生産ヲ換價スルコトガ出來、又  
自家勢力ヲ換價スルコトガ出來ル、是ハ丁  
度今ノ日本ノ小農經營ノ場合ニ引當ルドラ  
ウト思ヒマス、ソレカラ加工業ニ於キマシ  
テモ、其ノ點ハ同様ニ考ヘマシテ、サウシテ  
ソレヲ補フヤウナ程度ニ於テ販賣ノ價格モ  
決ツテ來ナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リ  
マス、サウ云フ風ニ參リマスレバ、只今ノ  
御懸念ノヤウナ點ニ付テハ問題ガナイノデ  
ハナイカ、斯ウ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、  
私共ハサウ云フ考デ、結局生産ヲサセル  
ニハ引合ツタ生産ヲサセル、斯ウ考ヘテ居  
リマス、現在ニ於テ乳ノ事業ガ行ハレテ居  
リマスガ、現在ニ於テハ先程御話申上ゲマ  
シタ通りニ、六分乃至八分ノ生産配當モシ  
テ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、  
サウ云フ點ハ私ハ今申上ゲマシタヤウナ考  
デ進ミマスナラバ、問題ガ生ジテ來ナイノ  
デハナイカと思ヒマス、御諒承願ヒマス

○坂下委員 ドウモ局長サンノ御考ハ少シ  
ク樂觀ニ過ギハセスカと思フノデス、市場  
價格ハ偶、サウ云フコトガアリマス、過去ニ  
於テモ牛乳ヲ一升三錢カ四錢デ買ハナケレ  
バ逆モ採算ガ採レナイト云フ煉乳工場ガ出  
來テ、大分打撃ヲ受ケタコトモアルヤウナ  
譯デ、將來ニ於キマシテモ、加工費ト生産  
費トヲ合シテ價格ダケニシカナラナイ場合  
ガアルコトヲ豫想シナケレバナラヌト思フ、  
ナケレバ結構デアリマスケレドモ、必ズヤ  
アルト思フ、サウ云フ場合ニ最前ノ例デ申  
シマスルト、加工費ガ五圓掛ツテ、生産費  
ガ三圓、八圓ナラバドツチモ一杯ダガ、ソ  
レガ七圓ニシカ賣レナイ、斯ウ云ツタ時ニ  
ハ一圓其處ニ何レカ損ヲシナケレバナラナ  
イ者ガ出來テ參リマス、此ノ一圓ヲドウ云  
フ風ニ損ヲシテ行クカト云フコトガ、大體  
豫メ標準ガ立ツテ居リマセヌト、其ノ時ニ  
公正ナ値段ヲ決メルト言ツテモ中々決マラ  
ナイ、普通デ言ヘバ、先ヅ製酪業者ノ方ガ、  
コンナニ市價ガ安クテハ到底此ノ値段デハ  
牛乳ヲ買フコトガ出來ナイカラ、値段ヲ負  
ケテ呉レ、斯ウ云フ問題ヲ起スニ決ツテ居  
ル、其ノ場合ニ酪農業者ガ、ソレデヤ仕方  
ガナイカラ私ノ方デ損ヲシマセウト言ヘバ  
是ハ問題ナク行キマスガ、儲ケル時ニハ製  
酪業者ガ多ク儲ケテ居ルノダカラ、損ノ場  
合モチツトハソツチモ損ヲシテ呉レナケレ  
バ困ル、或ハ一圓バカリノ損ナラ當分資本  
家ノ方デ負擔シテ、吾々ヲ救済シテ呉レト  
云フ問題ガ當然起ルト思フ、サウ云フ場合ニ  
ドツチニ損ヲサセルカ、此ノ一圓ノ損ハ兩

方五十錢ツツ負擔スルカ、ドンナ割合ニ損  
ヲスルカト云フコトハ、是ハ豫メ總テノ方  
面カラ檢討ヲシテ、サウシテ標準ヲ作ツテ  
置クベキモノダト思フ、最前局長サンノ言  
ハレタヤウニ、サウ云フコトハナイト決メ  
込ンデ居レバ別ニ心配モナイコトデスケレ  
ドモ、私ハキツトアルト思フ、殊ニ戰時中  
若クハ戰後——戰時中ハ總テヲ統制シテ  
居ルカラ、サウ大キナ變動ハナイカモ知レ  
マセヌガ、戰後ニナリマスレバ必ズヤサウ  
云フ變動ガ起ル、グン／＼市價ガ上ツテ來  
テ、製酪業者ガ儲カリ過ギル、儲カリ過ギ  
ルガ、默ツテ儲ケテ居ル、サウシテ値ガ暴落  
シタ時ニハ、早速委員會ヲ開イテ貰ツテ、  
牛乳ノ買入ノ値下ヲ要求スル、斯ウ云フヤウ  
ナコトハ繰返サレルモノダト思フ、ダカラ  
サウ云フ時ノコトモ今豫メ考ヘテ、サウシ  
タ生産費ヲ割ツタ場合ハドチラガドレダケ  
ノ損ヲシテ行ク、利益ノ標準ヲ超過シテ儲  
ケタ時ニハ此ノ儲ケハドンナ割合ニ製酪業  
者ト酪農業者ト分配ヲスルカ、斯ウ云フコ  
トモ決メテ置ク必要ガアルト私ハ思フ、局  
長サンノ考ヘルヤウニ、ソナニ無茶苦茶ニ  
儲カルモノデヤナイ、儲カラナイヤウニ乳價  
ヲ引上ゲテヤツテ行カセレバ儲カリハセヌ、  
公正ナ六朱カ七朱位ノ配當ノ所デ製酪業者

ハ堅實ニヤツテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居レバ、洵ニ天下泰平、片方ノ酪農業者ノ方モ生産費ヲ制ルヤウナコトハナイ、其ノ他ノ方面ニモ利用ガ出来テ、ソコニハナイト考ヘテ居レバ、是モ天下泰平ダガ、ドウモサウバカリハイカヌ、儲ル時モアレバ損スル時モアル、是ハ商賣デス、ソコニ面白味モアルト云フ譯デス、ソコニハ輸出品モ入ツテ居リマシテ、假ニ内地ノ統制ガモツト強化サレテ、生産モ消費モ統制サレルヤウニナツテ、或ハ値段ナドモソレコソ極度ノ統制ヲスルト云フヤウナコトニナレバ、内地ニ於テハ値段ノ上ゲ下ゲハナカラウケレドモ、之ニハ輸出品モアルノデアリマスカラ、外國ノ相場ガ上ゲ下ゲガアレバ、隨テ其ノ影響モ受ケルシ、又爲替ノ關係モアリマスノデ、決シテ相場ニ高低ガナイ譯ニハ行カヌ、デアリマスカラ、標準ヲ定メタヨリモ以上ノ利益ガアレバドウ云フ風ニ資本家ト生産家ト分配ヲスルカ、加工費、營業費其ノ他ノ費用ヲ計算シタモノト生産費トヲ合シタ値段ヨリモ市價ガ安クテ損ガ立ツ場合ニハ、此ノ缺損ニ對シテハドノ割合ニ負擔ヲシテ行クコトガ宜シイカ、結局利益ノ分配ノ割合ト損ヲスル時ノ負擔ノ割合トハ竝行スベキモノダト思フ、此ノ

點ヲ御研究ニナツテ、サウシテ偶アルダラウト考ヘラレルモノモ本法ノ中ニ入レルカ、或ハ組合ノ規定ノ中ニ入レルカ、何トカシナケレバ、年ガ年中此ノ問題ハ紛争ガ絶エナイ思フ、此ノ法案ガ實施ニナレバ今マデ繰返シタヤウナ紛争ガ調整サレルト御考ニナツテ此ノ法案ヲ御提出ニナツタ譯デアルガ、結果ハ私ハサウハ行カヌト思フ、今マデノヤウニ此ノ法案ニ依ツテ調整サレズニ其ノ儘ニ置ケバ、成程見苦シイ争モアリマス、相剋モアリマスガ、製酪業者トシテハ獨占スル譯ニハ行カナイ、酪農業者ノ方デ結束ヲシテ、此ノ製酪業者ハ横暴ダ、慾ガ深い、吾々ヲ叩クバカリデ、ドウモ人情ガナイ、斯ウ云フコトニナレバ、他ヘ進ンデ話ヲシテ、サウシテ他ノ製酪業者ヲ誘導シ、連レテ來テ、其處デ工場ヲ建テサセテ仕事ヲサセルト云ノ一ツノ牽制策モアル、ソレカラ自ラ組合ヲ組織シテ適當ナル法ニ依ツテ加工スルト云フ方法モアルノデアリマスガ、一旦此ノ法ガ實施サレテ見ルトソレガ出来ナイ、所謂一方ノ獨占事業デアルカラ、却テ其ノ間ニ相剋ガアリ、感情ノ疎隔ガ出来ハシナイカ、ソレハ形式ノ上カラ言ヘバ雙方ノ代表者ガ出テ、公定價格ガ出来テ、取引モ公正ナ値段ニ依ツテヤル

ト云フノダカラ、形ノ上カラ行ケバソレハ何等非難スル餘地モナシ、相剋モ出来ヨウ譯ガナイノデアリマスケレドモ、ソレハオ互ニ適當ナ利益ノアル間ハサウデアル、非常ニ値ガ上ツテ製酪業者ガ儲リカサウダト云フ噂ガ立ツ、或ハ又非常ニ下ツテ缺損ノ生ズル場合、斯ウ云フ場合ニハヤハリ如何ニ法ニ依ツテ相剋摩擦ヲ避ケヨウト、形式ニ於テサウ云フコトノ餘地ノ無イヤウニ出来テ居リマシテモ、實際ハ相剋モ出来摩擦モ出来ル、ソレデアリマスカラ私ノ思フノハ、現在ノ如クニ放任シテ置イテモ、極端マデ行ケバ自戒自肅シテ自ラ活キル途ヲ拵ヘル場合モ出来ルシ、他ノ工場ヲ誘致シテ來テ牽制スル場合モ出来、此ノ方法ニ依ツテ一方ノ横暴ヲ防グコトモ出来マスケレドモ、此ノ調整法ニ依ツテ地域ヲ決メラレ、サウシテ其ノ地域内ニ一ツノ製酪業者ガ出来テ、其ノ地域内ノ酪農業者ハ其ノ製酪業者ニ附屬スルモノデアルト云フヤウニ限定セラレル以上ハ、相剋摩擦シテ居レバ、ソレコソ乳ヲ大地ニ捨テルノ外ハナイコトニナルノデ、幾ヲ抑壓サレテモ無理ヲサレテモ泣キ／＼其ノ製酪業者ノ所ニ運バネバナラスト云フ結果ニナル、サウ云フ場合ハ監督官廳ノ命令モアリ、委員會ト云フモノモ

アルデハナイカ、斯ウ云フ議論モアリマスガ、ソコニナツテ來ルト、私ハ又元ニ還リマスケレドモ、ドウモ商賣人ノ誠意ヲ疑フ、疑ヘバ限リガナイト仰シヤルケレドモ、過去ノ事實、過去ニ於ケル經過等カラ割出シテ見テ、サウ云フ場合ガ有得ルト思フノデアリマスカラ、ソコヲ非常ニ値上リノシタ時、非常ニ安クナツテ損ノ立ツ時、斯ウ云フ時モ紛争ノ起ラナイヤウニ最前申上ゲタ一定ノ利益以外ノモノヲドウ分配スルカト云フコトハ、一定ノ損失ガアツタ時ニハ其ノ損失ヲドウ云フ風ニ負擔スルカ、斯ウ云フコトモ大ニ研究シ規定シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、ダカラ是非此ノ點ハ十分ナル御檢討ヲナサツテ、サウ云フコトハ無イ積リダト云フコトデナク、有ルモノト豫定シテ御研究ナサツテ、法文ノ中デナクテモ、組合ノ規約例ト申シマスガ、何レ是ガ通過シマシタ場合ニハ模範規約ヲ作ツテ方々ニ御示ニナルコトト存ジマスガ、少クトモ模範規約ノ中ニハサウ云フコトヲ入レテ、將來ノ紛争ヲ未然ニ防グ御考ガ必要ト存ジマス、私ノ質問竝ニ希望ハ是デ止メテ置キマシテ、又大臣ノ意嚮ヲ聽キマシテ更ニ御伺スルコトヲ保留シテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○岸政府委員 今御示シノ點ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、私共ハ色々ノ方面ノ狀況カラサウ云フ風ニ持ツテ行カタクテモ濟ムンデヤナイカト考ヘテ居リマシガ、御示シノ點ハ十分ニ研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○田中委員長 松尾君

○松尾委員 一寸政府ノ方ニ御斷リシテ置キマスガ、先刻資料ヲ御願致シマシタ所、他ノ委員ノ方カラ要求セラレマシタ資料ヲ拜見シマシテ、私ノ御願シマシタ大體ノ要領ヲ得マシタノデ、ソレデ結構ト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

私モ此ノ法案ニ付テ一二ノ點ヲ簡單ニ御尋シテ見タイト思ヒマスガ、此ノ法案ノ目的ヲ達成スルト云フニハ、何ト申シマシテ其ノ資源ノ確保ト云フコトガ、最モ根本ヲ爲ス問題デアラウト思ヒマス、此ノ資源ノ確保ト云フコトニ付テ、政府ハドウ云フ風ニ將來オヤリニナルカ、其ノ點ニ付テ先ヅ御尋シタイト思ヒマス、現在ニ於ケル狀況カラ申シマス、大都會ニ於ケル所ノ乳業者ト云フ者ガ、兎角乳牛ノ生産地カラ其ノ乳牛資源ヲ相當好イ價格ヲ以テ買ツテ來テ牛乳ヲ搾ル、而モソレガ洵ニ不自然ナルヤリ方ヲヤツテ居ルト云フコトヲ聞キマス、

サウ云フヤウナ所謂本當ノ文字通りノ搾取ヲヤツテ居ル、將來マダ五年モ六年モ使用能力ノアル乳牛ヲ短期間ノ中ニ不自然ナ方法ヲ以テ乳ヲ搾ルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマス、サウ云フヤウナ方法デ、無論此價格ハ相當好イ價格ヲ以テソレ等ノ乳業者ハ買收スルノデスカラ、其ノ乳牛ノ生産地デハ其ノ値段ニ牽カサレテ、次カラ次ヘト「バター」其ノ他煉乳等ノ製造地帯カラ乳牛ハ都市ニ移動シツツアルヤウナ狀態デアリマス、之ヲ此ノ儘放任シテ置クト云フコトハ、其ノ乳牛ノ總數ガ將來必ズ著シク減産スルト云フコトニナルノデアツテ、其ノ結果ハ國內ノ需要ヲモ充タシ得ナイ、況ンヤ輸出等ハ不能ニナツテシマフ、之ニ對シテ政府デハ例ヘバ乳牛ノ移動ノ制限ヲスルトカ、或ハ牛乳ノ需要ノ多い大都市附近ニ特ニ配農地帯ト云フヤウナモノヲ獎勵助長セシメテ、サウシテ今申シマシタヤウナ資源確保ノ爲ニオヤリニナルト云フ御考ガアルカドウカラ先ヅ御尋シテ見タイト思ヒマス

メタイト考ヘテ居リマス、此ノ資源ヲ確保シ培養シテ行ク點ニ付キマシテハ、豫算ニ於キマシテ生産力ノ擴充ノ所デ、種牡牛ヲ來年度ヨリ百頭養成ヲ致シマシテ、其ノ次ノ年カラ之ヲ縣ニ無償貸付シテ行ク、又從來ヤツテ居リマシタ傳染性流産ノ豫防ニ關スル施設ヲ擴充致シマシテ、其ノ治療ニ依リマシテ生産力ヲ殖ヤシテ行ク、是ハ各地トモ相當ノ效果ヲ擧ゲテ居リマス、北海道モ亦其ノ點ニ於テ非常ニ效果ガアツタト思フノデアリマスガ、ソレヲ擴充シテ行ク、其ノ他衛生上、指導上ノ注意ヲ十分ニ拂ヒマシテ、生産ガ殖エテ行クヤウニ致シテ行ク積リデアリマス、從來ノ經過カラ申シマシテモ、年々乳用牛ノ頭數ハ増加ヲシテ居リマスノデ、一方ニ於テ今申上ゲマシタヤウナ事實ガアリマスナラ、頭數ハ殖エテ參ツテ、牛乳ノ生産モ増加ヲシテ行クダラウト思ツテ居リマス、移動ノ制限ヲスルト云フコトハ、現在ノ牛乳ノ生産地ノ或ル地方ニ付テハ、實際上ノ必要トシテ、サウ云フコトガ具現サレルコトガ、地方ノ牛乳ノ量ヲ確保スル上ニ於テハ極メテ大切デアルトハ思ツテ居リマスガ、ドウ云フ形ニ於テ其ノ趣旨ガ達セラレルヤウニスルカ云フトコトニ付テハ、餘程研究ヲシテ見ナケレバナラ

ヌト思フノデアリマス、差當リト致シマシテハ、私共ハ先種申上ゲマシタ指導——是ハ衛生上ノ方面或ハ獎勵ノ方面モ籠メテ居リマスガ、ソレ等ニ十分連絡ヲ取りマシテ、其ノ趣旨ノ具現スルヤウニ努力シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、都市ニ於ケル乳牛ノ屠殺ガ多イト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ結局都會ニ持ツテ參リマシテ飼育スルト云フコトガ、乳牛ノ衛生カラ見マス、餘程ノ努力ヲ致シテモ、其ノ健康ノ上ニ影響ガアルト云フ結果デハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、ソレハ極メテ一部ノ例デアリマスガ、名古屋附近デ調べタ例ニ屠殺サレタモノノ中ニ依リマス、乳牛ノ本當ノ淘汰ト稱シテ、或ハマダ使ヘルノデハナイカト想像サレタモノハ總屠殺數ノ五六「パーセント」デアツタト記憶シテ居リマス、サウ云フヤウナ實情ガ全面的ニアリトスレバ、是ハ寧ろ都會デ飼ハレルト云フコトガ不自然デアアルノデハアルマイカト思フノデアリマス、從來ノ趨向カラ見マス、漸次農家ノ乳ガ主ニナツテ行クト云フコトガ考ヘラレルノデアリマシテ、私共モ農業ノ經營カラ見マシテモ、酪農業ト云フモノハ割合ニ有利ナ畜農業經營デアリマスノデ、都會附近ニ於キマシテサウ云フ仕事モ起キ

テ、サウシテ良質ナル所ノ牛乳ガ安價ニ消  
費者ノ手ニ渡ルヤウニシテ行キタイと思ツ  
テ居ルノデアリマス

○松尾委員 次ニ乳牛ノ資源確保ニ付テモ  
ウ一度伺ヒタイノデスガ、一方ニハ先程申  
上デマシタヤウナ方法デドンノ屠殺スル  
コトヲ防止スルト共ニ、又段々時代ガ進歩  
シ、文化ガ進ムニ連レマシテ、食牛方面、  
即チ人間ガ肉食ヲ多クスルヤウニナルト、  
一方食牛方面ノ助成發達モ考ヘル必要ガア  
ラウト思ヒマス、ソレガ同時ニ此ノ乳牛資  
源ノ確保ニモナラウカト思ヒマスガ、之ニ  
付テ私ハマダ資料ヲ能ク拜見致シテ居リマ  
セヌガ、之ニ關聯シテ政府ノ御意見ヲ承リ  
タイト思ヒマス

○岸政府委員 肉類ノ増産ヲドウシテ居ル  
カト云フ御質問デアラウト思ヒマスガ、肉類  
ノ需給ニ付キマシテハ、牛肉ヲ除キマシタ  
他ノ家畜ノ肉ハ大體自給自足シテ居ル狀  
態デアリマスガ、牛肉ニ付テハ最近ニ於テ  
尙ホ一割八分位ノ消費ガ、輸入ノ形態ニ於  
テ行ハレテ居ルノデアリマス、事變以來輸入  
ガ止マリマシタ關係カラ、牛肉ノ供給ガ不  
足シテ、屠殺ノ増加ガアルノデアリマスガ、  
是等ノコトニ對シマシテモ、先程乳牛ノ場  
合ニ申上ゲマシタヤウニ、來年度ノ豫算ニ

於キマシテ生産力ノ擴充ノ中ニ於キマシテ、  
内地ノ役肉牛ヲ増殖ヲシテ、其ノ需要ノ充  
足ニ資シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、  
是モ乳牛ノ場合ト同ジ考ノ下ニ増殖ヲ圖ル  
ノデアリマシテ、現在三十五万頭程ノ繁殖  
可能デアアルガ、繁殖ニ供セラレテ居ラナイ  
所ノ牝牛ガアリマスカラ、其ノ牝牛ニ種付ヲ  
スルベク種牝牛ノ配付ヲ行ハウト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、其ノ牝牛ノ繁殖率ヲ増加スル  
爲ニ、又傳染性流産ノ豫防ニ關スル施設ヲ擴  
充シテ行ク、斯ウ云フ風ニヤツテ居ルノデアリ  
マス、尙ホ御手許ニ差上ゲマシタ表ノ中ニアリ  
マスヤウニ、乳用ノ牝牛ガ三万二千頭屠殺  
サレテ居リマス、是ハ主トシテ牝牻デアリ  
マス、其ノ牝牻ノ屠殺サレルノヲサレナイ  
ヤウニ指導シテ、之ヲ畜産組合其ノ他ノ團  
體ニ於テ或ル月數育成ヲシテ、サウシテ之ヲ  
農家ニ飼育サセテ、之ニ依ツテ肉ト皮ノ資  
源ヲ確保シテ行キタイト考ヘテ居リマス、  
此ノ肉牛ノ關係ハ、斯ウ云フ風ナ施設ニ依  
ツテ其ノ増産ヲ圖ツテ參リマスガ、肉ノ消  
費トシマシテハ、將來是ダケデハ足リナイ  
ノデアリマスノデ、其ノ足リナイ部分ハ豚  
ノ増殖、又兎毛皮ノ見地カラ増殖ヲ要請サ  
レテ居リマスガ、ソレニ伴ツテ出テ參リマ  
ス所ノ兎ノ肉ノ増殖、又鶏ノ生産ノ場合ニ

於キマスル所ノ雄雞ノ育成ニ依リマシテ肉  
ノ生産ヲ増加スル、斯ウ云フ風ナ途ヲ盡シ  
マシテ、大體需要ニ應ズル所ノ食肉ノ供給  
ヲ圖ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居  
ル譯デアリマス

○松尾委員 次ニ牛乳ノ副産物ニ付テ、政  
府ノ御所見ヲ伺ツテ見タイと思ヒマスガ、  
牛乳ノ主成分ハ脂肪、蛋白質、糖分デア  
ルコトハ分ツテ居リマス、此ノ牛乳ノ脂肪ノ  
ミヲ以テ造ル「バター」ノ外ニ副産物トシテ  
蛋白質カラハ例ノ「カゼイン」ガ出來マス、  
又糖分カラハ乳糖ガ出來ルコトモ周知ノ事  
實デアリマスガ、此ノ「カゼイン」ハ軍需用  
トシテ、飛行機ノ製作ヲ初メ、其ノ他ノ兵  
器、或ハ軍艦等ノ塗料ニ、又一般工業用ト  
シテハ「ベニヤ」工業ノ加工ニ、「アートペー  
パー」或ハ「ラクトロイド」工業、即チ「カゼ  
イン」加工品デ人造蠟甲ノヤウナモノ、又  
其ノ他ノ塗料等、各種ノ工業資材トシテ實  
ニ重要ナモノガ出來ツツアリマス、昭和十  
二年度ノ輸入數量ハ實ニ千五百万封度デア  
ツテ、其ノ金額ハ五百七十五万餘圓ニ上ツ  
テ居ツタノデアリマスガ、此ノ「カゼイン」ヲ  
以テ製作セル工業用品中ニ、「ベニヤ」板ガ  
三千二百萬圓ノ生産ヲ爲スコトガ出來、又  
加工紙ハ八百七十萬圓ノ生産ヲ致シマス、

ソレカラ「ラクトロイド」ハ二百五六十萬圓  
ノ生産ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ三  
品目ダケデモ實ニ四千五百万圓ニ近イ生産  
デアツテ、更ニ此ノ三品ダケノ輸出高ヲ調  
査シテ見マスルト、「ラクトロイド」ニ於キ  
マシテハ二百四十萬圓、「ベニヤ」板ニ於  
キマシテハ一千百萬圓以上、加工紙ニ於キ  
マシテモ五十萬圓、其ノ合計ガザツト一千  
五百万圓以上ニ達シテ居ルノデアリマス、  
其ノヤウニ今次時局ニ於テ最モ重大ナル問  
題ハ、此ノ「カゼイン」ガ飛行機ノ製作上ノ  
必要資材デアルト云フコトト、同時ニ千四  
百萬圓以上ノ輸出工業品ヲ造ル上ニ於テ、  
必要ナ資材デアルト云フコトニナリマス、  
此ノ「カゼイン」ハ現在北海道ダケノ生産ニ  
ナツテ居リマス、ソレデ酪農業者ノ團體タ  
ル北海道ノ酪聯ガ、十四年間非常ナ犧牲ヲ  
拂ツテ、漸ク其ノ完成ヲ見タノデアリマス  
ガ、今其ノ事業ガ著々擴張サレツツアルト  
ノコトデアリマス、是ハ主トシテ北海道ノ  
拓殖計畫ノ方デ指導シ、獎勵シテ居ルト思  
フノデアリマスガ、是ガ現在並ニ將來ノ増  
産計畫ニ付テ、政府並ニ北海道長官ハド  
ウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、  
此ノ點ニ付テ其ノ御方針ヲ承リタイノデア  
リマス、又此ノ法案施行ノ結果、「カゼイ

ン」事業ニドシナヤウナ影響ガアルカト云フコトヲ、農林當局カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 只今御話ニナリマシタ「カゼイン」乳糖ノ生産ト云ヒマスルモノハ、御説明ヲ申上ゲルマデモナク、「バター」事業ノ副産物トシテ出テ來ルモノデゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ生産ヲ増加シテ行クト云フコトニナリマスルト、結局「バター」ノ事業ヲ伸シテ行クト云フコトニ相成ルノデアリマスルガ、此ノ統制法ト連絡致シテ居リマスル所ノ、先程申上ゲマシタ乳牛ノ増産、又輸出ノ増進ニ關スル所ノ計畫ニ於キマシテハ、其ノ「バター」ノ生産ニ對シテ、相當多額ノ生産ノ要請ヲシテ居ル次第デアリマス、是ハ御手許ニ差上ゲマシタ初メノ時ノ資料ノ一部ニ、乳製品ノ生産ト輸出ノ計畫ト云フモノガゴザイマスガ、其中「バター」ヲ十四年カラ十八年ニ此ノ位ナ數マデ持ツテ行キタイ、斯ウ云フ考デ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ副生物カラ出來マスル「カゼイン」及ビ乳糖ト云フモノニ付テハ、十分此ノ製品ヲ活カシマシテ、只今御示シニナリマシタ「ペニヤ」板及ビ「ラクトロイド」ノ方面ニ利用スルコトガ出來、若シソレガ輸出ニ向ケラ

レルナラバ、ソレニ依ツテヨリ多クノ純輸出ガ獲得サレルノデアルト思フノデゴザイマス、ソレガ爲ニハ此ノ計畫ヲ此ノ法律ノ運用ト相俟ツテ、完全ニ實行シテ行クコトニ依ツテ、其ノ目的ガ達セラレルノデアラウト考ヘテ居リマス、唯「カゼイン」ダケヲ生産スル、或ハ乳糖ダケヲ生産スルト云フコトニナリマスルト「バター」ノ利用ガ中々好ク行カナイト云フコトニ相成リマスレバ、ソレダケニ生産「コスト」ハ「カゼイン」及ビ乳糖ニ掛ケナケレバナリマセヌノデ、生産費ガ是ヨリ一層高クナルト云フヤウナコトニ相成リマスルカラ、其ノ點ヤハリ現在ノ主産物デアル「バター」ヲ中心ニ考ヘテ行クコトガ、一番適當デアルト考ヘテ居リマス

○半井政府委員 北海道ノ事情ニ付キマシテ、私カラ御答申上ゲマスガ、御話ニ相成リマシタ如ク「カゼイン」、乳糖ハ、各種ノ方面カラ考ヘマシテ、最も重要ナ生産品ノ一ツデアリマス、北海道ニ於テハ拓殖計畫ノ中ニ、是等ノ増産ニ對スル助成等ヲ織込ミマシテ、獎勵致シテ居ルノデアリマシテ、現在ニ於テハ「カゼイン」ハ精製工場ガ十九、粗製工場ガ四十一、合計六十ノ工場ヲ有ツテ居リマシテ、生産額ガ現在百万封度ニ上ツテ居ルノデアリマスルガ、今後ノ計

畫トシマシテハ、大體五箇年後ニ於キマシテ、此ノ生産額ノ三倍以上ニシマシテ、三百五十万封度ニ達セシムルト云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シナガラソレデモ尙ホ我國ニ於ケル「カゼイン」ノ需要高ヨリ見ルト、マダ少イノデアリマシテ、今後益、増産ヲシマシテ、出來得ルナラバ輸出方面ニモ向ケタイト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマス、又乳糖ニ付キマシテモ、本年間ニハ約百万封度ノ生産ヲ舉ゲル見込デアリマシテ、是モ數箇年後ニ於キマシテハ、更ニ生産ヲ二百万封度ニ達セシムルト云フ豫定デ、是ハ北海道ノ酪農製造販賣組合聯合會ノ計畫デアリマシテ、道廳ト相談シマシテサウ云フ豫定ヲ立テテ居リマス

○松尾委員 北海道ニ於ケル酪聯ガ「カゼイン」ノ成功ト共ニ今政府委員ノ仰シヤツタ乳糖ノ成功ニ付テハ非常ニ努力シテ遂ニ今日ノ成果ヲ得ルヤウニナツタノデアリマスガ、之ニ付キマシテ現在聞ク所ニ依リマス、乳糖ガ藥用トシテ、或ハ丸藥ニ或ハ散藥ニ或ハ錠劑ニ、此ノ乳糖ガ九割モ用ヒラレルト云フ風ニナツテ居ル、藥局ニ於テハ勿論、製造業者ニ於テハ本當ニ缺クベカラザルモノデアツテ、又我國ノ衛生資材トシテノ必需品デアリマス、一昨年マデハ全部外國カ

ラ輸入シテ居ツテ、其ノ輸入高ガ百万封度ニ達シテ居ツタ、然ルニ前ニ申シタ「カゼイン」同様北海道拓殖事業トシテ當局ノ指導獎勵ニ依ツテ酪聯ガ有ユル努力ト困難ヲ排シテ此ノ精製ニ成功シタト云フコトデアリマスガ、之ニ對シテ只今農林當局及ビ道廳長官カラノ御答辯ニ依リマシテ、將來益、此ノ方面ニ付テ、北海道ノ拓殖事業ノ遂行ト共ニ、又一面ニハ我國ノ衛生資材トシテ發達セシメルヤウニ、一層御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ希望デアリマス、是デ大體要領ヲ得マシタガ、最後ニ私ハ北海道廳長官ニ一寸伺ツテ見タイノハ、現在北海道ニ於ケル所ノ牛乳ノ使用、即チ統制ト云フコトハ、曩ニ色々ナ會社ガアツタノヲ統制サレマシテ、現在ニ於テハ森永ト明治製菓ノ二大會社ニ統制サレテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ統制ノ結果非常ニ順調ニ行キツツアルト云フコトハ私共モ認メテ居リマス、併シ將來益、此ノ北海道拓殖計畫ノ所謂牛馬百万頭ト云フ目標デ進デ行ク上ニ於テ、更ニ今後森永ナリ或ハ明治製菓ト云フヤウナ大キナ事業家、資本家、即チソレト同等若クハソレ以上ノモノガアツタナラバ、單ニ森永ナリ明治製菓、即チ二大會社ノミ、統制サセルト云フヤウナ御方針デ何處マデモ行カレ

ルカ、或ハ相當ノ資力ガアリ又信用モアリ、又將來北海道ノ拓殖計畫ノ進展ト共ニ又適當ノモノヲ得ラレタナラバ、ソレ等ノモノニ明治製菓、森永同様ニヤラセルト云フヤウナ御考ガアルカドウカラ此ノ場合參考マデニ御聽キシタイノデアリマス

○半井政府委員 牛乳製品ニ關シマシテ、只今御述ノヤウニ、二大工場ガアルノデアリマスルガ、是等ノ工場ト酪聯トノ間ニハ從來非常ニ面倒ナ經過ヲ經マシテ統制ノ契約ガ出來上ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ私ハマダ北海道ノ事情ニハ詳シクナイノデアリマスルガ、今御尋ノヤウニ新シイ會社ガ此ノ中ニ入りマスコトニ付キマシテハ、是ハ相當考究ヲ要スル問題デハナイカト思フノデアリマス、從來現ニアリマスルトツノ工場ト酪聯トノ間ノ今日マデノ經過カラ見マシテモ、サウ簡單ニハ考ヘラレナイ問題デアルト思フノデアリマシテ、若シ左様ナ事態ニ直面シマシ場合ニハ、其ノ會社ノ内情等モ能ク考究シマシテ、具體的ナ問題トシテ餘程ニハ考慮ノ上デナケレバ、簡單ニハ決メ得ナイ問題ト思フノデアリマス、ドウゾ御諒承願ヒマス

○田中委員長 北君

○北委員 私ノハ極メテ短ウゴザイマス、

第一ニ、法ガ如何ニ完備シマシテモ肝腎ノ元ガナクナツテハイカスノデアリマスガ、法ノ完備ニ依ツテ寧ロ肝腎ノ本ヲ無クスル憂ガナキニシモアラズト思フノデアリマス、ソレハ何デアアルカト言フト、昨日モ河野君ノ質問ニ私ハ關聯質問ヲシテ置イタノデアリマシタガ、北海道デハ法ガ完備シテ統制ガ非常ニウマク行クヤウニナツタ、劃一的統制ヲヤリマシタ爲ニ乳價委員會デハドウシテモ北海道ノ乳ハ同ジ乳價ニサレテシマフ、ソレガ爲ニ開ケタ方面、濃厚飼料ヲ主トシテ使ハナケレバナラス方面、或ハ水田地帶ト云フヤウナ所デハドウシテモ牛ヲ飼フコトガ出來ナイ、而モ生産費ノ基準ガ何處ニアルカト言フト、野草ヲ主トシテ居ル所ヲ基準ニシテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ引合ハナイ、損失ヲスル結果ガ生ジテ來テ居ルノデアリマシテ、私共ノ方面デハ此ノ事變ガ始ツテ以來牛ガ半減シタ、之ニハ驚イテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、全國百五十万ノ牛ノ中昨年ノ屠殺數ガ資料ニ依リマスト三十五万六千頭ト云フノデアリマスガ、全國ニ乳牛ハ僅ニ十萬頭ソコノシカ居ナイ、是ハ忽チ斯ナ狀況デハ食ヒ盡サレテシマフト思フノデアリマシテ、先程松尾君ノ申サレ

タ所謂資源確保ノ問題ガ一番大事ダト思フノデアリマス、當局ハ之ニ對シテ極メテ認識ノ少イコトヲ言ツテ居ラレルノハ私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、或ハ指導獎勵ニ依ルトカ、種牛ノ増配ヲヤルトカ、ソナコトデ此ノ大勢ガ挽回出來ルモノデハ斷ジテナイ、何故カト申シマスナラバ、一番大事ノ所ヲ擱ンデ居ラレナイヤウニ思フノデアリマス、何ガ一番大事カト言ヘバ、ソレハ言フマデモナク乳價ノ問題デアル、牛乳ノ値サヘ高ケレバ決シテ牛ハ殖エルトモ減リハシナイ、此ノ問題ニ付テノ從來ノ農林省或ハ北海道廳、何レモ此ノ認識ガ足ラヌヤウデアリマス、私共實ハ自分デ二十頭以上ノ牛ヲ飼ツテ居ル、飼料ガ高イ、勞働賃銀ガ高イ、斯ウ云フヤウナ狀況デ毎日毎日赤字續キデアル、私ハ實ハ頭張り抜イテ二十頭ノ牛ヲ養ツテ居ルノデスガ、實ハ議員ノ歳費ヲ大部分牛ニ喰ハシテ居ル、是ハ實事デス、ダカラシテヤツテ行クコトガ出來ルノデスガ、私共ノ附近ノ農家達ハソナ餘裕ハアリハシマセヌ、ダカラ如何ニ愛國心ハアツテモ、如何ニ資源確保ハ大事ダト云ツテモ、經濟ニ合ハナイト言ツテ賣ツテシマフ、私ハ時々自分ノ村ニ歸ツテハ、停車場ニ澤山ノ立派ナ乳牛ヲ屠殺ノ爲ニ持

ツテ行クノヲ繫イデ居ルノヲ見テ、何時モ私ハ言ツテ居ル、諸君ハドウシテ斯ウスルノダト聞クト、引合ハヌコトハ出來マセヌ、斯ウ言ツテドンノ賣ツテシマツテ居ルヤウナ譯ナノデアリマス、デスカラ是ハドウシテモ乳價ヲ生産費ノ償フヤウニシテヤラナケレバナラス、生産費ニ償フヤウニシテヤラナケレバナラスノデアルガ、北海道ノ乳價ハ先刻言ツタ通り野草地帯ノ乳價ガ土臺トナツテ居リマス、デスカラ濃厚飼料ヲ食ハセナケレバナラス方面ニ於テハドウシテモ引合ハナイ、斯ウ云フ結果ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、此ノ乳價問題ニハ全力ヲ擧ゲテ貰ハナケレバナノ資源確保ト云フコトハ出來ナイコトニナルノデアリマス、ソコデ私ハ實ハ自分カラ意見ヲ申上ゲテ御伺シテ置キタイト思フノデスガ、ソレハ昨日モ河野君ガ言ハレタ通り、全國的畫一的ノ乳價ナドヲ決メラレタラ、東京附近ナドデハ事實牛ヲ止メナケレバナラスコトニナル、是ハ當リ前デアアル、ソレト同シ道理デ北海道ト云フ地帯ハ小サイヤウニ考ヘテ居ラレルカ知ラスガ、十一州アルノデアリマシテ、四國、九州、臺灣ヲ加ヘタダケノ大キサデス、ソレダケノ所ノ乳價ヲ一本建デヤツテ行カフト云フヤウナコトハ、是ハ大キ

ナ間違ヒダト私ハ思フ、少クトモ最小限度ニツ位ニ分ケナケレバ生産費ヲ基準ニシタ乳價ヲ拵ヘテヤルコトハ出来ナイノデアリマス、先ヅ第一ニ私ハ道廳長官ニ、北海道ノ乳價ト云フモノハ少クトモ生産費ノ違フ部分ニツ位ニ分ケテ、サウシテ乳價委員會ト云フモノヲオヤリニナル考ハナイカ、サウデナイト牛ハ減リマス、而モ今マデ慣レタ技術ヲ持ツタ人達或ハ設備ヲ備ヘタ人達ノ牛ガ減ルノデアリマスカラ是ハ重大問題デス、デスカラ早速斯ウ云フ問題ヲヤラナケレバ、ソナナ不合理ナ儘ニシテ置イテハ牛ガ減ルノハ當然デス、之ニ對シテ北海道長官ハドンナ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、最初ニ御伺シマス

○半井政府委員 御承知カト思ヒマスルガ、北海道デ乳價ヲ決メマスル爲ニハ、乳價ノ協定委員會ト云フモノヲ作りマシテ、道廳ノ役人、北海道帝國大學、畜産聯合會、酪聯、會社、生産者十五名ノ委員ヲ囑託シマシテ、是等ノ人ニ諮ツテ乳價ノ決定ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、大體ニ於テ現在決メテ居リマス乳價ヲ以テ、北海道ノ實情ニ適スルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯アノ廣イ北海道ニ一ツノ乳價ヲ決メタルコトガ實情ニ於テ適

切カドウカト云フ御意見ナノデアリマスガ是等ノコトハ今後能ク研究シテ見タイト思フノデアリマス、唯私ガ感じマスルコトハ、北海道ニ於キマシテハ酪農農家自身ガ全部組合員ニナリマシテ酪聯ガ出来テ居ツテ、其ノ組合員トナツテ居ルノデアリマスルカラ、恐ラク總テノ問題ハ此ノ酪聯ガ中心ニナツテ働イテ居ルノデアリマスカラ酪農農家ノ利害ヲ十分總テノ方面ニ代表シテ居ルコトト考ヘマスルノデ、乳價ノ決定ニ付キマシテモ御心配ノヤウナ事柄ハ從來ヨリ少イノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○北委員 實ハ私ハ私ノ地方、空知支廳管内ノ郡農會長ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、私ノ地方ニ於テハ非常ニ牛ガ減ツテ、煉乳會社モ製酪組合モ非常ニ困ラレテ、ドウシタラ牛ヲ殖スコトガ出来ルカト、昨年末以來屢々會合ヲヤツタノデアリマス、ソコデドウシテモ是ハ私ノ方面ハ水田地帯デスカラ水田地帯ノ特別乳價ト云フモノヲ拵ヘナケレバナラヌト云フノデ、酪聯カラモ寄ツテ居ルシ、總テノ關係者ガ寄ツテ——實ハ私モ酪聯ノ理事ヲシテ居ルガ、ソコデ色々ナ研究ヲシテサウ云フ結論ニ達シタノデアリマスガ、扱テ愈々ニナツテ北海道ノ中央デ

アル札幌デ話ヲシテ見ルト、ソレハソナ譯ニハイカス、是ハ物價問題ダ、北海道ヲ二ツニ分ケルナント云フソナコトハ出来ナイト云フノデ、値段ヲ分ケルコトガ出来ズシテ其ノ儘ニナツテ居ルノデアリマス、此ノコトニ付キマシテハ只今ノ各地方カラボツ／＼手紙モ來テ居リマスガ、一刻モ捨テテ置クコトガ出来ヌ問題デアルト思ヒマス、扱テサウナルトドウシテ乳價ヲ上ゲルコトガ出来ルカトソコマデ申上ゲテ見タイノデアリマス、實ハ北海道ハ御承知ノヤウニ「バター」、製酪デヤツテ居ルガ、煉乳ハ煉乳會社ガヤツテ居ル、此煉乳ノ方ニ付テ考ヘテ見ルト隨分餘地ガアルラシイノデアリマス、即チ煉乳會社ハ何レモ製菓事業ヲヤツテ居ル、乳製品ヲヤツテ居ル外ニ、製菓事業、更ニ生乳販賣業マデヤツテ居ルノデアリマス、サウシテ生牛乳ヲ東京市内其ノ他ニ配付スルコトマデヤツテ居ルノデアリマシテ、乳價ノ調節ト云フモノニ付テハ餘裕ガアルノデアリマス、産業組合聯合會ガヤツテ居ルヤウニ、「バター」一點張り、「バター」カラ出来ル副産物ダケヲヤルト云フノト違ツテ、餘裕綽々タルモノガアル、現ニ森永製菓會社ノ如キハ今日ノ所二十錢以上ニ買ツテモ宜イ、如何ナル形デ

出シテモ宜イガ、酪聯トノ間ニ約束ガアツテ乳價協定委員會デ決ツタ値ヲ壞ス譯ニハイカス、見ス／＼七十萬圓モ出シタ工場ノ煙ガ上ゲラレナクナツテモドウニモナラヌト云フヤウニ言ツテ居ル、國家ノ現狀カラ言ツテコンナ馬鹿ナコトヲヤラシテ置イテハイカヌト思ヒマス、買ヘル者ニハ買ハシタ方ガ宜イ、一方ニ於テハ立派ナ工場ヲ持ツテフノニ、一方ニ於テハ立派ナ工場ヲ持ツテ大切ナ機械ヲ持ツテ居リナガラ、其ノ機械ヲ遊バシテ置クコト云フコトガ起ツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ「バター」トノ間ニ大キナ格差ヲ付ケテモ買ハシテ宜イノダト思フ、第一ノ方法トシテハ先ヅソレヲヤラスコトガ必要デアル、是ハ道廳ダケデヤナカラウト思フ、農林省モ關係ガアルコトデアリマシテ、農林省ニ於テモサウ云フ一ツノ方針デヤラスコトガ必要デアル、今度酪農業組合ト云フモノガ出来ルケレドモ、何デモ彼デモ一緒クタニシテ、同一値段デ進ンデ行カウ、一番儲カラヌモノヲ基準ニシタ値段デ進ンデ行カウト云フ風ニヤラレテハ、日本ノ乳牛ト云フモノハ益、減ツテ行クコトニナル、根本方針トシテサウ云フヤウナ儲カルモノニ對シテハ餘分ニ出サシテ行クト云フ行キ方ヲサレル

御考ハナイカ、之ヲ先ヅ承リタイ

○岸政府委員 牛乳ノ用途ニ依ツテ或ハ高クナリ或ハ安クナルト云フヤウナコトモアリ得ルコトハ考ヘラレルト思フノデアリマス、例ヘバ御話ノヤウニ生乳ト云フ場合ニ於キマシテハ、是ハ相當ナ高イ値段デモ買ツテ行ケルト云フコトハ考ヘラレルノデアリマス、果シテ煉乳ノ方が高ク買ヘルカ、「バクター」ノ方が高ク利用出來ルカト云フコトハ、ソレハ結局飼料ガ十分ニ得ラレルカ得ラレナイカト云フコトガ問題ダト思フ、是ハモツト檢討シテ見ナケレバ、ハツキリシタコトハ分リマセヌガ、或ハ「バクター」ヲ造リ、其ノ出汁ガ「カゼイン」、乳糖等ニ依ツテ完全ナ利用ガ行ハレルナラバ、或ハ同ジヤウナ結果ガ考ヘラレルダラウト思フノデアリマス、何レニ致シマシテモ、地方的ニ團體ノ統制ヲヤツテ行クト云フコトニナリマスレバ、地方的ニハ或ハ値段ガ同ジヤウニナツテ生産者ニ入ツテ來ナケレバナラスト云フコトハ考ヘラレルノデアリマス、唯其ノ出來タ乳ヲ、或ル規格ノモノハ生乳ニシテ賣ル、或ル規格ノモノハ煉乳ニシテ賣ル、或ル規格ノモノハ「バクター」トシテ利用スルト云フヤウナ途ガ付キマスレバ、是ハ團體運用ノ場合ニ於テ、其ノ餘分ニ利益サ

レタモノヲ團體員ニ均等ニ割當テルヤウニナツテ來ルコトハ、是ハ避ケ得ラレナイコトダラウト思フノデアリマス、隨テ其ノ賣レ行ク所ノ種類ニ依ツテ値段ノ相違ハアリマシテモ、全體ノ利益ノ爲ニ進シテ行クト云フコトカラ考ヘマスレバ、小サナ地方ニ於テハ是ハ容易ニ考ヘテ實行ガ出來ルコトデアアルト思フノデアリマス、大キナ地方ニ於キマシテハ、差ノアルコトハ一應考ヘラレルコトデアリマスカ、從來ノ經過カラ行キマスルト、一方ガ上ツテ來レバ必ズ他ノ部分モ上ツテ來ル、斯ウ云フヤウナコトニ考ヘラレマスノデ、乳價ノ決定ニ當リマシテハ、十分ソレ等ノ點ヲ考慮シマシテ、サウシテ地方的ノ事情ニ適フヤウニ決メテ戴クコトガ宜イノヂヤナイカ、斯ウ私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、甚ダ抽象的デアリマスガ、私ノ乳價ノ決メ方ニ付テノ考ヲ概要申述べテ置キマス

○北委員 只今御答ノアツタヤウニ乳製品ノ種類ニ依ツテ利益ニ大小ガアル、而モ牛乳供給量ノ過剩ガアルカナイカ、或ハ不足スルカシナイカト云フヤウナコトニ依ツテ利潤ハ決ツテ來ルノダト云フ御説、是ハ當然ノコトト思フ、ソレ以上ニ私ノ申上ゲタイノハ、仕事ノ範圍ガ牛乳取扱ダケダカ

ラサウナル、例ヘバ北海道デ煉乳業ヲヤツテ居ル森永トカ、明治トカト云フヤウナモノハ製菓業ニ使ツテ居ル、製菓業ト一緒ニヤツテ居ルカラ、若シ牛乳取扱ノ方デ損ヲシタ場合ハ、菓子ノ方カラ利益ヲ持ツテ來テモ宜シイ、斯ウ云フヤウナ會社モアラウト思フ、或ハ又生乳ヲ扱ツテ、煉乳ノ方デ損ガ行ツテ居ルケレドモ、都市ニ於ケル生乳ヲ扱フカラ非常ニ儲ガアル、其ノ利益ヲ自分ノ會社ノ全體ノ經營ノ爲ニ、其ノ方面ニ持ツテ使ツテ宜イト云フノガアルト思フ、サウ云フ有利ナ立場ニアル者ニハ、全然組合ト同ジ値段デ買ハサナケレバナラヌコトハナイ、寧ろ農家ノ生産費ヲ考ヘ、又業者側ノサウ云フヤウナ狀況ヲ考ヘテ、適當ナ値段ニサセルコトガ宜イ、寧ろ此ノ位ノコトガ出來ナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス

更ニモウ一ツ次ニ申上ゲテ見タイコトハ、農林省ガ輸出ノ犧牲ヲ拂ハシテ居ル、斯ウ云フヤウナ牛ガ減ツテ困ツテ居ル現状デアアルニ拘ラズ、或ハ製酪組合ニ非常ナ犧牲ヲ負ハセナガラ「バクター」ヲ輸出サセテ居ル、或ハ又煉乳會社ニ對シテ、本年ノ如キハ十三万五千函ダサウデスガ、全生産量ノ二割ニ當ルモノヲ大キナ赤字ノ下ニ出サシ

テ居ル、斯ウ云フヤウナヤリ方ヲサシテ居ルト云フコトハ、大變ナ間違ヒデハナイカト思フ、勿論此ノ場合ニ於テ外貨ノ獲得ト云フコトハ必要ナコトデアアルカラ、輸出ハヤラナケレバナラヌノデアリマスガ、此ノ輸出ニ依ツテノ外貨獲得ト云フコトハ産金事業ト同ジデアアル、産金事業ニ大キナ補助金ヲヤルノト何モ變ラナイ、此ノ輸出ニ對シテハドン／＼補助金ヲヤツテ宜イ、サラダニ牛ガ減ツテ居ル際ニ、乳價ヲ安くシテ輸出ヲサセ、犧牲ヲ拂ハシテ居ル、現ニソレヲ止メルコトニ依ツテ乳價ヲ二割高クスルコトガ出來ル、斯ウ云フ問題ガアルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ農林省ハドウ考ヘテ居ラレマスカ

○岸政府委員 酪農界ノ現状ニ對シテ輸出ヲ無理シテヤラセル必要ハナイ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタ、今日本ノ現狀トシテ國內ノ市場ニ支障ノナイ限リニ於テ外貨ヲ獲得スル爲ニ輸出ヲ振興サセルト云フコトハ已ムヲ得ナイ事情デモアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ信ジテ疑ハナイノデアリマス、隨テ之ノ國內消費トノ調整ヲドウ考ヘルカト云フ點ニナリマス、私共現在ノ輸出ヲ進メテ行キマシテモ、國內ノ消費ニ事缺クヤウニハシタク

ナイ、特ニ乳及ビ乳製品ハ幼兒其ノ他ニ必要ナル所ノ營養品デアリマスカラ、其ノ點ヲ十分考慮シテ計畫ヲシテ居ル次第デアリマス、或ハ菓子其ノ他ニ使ハレルヤウナモノニ付テハ將來ニ於テ相當考究スル必要ガアルダラウト思ヒマスガ、何レニシテモ幼兒其ノ他ニ行クモノニ付テ事缺カナイヤウニスルコトハ、御手許ニ差上ゲデアリマス資料ニ依ツテモ御分リノ通りデ、人口ノ増殖及ビ消費量ノ増加ニ伴フヤウニ計畫ヲシテ、其ノ上ニ輸出ヲシテ居ルノデアリマス、無論輸出ニ付キマシテ、關係業者ニ非常ナ御骨折ヲ願ツテ居ルコトハ事實デアリマス、是ハ速記ヲ中止シテ戴キタイノデスガ……

○田中委員長 速記ヲ中止シマス

〔速記中止〕

○北委員 私ノ質問ノ仕方ガ惡カツタカラ、御考ガ違ツタノカモ知レマセヌガ、私ノ言フノハ國內消費ノ問題デヤナイノデス、國內ノ生産ノ減退ノ問題デアリマシテ、輸出ガ惡イト云フノデハナイ、輸出ハドン／＼シナケレバナラヌ、輸出ヲスル爲ニ會社或ハ製酪組合ニ犧牲ヲ負ハシテハイカヌ、其ノ犧牲ハ何處ニ來ルカト云フト、必ズ乳價ニ轉嫁サレテ來ル、ソレガイカヌ、ソコデドウシテモ損失補償等ヲサセル必要ガアル、輸出獎勵金デヤイカヌ、幾ラ出シテモ損失ハサセナイ、斯ウ云フヤウナ方法デヤツテ行クナラバ、乳量ヲ減ラサズニ、國內消費ニモ影響ナシニ、外國ニ輸出ガドン／＼出來ル、是ハ産金獎勵ノ補助金ヲ出スノト同ジデアル、國內デハ何モ現ナマハ要ラヌ、所謂「ペーパー・マネー」デ澤山デス、是デヤル御考ガナイカ、斯ウ云フコトヲ伺ツタノデアリマス

○岸政府委員 速記ヲ止メテ戴キマス

○田中委員長 速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○田中委員長 速記ヲ始メテ下サイ

○北委員 其ノ次ハ副産物ノ利用デアリマスガ、先程松尾君カラ詳細ニ御話ニナツタノデアリマスガ、此ノ副産物ノ利用ガ隨分大キナ問題デアル、例ヘバ先程松尾君ガ言ハレタヤウニ、「ラクトロイド」ダケデモ二百四五十萬圓ノ輸出ガアル、斯ウ云フ狀態デアリマス、其ノ外「カゼイン」乳糖等、隨分澤山ノ輸出ガ出來ル、或ハ輸入防遏ガ出來ルノデアリマスガ、之ニ對シテ農林省ノ認識ガ頗ル足ラヌヤウデアリマス、何等豫算ヲ御取リニナツタヤウナ模様モナイノデアリマスシ、唯極メテ冷淡ニボンヤリトシテ居ラレル、是ハドウシタノデアルカ、即チ先程カラ私が申上ゲルヤウナ、國內ノ牛ガ減ルノヲ防グニハコシナ所ニ力ヲ入レテ、ドン／＼オヤリニナツテ、サウシテ乳價ヲ高クシテヤルヤウニシナケレバイカヌノデ、此ノ點ニ付テ農林省ハ非常ニ手拔リガアルヤウニ思フノデアリマスガ、其ノ間ノ事情ヲ承ツテ置キタイ

○岸政府委員 只今「カゼイン」乳糖等、「バター」副産物ニ對スル所ノ利用ニ對シテ農林省ノ努力ガ足りナイト斯ウ云フ御話デアリマス、從來此ノ「カゼイン」乳糖ノ生産ト云フモノニ付キマシテハ、幾度カ共同處理等ニ於テ地方的ニ獎勵ヲシタコトモアルノデアリマス、唯其ノ當時ニ於キマシテ輸入品等ノ問題デ中々其ノ事業ノ成立ガムツカシク、大體ニ於テ餘リ效果ガ擧ツテ居ラナカツタノデアリマス、サウ云フヤウナ意味合ノ助成ニ付テハ、或ハ北海道ニ對シテモヤツテ居ツタカト思ヒマスルガ、ソレハ餘リ效果ガナカツタノデアリマス、是等ニ對シマシテハ私共ニ於テモ重ネテ研究ヲ致シマシテ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、又産業組合ノ關係カラ見マスレバ、直接政府ノ助成デハアリマセヌケレドモ、中央金庫ノ方カラ資金ノ融通ト云フヤウナコトモヤツテ居ルノデゴザイマスカラ、是等ニ對

シマシテモ將來斯業ノ進展ニ伴ヒマシテ、ソレガシ易クナルヤウニ價格ノ研究ヲシテ見タイト、斯ウ考ヘルノデアリマス

○北委員 次ニ私が乳價ヲ上ゲルモウツノ方法トシテ申上ゲテ見タイト思フノハ、所謂市乳ノ統制デアリマス、市乳ト云フモノハ配達費ガ主ナルモノデアリマシテ、是コソ統制ヲスレバ非常ニ有利ニ行ケ、消費者ニモ安ク供給出來ルノデアリマスガ、配達區域ガ錯綜シテ、サウシテ盛ニ競争ヲヤツテ居ル、斯ウ云フヤウナコトハ第一ニ改メナケレバナラヌ、是ガ今マデハ改メヨウニモ改メ得ナカツタ、即チ失業者ヲ生ジ、社會問題ヲ起ス時デアツタカラ是ガ出來ナカツタノデアリマスガ、現在人手ガ足ラヌデ各配達會社等ガ非常ニ困ツテ居ル狀況デアル、寧ろ統制ニハ絶好ノ機會デアル、此ノ機會ヲ逸セズ、サウ云フヤウナ統制ヲ早速オヤリニナツテ、サウシテ乳價ガ一厘デモ高クナルヤウニ一ツ仕向ケテ參ルコトガ必要ダト思フノデアリマスガ、當局ノ所見ヲ伺ツテ見タイノデアリマス

○岸政府委員 大都市ニ於ケル乳ノ値段ガ生産者カラ處理業者、處理業者カラ小賣業者ニ入ル値段ニ格段ノ差ガアルコトハ御手許ニ差上ゲマシタ資料ニモアルコトデアリ

マスシ、其ノ點ノ是正ニ付キマシテハ從來トモ各機關ニ於テ相當研究サレテ居ルノデアリマス、唯其ノ影響スル範圍ガ色々廣イ範圍ニナツテ居ルノデアリマシテ、マダ實現ヲ見ルニ至ラナイノデアリマス、勿論一方ニ於キマシテ農村ヲ中心トシタ所ノ乳ノ生産ガ調整サレ、サウシテ生産ガ確保サレテ行クニ隨ヒマシテ、將來サウ云フ方面ノ付キマシテハ、衛生方面ヲ主トシテ扱ツテ居リマス厚生省ト十分連絡シテヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○北委員 次ハ屠殺禁止ノ問題デアリマスガ、都市ノ所謂牛乳供給ノ爲ニ一腹搾リト稱スル方法、丁度農村ノ乳ノ出盛リノ牛ヲ連レテ來テ、サウシテ濃厚飼料ヲ責メ付ケテ牛乳ヲ成ベク澤山出サセルト云フ行キ方デアリマスガ、是ハ牛ノ體ヲコハス所ノ一番ヒドイ行キ方デアリマシテ、一年デモウ牛ハ使用能力ガナクナルノデアリマス、是ガ今ドシノ行ハレテ居ルノデアリマシテ、農村カラ牛ノ引出サレル一ツノ大キナ理由ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ戴キマシタ資料ニモアリマシヤウニ、乳牛ノ屠殺數ガ一万六千頭トナツテ居リマスガ、恐ラク此ノ中ノ一万頭以上ハ一腹搾リノ牛デ屠殺サレテ行クモノデアルト考ヘルノデア

リマス、即チ搾乳適齡期ノモノガ潰サレテ行クノデアルト思フノデアリマス、之ヲ何トカシテ禁止シナケレバナラス、其ノ禁止スルト同時ニ、少クトモ都會ノ眞中デ牛ヲ飼フト云フヤウナ不合理ナコト、之ヲ何トカシテ改メサセナケレバナラス、此ノ都會ノ附近ノ、東京デ言ヒマス、千葉トカ茨城トカ群馬トカ或ハ埼玉ト云フヤウナ方面ノ農家ニ牛ヲ飼ハセテ置イテ、サウシテ無理ヲセズニ、濃厚飼料ノミニ依ルモノデナシニ牛乳ノ供給ガ出來ルヤウナ方法ヲ講ジナケレバナラスト思フノデアリマスガ、之ニ對シマシテ農林省ハ何等カ根本的ノ對策ヲ御持チデナイカ、之ヲ承ツテ置キマス

○岸政府委員 所謂一腹搾リヲ抑制スルコトニ付テ根本的ノ對策ハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、先程松尾サンニ御話申上ゲタノデアリマスガ、法律其ノ他ニ依ツテ之ヲ禁止スルト云フコト、指導ニ依ツテ其屠殺ヲ抑制シテ行クト云フコトト、兩方面ガ考ヘラレルト思フノデアリマス、御話ノ通りニ、只今屠殺サレテ居ルモノガ一万六千頭デアリマスルガ、此ノ表ニモ示シテ居リマシヤウニ、五六歳ノモノガ六千頭ニモナツテ居ルノデアリマス、是等ガ若シ本當ニ何等疾病其ノ他

ノ障礙ガナクシテ殺サレテ居ルト云フコトデアレバ、是ハ餘程由々シイ問題ニナルノデアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ、名古屋等ノ一部分ノ調査デハアリマスルガ、其ノ調査ニ依リマシテ、サウ云ツタ故障ノナイモノデ屠殺サレテ居ルト認メラレ

今御話ノ如ク都市ニ於ケル狀態デ以テ無理ヲシテ牛ヲ飼フト云フコトヨリハ、健全ニ牛ヲ飼ヘル農村方面ニ於テ其ノ供給ニ當リ、其ノ處理ヲ完全ニシテ行クト云フコトガ宜イダラウト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ、從來トモ農乳ヲ飲用ニ供スベク共同處理等ニ依ツテ獎勵金ヲ交付シテ獎勵シテ居ルノデアリマス、之ニ依ツテ之ニ依ツテ東京府ニ於キマシテ、東京府下ノ西多摩、南多摩ニ大キナ「ブランド」ガ出來テ居リマス、其ノ他東京ニ接シタ所ニモ漸次出來ツツアリマスノデ、御話ノヤウナ方向ニ向ツテ居ルト考ヘマス、サウナリマスレバ、是ト相俟チマシテ健全ナル所ノ牛ノ飼育ガ出來ルコトト考ヘマス、都市ノ搾乳業者ノ飼育スルコトニ付キマシテモ、一面ニ

ハ飼養改善ノ指導ヲ十分ニヤリ、衛生上ノ指導ヲヤツテ、サウシテ其ノ生産ヲ維持スルヤウニシテ行カケレバナラスト考ヘテ居リマス、尙ホ是等ノ點ニ付キマシテハ、成ルベクサウ云フコトノナイヤウニト云フ考デ、乳用牛ノ保護ト、ソレカラ乳用牛ノマダ使ヘルモノヲ處分スルト云フコトニ付テハ、之ヲ抑制シテ行クヤウニト云フ通牒ヲ出シテ居リマス、サウ云フ方面デ兎ニ角指導シテ居リマス

○北委員 一方ニ於テ屠殺ヲ禁止シテ行カケレバナラスト同時ニ、他ノ一方ニ於テハ只今御話ノヤウニ、此ノ肉用ノ牡犢ノ育成ノコトヲ御考ヘニナツテ居ルト云フコトハ洵ニ適切ダト思フノデアリマスガ、併シハ單ニ肉用ノ牡犢ノ飼育獎勵位デハイカスノデアリマス、吾々共ノ方デハ生レルト三日カ四日デ牡犢ハ潰シテ居ルノデアリマス、去年私ハ色々國家ノ爲ダト思ツテ、サウシテ牡犢ヲ飼ハシテ見タノデアリマス、大キナ損ガ行ク、ソコデ農林當局ハ此ノ牡犢育成ヲヤラス爲ニハ、ドウシテモハ相當ノ補助ヲ致サナケレバナラス、而モ是ハ皮モ役ニ立ツ、肉モ役ニ立ツ、國家ノ資源保護ノ上カラ非常ニ大事ダト思フノデアリマス、ソレデ出來ルナラバ赤字ニナラスダケ

ノ補助金ヲ出シテ戴ケバ皆農家ハ喜ンデ飼ヒマス、而モ肥料ノ供給モ中々圓滑ニ行カヌ時デアルカラ、斯ウ云フヤウナモノデ肥料ヲドン／＼作ツテ行カウト云フ考モアリマスカラ、此ノ際サウ云フコトヲドン／＼ヤツテ戴ク所ノ御考ハナイカ、之ヲ一ツ承ツテ見タイ

○岸政府委員 牡犢ノ育成ニ關シテ助成ヲスル考ハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマシガ、勿論北海道デアツテモ御話ノヤウナ事情デアリマスシ、内地ニアツテハ一層サウ云フ點モアリマスノデ、是ハ固ヨリ十分ト云フコトハ言ヘナイカモ知レマセヌガ、牡犢ノ共同育成ノ爲ニ基本的ノ施設ノ建築物ニ對スル費用ヲ助成スルモノヲ豫算ニ提出シテ居リマス

○北委員 ドウモ農林省ノヤリ方ハ姑息デ消極的デイカスト思ヒマス、ドウカモツト度胸良ク本當ニ國家ノ爲ニ必要ナコトデ而モ國家ニ何モ損ハ行カヌコトダ、所謂「ペーパーマネー」デ損ガ行カヌカラ、大膽ニサウ云フヤウナ豫算ヲ要求シテ戴キマシテ、サウシテ農民ガ本當ニ國家ノ大事ナ時ニ御奉公ノ出來ルヤウニサジテ戴クコトヲ切ニ希望スルノデアリマス、次ニ乳價委員會ニ諮問サレテ乳價ガ決マルト云フノデア

リマシガ、其ノ決定權ハ地方長官ニアルヤウニ承ツテ居リマスガ、是ハ間違ヒナイノデスカ

○岸政府委員 決定ハ地方長官ガ爲スコトニナツテ居リマス、唯其ノ決定ラシテ過チナイヤウニ、地方ニ於ケル協議會ニ諮問シテ、サウシテ其ノ答申ニ基イテ決定スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○北委員 午前中モ河野君カラ色々此ノ點ニ付テ質問ガアツタノデスガ、サウ云フ生溫イモノデハ困ル、所謂學者ヤ色々ノ機關ノ關係者ガ寄ツテヤラレルコトハドウモ正シイモノハ出來スト思フ、實際吾々ノ考ヘテ居ルヤウナモノハ出來ナイ、北海道ノ實情ニ於テモサウデス、ソコデドウシテモ委員ノ選定ニハ實際ノ生産者ヲ入レナケレバナラヌ、机ノ上ノ生産者、農村ニ於ケル羽織ヲ著テ牛ヲ飼ハヌ者ガ生産者トシテ出ラレテハ困ル、實際飼育者ニ出テ貰ヒ、又實際ノ乳製業者等ニモ出テ戴キマシテ、ソコニ決定權ガアルヤウニシテ戴キタイ、兎角吾々實際農業者ガサウ云フ會議ニ出タ時ニハ、意見ノ發表モ下手デ、ヤハリ大學ノ先生トカ、實際分ラヌノニ分ツタ振リヲシタ者ニスツカリ丸メラレテシマフ、其ノ結果ハドウナルカト云フト、適切デナイ乳價ガ

出來マスカラ、隨テ牛ハドン／＼減ツテ來ル、斯ウ云フコトハ目ノアタリニ見セ付ケラレテ居ルノデアリマスカラ、此ノ委員會ニハ實力ヲ與ヘテ、サウシテ單ニ地方長官ガ決メテシマフト云フコトノナイヤウニシテ戴カヌケレバ、委員會ノ效果ハナイト思フ、委員ノ選定ハ地方長官ガ自ラ御選ビナリ、サウシテ長官ガ其ノ機關ニ諮問サレテ、唯御座ナリナコトニナツテ行クノガ多

イノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ對シテハ一ツ徹底的ノ構成ト權限ヲ與ヘルヤウニセシメナケレバナラヌト思フノデアリマシガ、當局ノ御考ヲ重ネテ承リタイト思ヒマス

○岸政府委員 地方ニ於ケル所ノ協議會ノ運用ニ付テ、決定權ヲ與ヘヨト云フ御話デアリマスガ、私共ハ從來ノ各地方ノ色々ノ實情ヲ見マシテモ、結局決定ハ地方長官ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ色々ノ事情ヲ綜合致シテモ、結局誰カ中立者デ、サウシテ力ノアル者ガ決メテヤル外ニ途ガナイダラウト思フノデアリマス、サウ云フコトカラ考ヘマシテ決定ハ私共ハ地方長官ニ御願致スコトガ宜イノデヤナイカト考ヘテ居リマス、唯今ノ委員ノ選定ニ付キマシテハ御話ノヤウナコトハ御尤ダト思ヒマス、勿論サウ云フ十分ノ指導ヲサレル方ガ御出

ニナリマシテ、サウシテ生産者ノ利害關係ヲ反映セシメルト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フコトニ付キマシテハ、何レ選定ノ方針デモ決メル時分ニ、ソレヲ十分ニ加ヘテ、サウ云フヤウナ御考ガ反映スルヤウニ努メタイト思ヒマス

○北委員 從來此ノ乳價委員會等ニ於テ實際ニ牛ヲ飼ツテ居ラヌ人ガ出テ、農家ノ爲ニ色々ナコトヲ言ウテ骨折ツテ呉レル人ガアル、併シドウモ自分ガ直接牛ヲ飼ツテ居ラヌ人ト云フモノハ、最後マデ粘リ強クヤツテ呉レルモノデナイ、言フダケ言ウテ置ケバソレデ義務ハ濟ンダ、ダカラ此ノ邊デ止メテ置クト云フヤウナコトガ多いノデアリマス、言ツテ戴ク勞ハ多ト致シマスガ、最後マデ粘リガナイコトヲ非常ニ遺憾ニ思ヒマス、ソコデ實際ノ農家ニシテ毎日赤字ガ出テ居ルヤウナナラバ、一寸ヤソツト宥メラレテモ、サウデスカト云ツテ歸ルコトハ出來スノデアリマスカラ、ドウカ今モ御話ガアリマシタガ、重ネテ一ツ其ノ點ニ付テ十分ノ御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

次ハ酪農業組合ノ決議權ノ問題デアリマスガ、今回此ノ法律ガ決マリマス、全國ノ酪農業者ガ皆寄ルノデスガ此ノ酪農業者

ノ中ニハ日本中ノ牛乳ノ三分ノ一ヲ扱フト  
カ、四分ノ一ヲ扱フト云フヤウナ大キナ乳  
量ヲ取扱フ所ノ會社或ハ製酪組合ガアルカ  
ト思ヘバ、一方ニ於テハ一日十五石、二十  
石ト云フヤウナ極ク少イ乳量シカ取扱ハヌ  
人ガ出テ來ル、ソレガ一樣ニ同ジヤウナ決  
議權デヤラレテハ堪ツタモノデハナイ、丁  
度國際聯盟ニ於ケル弱小國ノ蔓延ツタノト  
同ジヤウナ結果ガ起ルノデハナイカト思フ  
ノデアリマシテ、此ノ決議權ノ問題ニ付テ

ハ何トカ乳量ニ依ツテ差ヲツケルトカ、或  
ハ取扱價額ニ依ツテ差ヲツケルトカ、何ト  
カ一ツ方法ヲ講ジテ戴カナケレバ、小サイ  
者ノ無理ガ通ルコトニナルト困ルト思フ、  
此ノ點ニ對シテ當局ハドンナ御考ヲ持ツテ  
居ラレルカ承ツテ置キタイ

○岸政府委員 酪農業組合ノ議決權ヲドウ  
云フ風ニスルカト云フコトデアリマスガ、  
是ハ中々面倒ナ問題デ尙ホ研究ハヤツテ居  
リマス、實際此ノ組合ノ運用ニ付キマシテ  
ハ法案ノ中ニモアリマシヤウニ、設立ノ認  
可、或ハ仕事ノ認可、役員ノ解任ノ認可其  
ノ他色々ノ點ニ付テ監督出來ルヤウニシテ  
居リマス、殊ニ組合ノ重要ナ事業ニ付キマ  
シテハ、勿論中央ニ出來ル所ノ協議會ニ於  
テ研究ヲシテヤツテ行クノデアリマスカラ

其ノ間ニ或ハ強力ナ者ガ弱者ニ押サレ、或  
ハ弱者ガ強力ナ者ニ押サレルト云フヤウナ  
コトハ萬一ナイコトガ豫期サレルト思フノ  
デアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ十  
分意見ヲ聽キマシテ、實際ノ問題ニ當ツテ  
參リタイト考ヘテ居リマス

○北委員 是ハ何レ勅令等デ御決メニナル  
コトト思ヒマスガ、其ノ内容ヲ委員會中ニ  
御提出願ヒタイ、此ノ點一ツ御願申上ゲテ  
置キマス

○岸政府委員 ソレハ定款等ニ依ツテ決メ  
ラレルサウデアリマスカラ、其ノ前ニ十分  
關係ノ方ノ御意見ヲ承ツテ決メタイと思ヒ  
マス

○北委員 ソレデハ時間モ相當進ミマシタ  
カラ私ノ質問ハ是デ終リマス

○池田委員 關聯シテ組織ノ問題ニ付テ一  
寸伺ヒタイノデスガ、「第八條デハ製酪業組  
合ハ法人トシ全國ヲ通ジ一個トス」トアリ  
マスガ、第二條デハ生産ヲ業トスル者ガ販  
賣ニ關スル施設ヲ法人トシテスルコトガ出  
來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、  
所デ此ノ第二條ノ生産ヲ業トスル者ノ販賣  
ニ關スル施設ヲ行フ組織法人ハ、是ハ各行  
政官廳ノ指定スル地域内ニ於テ一個デアリ  
マスカ、或ハ數個設ケルコトガ出來ルノデ

アリマスカ

○岸政府委員 此ノ第二條ノ法人ハ後ニモ  
書イデアリマシヤウニ、畜産組合、産業組  
合、實行組合トアリマスカラ、數個設ケラ  
レル譯デアリマス

○池田委員 從來出來テ居リマス畜産組合  
ヲ之ニ含マセテ居ルト云フコトダト一寸違  
フト思ヒマス、從來ノ畜産組合ハ生産ヲ  
業トシナイデ、唯生産業者間ノ組合デハナ  
イカト思ヒマス、所ガ生産ヲ業トスル者ガ  
更ニ販賣ヲ業トスルト云フヤウナ場合ハ、  
是ハ唯單ニ前ノ組合ト云フヤウナモノデ行  
クトスルト、是ハ數ニハ制限ガナイコトニ  
ナルデスカ

○岸政府委員 大體制限ガナイノデアリマ  
ガ、系統カラ言ヒマスト畜産組合系統ニ屬  
スルモノト、産業組合系統ニ屬スルモノト  
ガ出來テ來ルダラウト思ヒマス

○田中委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス  
次會ハ明後日午後一時カラ開會スルコトニ  
致シマス

午後四時五十四分散會

昭和十四年三月七日印刷

昭和十四年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局